

長崎県総合計画 チャレンジ2020 令和元年度の数値目標の進捗状況 (全体版)

本調書は「長崎県総合計画 チャレンジ2020」に掲げる数値目標について、令和元年度の実績をまとめたものです。

進捗状況の評価を踏まえた各事業の実施方針などは「事業群評価調書」に記載しています。

令和2年9月

(全体版)

《本資料について》

【施策】 成果指標：施策毎の数値目標

◇施策3 海外活力の取り込み 成果指標

成果指標	国内外のクルーズ客船入港数	所管課	文化観光国際部 国際観光振興室
------	---------------	-----	--------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		221隻	234隻	246隻	258隻	270隻	270隻 (R2年)
実績値②	92隻 (H26年)	273隻	365隻	337隻	272隻		進捗状況
②/①		123%	155%	136%	105%		順調

統計名など：国際観光振興室調べ

進捗状況の分析	令和元年の入港実績は、長崎港183隻、佐世保港79隻、離島港等10隻の272隻であり、2年連続で前年実績を下回ったものの目標は達成できた。平成30年同様に中国発着クルーズが調整局面に入っており、275隻から188隻に減少したことが大きな要因と考えられる。 令和2年においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により入港数は大幅な減少が見込まれる。
---------	--

達成・未達成の要因等に関する進捗状況の分析を記載
※翌年度以降の取組方針などは「事業群評価調書」に詳細を記載

【事業群】 指標：施策を構成する事業群の数値目標

事業群の指標

事業群 ① 経済成長著しいアジア諸国の活力を取り込むための取組

指標	アジア諸国における長崎県の認知度	所管課	文化観光国際部 国際課
----	------------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		52%以上	54%以上	56%以上	58%以上	60%以上	60%以上 (R2年度)
実績値②	51.0% (H27年度)	57%	58%	59%	60%		進捗状況
②/①		100%	100%	100%	100%		順調

統計名など：各国においてアンケート調査を実施

進捗状況の分析	アジア諸国に向け、庁内各課が連携の上、より多くの機会を捉え、現地イベントへの出展、これまで培った人脈やフェイスブックなどのSNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)等を活用し、本県の情報を継続的に発信した。
---------	--

【進捗状況の区分】

達成：最終目標を達成（ただし、累計ベースの数値目標以外については、最終年度までは「順調」と表記）

順調：当該年度の目標を達成

やや遅れ：目標を達成できなかったが、以下「遅れ」の条件に当てはまらない（改善傾向にある）

遅れ：目標を達成できず、かつ以下のいずれかの条件に当てはまる

- ① 当該年度の実績値が、基準年の実績値を下回った
- ② (実績値) / (目標値) が、70%未満

（「累計ベースの数値目標」及び「削減することを旨とする目標」については、基準値からの伸び率（減少率）を示すため、(実績値－基準値) / (目標値－基準値) 等により算出）

総括表

	数値目標数					達成状況(評価方法詳細は表紙裏参照)		
	全体	施策と事業群の指標が同じもの	令和元年度目標値を設定していないもの	令和元年度の実績が現時点で把握できないもの	対象項目	達成・順調 (今年度または最終年度の目標を達成)	やや遅れ (目標達成できなかったが改善傾向)	遅れ (目標達成に一層の課題あり)
	①	②	③	④	①-②-③-④			
戦略1 交流を生み出し活力を取り込む	25	1	4	4	16	8	3	5
						50%	19%	31%
戦略2 交流を支える地域を創出する	14	0	1	0	13	9	2	2
						69%	15%	15%
戦略3 互いに支えあい見守る社会をつくる	24	1	0	5	18	8	7	3
						44%	39%	17%
戦略4 生きがいを持って活躍できる社会をつくる	19	0	1	0	18	10	5	3
						56%	28%	17%
戦略5 次代を担う子どもを育む	34	0	0	3	31	8	15	8
						26%	48%	26%
戦略6 産業を支える人材を育て、活かす	19	2	3	3	11	6	2	3
						55%	18%	27%
戦略7 たくましい経済と良質な雇用を創出する	21	4	6	2	9	8	0	1
						89%	0%	11%
戦略8 元気で豊かな農林水産業を育てる	29	0	5	5	19	13	6	0
						68%	32%	0%
戦略9 快適で安全・安心な暮らしをつくる	47	0	6	3	38	25	3	10
						66%	8%	26%
戦略10 にぎわいと暮らしを支える社会基盤を整備する	18	0	2	2	14	5	7	2
						36%	50%	14%
合 計	250	8	28	27	187	100	50	37
						53%	27%	20%

総括表(施策別)

施策		数値目標数					達成状況(評価方法詳細は表紙裏参照)			
		全体	施策と事業群の指標が同じもの	令和元年度目標値を設定していないもの	令和元年度実績が現時点で把握できないもの	対象項目	達成・順調 (今年度または最終年度の目標を達成)	やや遅れ (目標達成できなかったが改善傾向)	遅れ (目標達成に一層の課題あり)	
		①	②	③	④	①-②-③-④				
戦略1	1	2つの世界遺産等を活用した観光地づくりと誘客拡大	9	0	0	3	6	3	2	1
							50%	33%	17%	
	2	本県ならではのソフトパワーの活用・発信	5	0	2	0	3	2	1	0
							67%	33%	0%	
	3	海外活力の取り込み	8	0	1	0	7	3	0	4
							43%	0%	57%	
	4	新幹線開業に向けた戦略的取組の推進	3	1	1	1	0			
戦略2	1	時機を捉えた魅力あるまちなみの整備	4	0	1	0	3	1	1	1
							33%	33%	33%	
	2	文化・スポーツによる地域活性化	7	0	0	0	7	5	1	1
							71%	14%	14%	
	3	移住施策の強化	3	0	0	0	3	3	0	0
							100%	0%	0%	
戦略3	1	必要なときに必要な医療・介護・福祉サービスが受けられる体制の整備	6	1	0	2	3	1	2	0
							33%	67%	0%	
	2	誰もが安心して暮らし、社会参加のできる地域づくり	5	0	0	0	5	2	2	1
							40%	40%	20%	
	3	きめ細かな対応が必要な子どもと親への支援	13	0	0	3	10	5	3	2
							50%	30%	20%	
戦略4	1	いつまでも健康で活躍できる社会の実現	10	0	1	0	9	4	4	1
							44%	44%	11%	
	2	女性の活躍推進	4	0	0	0	4	3	0	1
							75%	0%	25%	
	3	多様な主体が支えあう地域づくりの推進	5	0	0	0	5	3	1	1
							60%	20%	20%	
戦略5	1	結婚・妊娠・出産・子育ての一貫した切れ目ない支援	5	0	0	0	5	1	3	1
							20%	60%	20%	
	2	安心して子育てできる環境づくり	4	0	0	0	4	1	2	1
							25%	50%	25%	
	3	学力の向上と個性を活かした教育の推進	5	0	0	0	5	3	1	1
							60%	20%	20%	
	4	我が国と郷土を愛する心や豊かな人間性、社会性の育成	7	0	0	0	7	1	5	1
						14%	71%	14%		
	5	グローバル化社会を生き抜く力を持った人材づくり	4	0	0	0	4	1	1	2
							25%	25%	50%	
	6	子どもたちが安心して学べる教育環境の整備	5	0	0	3	2	1	1	0
							50%	50%	0%	
	7	「地域みんなで子どもを育み、家庭教育を支援する」体制づくり	4	0	0	0	4	0	2	2
							0%	50%	50%	
戦略6	1	キャリア教育の推進と企業人材の育成	4	1	0	0	3	2	1	0
							67%	33%	0%	
	2	地域に密着した産業の担い手の確保・育成	8	0	2	1	5	3	1	1
							60%	20%	20%	
	3	医療・介護・福祉人材の育成・確保	4	1	1	2	0			
	4	大学と連携した県内学生の人材育成と地元定着	3	0	0	0	3	1	0	2
							33%	0%	67%	

総括表(施策別)

施策		数値目標数					達成状況(評価方法詳細は表紙裏参照)		
		全体 ①	施策と事業群 の指標が同じ もの ②	令和元年度 目標値を設定 していないもの ③	令和元年度 実績が現時点 で把握できな いもの ④	対象項目 ①-②-③-④	達成・順調 (今年度または最終年度 の目標を達成)	やや遅れ (目標達成できなかったが改 善傾向)	遅れ (目標達成に一層の課題 あり)
戦略7	1	3	0	1	0	2	2 100%	0 0%	0 0%
	2	9	1	3	2	3	2 67%	0 0%	1 33%
	3	4	1	2	0	1	1 100%	0 0%	0 0%
	4	5	2	0	0	3	3 100%	0 0%	0 0%
戦略8	1	13	0	1	3	9	6 67%	3 33%	0 0%
	2	6	0	1	0	5	5 100%	0 0%	0 0%
	3	6	0	1	1	4	2 50%	2 50%	0 0%
	4	4	0	2	1	1	0 0%	1 100%	0 0%
戦略9	1	7	0	1	0	6	3 50%	1 17%	2 33%
	2	7	0	2	0	5	2 40%	1 20%	2 40%
	3	8	0	0	0	8	5 63%	0 0%	3 38%
	4	9	0	1	0	8	7 88%	0 0%	1 13%
	5	6	0	1	0	5	3 60%	1 20%	1 20%
	6	5	0	1	3	1	1 100%	0 0%	0 0%
	7	5	0	0	0	5	4 80%	0 0%	1 20%
戦略10	1	7	0	2	0	5	1 20%	4 80%	0 0%
	2	3	0	0	0	3	1 33%	0 0%	2 67%
	3	2	0	0	0	2	1 50%	1 50%	0 0%
	4	6	0	0	2	4	2 50%	2 50%	0 0%
合 計		250	8	28	27	187	100 53%	50 27%	37 20%

戦略1 交流を生み出し活力を取り込む

**◇施策1 2つの世界遺産等を活用した観光地づくりと誘客拡大
成果指標**

成果指標	観光客延べ数	所管課	文化観光国際部 観光振興課
------	--------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		3,573万人	3,665万人	3,810万人	3,902万人	3,993万人	3,993万人 (R2年)
実績値②	3,375万人 (H26年)	3,372万人	3,512万人	3,550万人	算定中		進捗状況
②/①		94%	96%	93%	—		やや遅れ

統計名など：長崎県観光統計

進捗状況の 分析	実績値は現在算定中だが、「潜伏キリシタン関連遺産」の世界遺産登録効果が昨年から続いた一方で、韓国人宿泊客の訪日旅行控えが影響すると考えられる。
-------------	---

成果指標	観光消費額(総額)	所管課	文化観光国際部 観光振興課
------	-----------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		3,584億円	3,744億円	3,969億円	4,139億円	4,312億円	4,312億円 (R2年)
実績値②	3,251億円 (H26年)	3,510億円	3,765億円	3,778億円	算定中		進捗状況
②/①		98%	101%	95%	—		やや遅れ

統計名など：長崎県観光統計

進捗状況の 分析	実績値は現在算定中だが、韓国人観光客の訪日旅行控えに伴う観光客延べ数の減少に加えて、近年の宿泊客の消費単価の伸び悩みも影響すると考えられる。 (1人あたり宿泊客消費単価 H27年:31,966円、H28年:32,153円、H29年31,916円、H30年31,921円)
-------------	--

事業群の指標

事業群 ① 価値を正確に伝え守る仕組みづくりの推進

指標	来訪者理解度	所管課	文化観光国際部 世界遺産課
----	--------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		70%	75%	80%	85%	90%	90% (R2年度)
実績値②	—	—	—	95%	94%		進捗状況
②/①		—	—	118%	110%		順調

統計名など：来訪者に対するアンケート

進捗状況の 分析	これまでの情報発信や広報の取組により、現地を訪れた方の価値の理解は一定程度得られているので、今後も訪問者の増加を促すよう、効果的・効率的な情報の発信に努め、価値の理解度を上げていく。
-------------	---

事業群 ② 価値を活かした本県の新たな魅力づくりと情報発信

指標	県内企業による世界遺産関連の新たな商品数(累計)	所管課	文化観光国際部 物産ブランド推進課
----	--------------------------	-----	----------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		20件	40件	60件	294件	357件	357件 (R2年度)
実績値②	—	58件	168件	310件	337件		進捗状況
②/①		290%	420%	516%	114%		順調

統計名など: 独自調査(関係機関への照会)

進捗状況の分析	平成27～30年度の県特産品新作展で、世界遺産(「明治日本の産業革命遺産」及び「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」)関連商品を表彰する「世界遺産特別賞」を新設するなど、県内企業による開発意欲創出に取り組んできた。令和元年度は登録効果の落ち着きがみられた。なお、商品数調査が新型コロナウイルス感染症拡大により土産店等の営業自粛期間に重なったことから、調査できる範囲が限られた影響も若干あると考えられる。
---------	---

事業群 ③ 各地域における観光客の受入体制整備の促進

指標	再来訪意欲度	所管課	文化観光国際部 観光振興課
----	--------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		74.4%	75.8%	77.2%	78.6%	80.0%	80% (R2年)
実績値②	73% (H27年)	76.0%	78.5%	74.9%	77.1%		進捗状況
②/①		102%	103%	97%	98%		やや遅れ

統計名など: 独自調査

進捗状況の分析	目標達成には至っていないが、一昨年の「潜伏キリシタン関連遺産」の世界遺産登録を契機として、地域の方々によるおもてなしの取組や関連遺産にちなんだ魅力ある着地型商品の開発など、観光客の受入体制整備の取組が観光客の再来訪意欲の向上につながったものと考えている。
---------	---

事業群 ④ インバウンド観光の拡大

指標	外国人延べ宿泊者数	所管課	文化観光国際部 国際観光振興室
----	-----------	-----	--------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		76.2万人	85.0万人	94.8万人	106.1万人	117.9万人	117.9万人 (R2年)
実績値②	61.2万人 (H26年)	84.0万人	88.6万人	93.0万人	79.1万人		進捗状況
②/①		110%	104%	98%	75%		やや遅れ

統計名など: 長崎県観光統計

進捗状況の分析	令和元年の外国人延べ宿泊者数は、昨年7月以降の訪日旅行控えにより韓国観光客が大幅に減少したことにより、目標を達成することができなかった。ただし、昨年1月から国際定期航空路線が就航した香港が前年比で94.0%の大幅増だったほか、夏に臨時便が運航された中国(前年比 +14.8%)やラグビーワールドカップの影響でイギリス(前年比 +50.0%)、オーストラリア(前年比 +35.4%)なども増加しており、韓国を除いた合計は前年比で18.1%の増だった。なお、本年については、新型コロナウイルス感染症の影響による各国の渡航制限や日本の入境規制が続いており、目標達成は厳しい状況となっている。
---------	--

事業群 ⑤ 観光産業の充実・強化

指標	観光消費額(宿泊客総額)	所管課	文化観光国際部 観光振興課
----	--------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		2,178億円	2,275億円	2,374億円	2,476億円	2,581億円	2,581億円 (R2年)
実績値②	1,933億円 (H26年)	2,020億円	2,068億円	2,124億円	算定中		進捗状況
②/①		93%	91%	89%	—		やや遅れ

統計名など: 長崎県観光統計

進捗状況の 分析	実績値は現在算定中だが、訪日旅行控えにより韓国人宿泊客が減少したことに加えて、近年の宿泊客の消費単価の伸び悩みも影響すると考えられる。 (1人あたり宿泊客消費単価 H27年:31,966円、H28年:32,153円、H29年31,916円、H30年31,921円)						
-------------	---	--	--	--	--	--	--

事業群 ⑤ 観光産業の充実・強化

指標	宿泊施設の従業者数(正社員)	所管課	文化観光国際部 観光振興課
----	----------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		5,200人	5,400人	5,600人	5,800人	6,000人	6,000人 (R2年)
実績値②	4,845人 (H26年)	4,616人	4,427人	4,340人	4,202人		進捗状況
②/①		88%	81%	77%	72%		遅れ

統計名など: 長崎県毎月勤労統計調査

進捗状況の 分析	ここ数年、全国的な好況のため人手不足が顕著であり、本県の宿泊施設も必要な人材が確保できない状況が続いている。加えて、宿泊業は、旅行形態が団体から個人へシフトしており、それに合わせて一部の宿泊施設は高付加価値化し、規模を縮小する方向に進んでいることから、正社員数にも影響していると考えられる。						
-------------	---	--	--	--	--	--	--

事業群 ⑥ ジオツーリズム等を通じた世界ジオパーク等の地域資源の活用

指標	島原半島ジオパーク認定ガイド派遣によるジオツアー等の実施件数	所管課	県民生活環境部 自然環境課
----	--------------------------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		50件	55件	60件	65件	68件	68件 (R2年度)
実績値②	45件 (H26年度)	57件	59件	63件	67件		進捗状況
②/①		114%	107%	105%	103%		順調

統計名など: 島原半島観光連盟の実績

進捗状況の 分析	ジオツーリズムの促進のため、関係機関と連携し、修学旅行やまち歩き等の各種ツアーにおいてジオパークの要素を加味した取組を進めた結果、目標を上回る件数を達成することができた。						
-------------	---	--	--	--	--	--	--

◇施策2 本県ならではのソフトパワーの活用・発信

成果指標

成果指標	歴史・文化素材の発掘・ソフトパワー化(累計)	所管課	文化観光国際部 文化振興課
------	------------------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①	/	1 (発掘)	2(発掘) 1(資源化)	3(発掘) 2(資源化)	4(発掘) 3(資源化)	4(発掘) 4(資源化)	4(発掘) 4(資源化) (R2年度)
実績値②	—	3 (発掘)	3(発掘) 1(資源化)	4(発掘) 3(資源化)	4(発掘) 3(資源化)		進捗状況
②/①	/	300%	150% (発掘) 100% (資源化)	133% (発掘) 150% (資源化)	100% (発掘) 100% (資源化)		順調

統計名など: —

進捗状況の分析	<p>(発掘について)28年度に発掘事業に着手した①隠元・黄檗文化②ナンコイ新十景③描いてみんなね長崎に加え、30年度には離島地域における交流人口拡大と若者の地元定着を図る④しまと若者事業の実施に着手し、累計4つの発掘を達成し現時点での目標をクリアした。</p> <p>(資源化について)①隠元・黄檗文化:29年度に黄檗文化交流大会を福建省と共催で開催、③描いてみんなね長崎:30年度に作品の舞台を巡るモデルコースを旅ネットで紹介し観光資源化、④しまと若者事業:30年度に旅行会社のツアーとして商品化、と累計3つの資源化を達成し、現時点での目標をクリアした。</p>
---------	---

事業群の指標

事業群 ① 世界に通用する長崎県の歴史文化の活用と発信

指標	日本遺産認定数(累計)	所管課	文化観光国際部 文化振興課
----	-------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①	/	1箇所	2箇所	2箇所	3箇所	3箇所	3箇所 (R2年度)
実績値②	1箇所 (H27年度)	3箇所	3箇所	3箇所	3箇所		進捗状況
②/①	/	300%	150%	150%	100%		達成

統計名など: —

進捗状況の分析	<p>平成27年度に文化庁が地域の歴史的魅力や特色を通じて我が国の文化・伝統を語るストーリーを認定する「日本遺産」を創設し、本県からは「国境の島 壱岐・対馬・五島 ～古代からの架け橋～」が認定された。さらに、平成28年度においては「日本磁器のふるさと 肥前 ～百花繚乱のやきもの散歩～」と「鎮守府 横須賀・呉・佐世保・舞鶴～日本近代化の躍動を体感できるまち～」の2件が認定されたが、継続して本県の特異な歴史・文化の調査・研究に取り組んできたことが、早期の目標達成に繋がった。</p> <p>認定以降、魅力あるストーリーの情報発信やガイド育成等の取組を進めている。</p>
---------	---

事業群 ② 朝鮮通信使関連資料のユネスコ記憶遺産登録推進

指標	朝鮮通信使関連資料のユネスコ記憶遺産登録	所管課	文化観光国際部 国際課
----	----------------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		—	登録	—	—	—	登録 (H29年度)
実績値②	—	—	登録				進捗状況
②/①		—	—				達成

統計名など：—

進捗状況の分析	平成29年10月31日に、朝鮮通信使に関する記録がユネスコ「世界の記憶」に登録された。登録を契機とし、朝鮮通信使関連特集展示及び関連講座や日韓の高校生交流事業を開催するなどして、日韓両国における理解促進へつなげることができた。
---------	---

事業群 ③ 県産品のブランド化の推進

指標	情報発信拠点の来館者数	所管課	文化観光国際部 物産ブランド推進課
----	-------------	-----	----------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		24万人	24.5万人	58万人	64万人	71万人	71万人/年 (R2年度)
実績値②	—	37万人	40.9万人	56.5万人	58.7万人		進捗状況
②/①		154%	166%	97%	91%		やや遅れ

統計名など：運営事業者による実績集計

進捗状況の分析	官・民一体となって、首都圏・関西圏での県産品のブランド化や販路拡大に取り組むとともに、アンテナショップ「日本橋 長崎館」において、運営事業者や県内市町・企業・関係団体等との連携により、本県の歴史・文化、観光、食などの魅力を総合的に発信した。 令和元年度のアンテナショップの年間来館者数は、2月下旬からの新型コロナウイルスの影響による臨時休館や時短営業などにより、目標を下回ったものの、前年度より4%増の58.7万人となり、多くの方に本県の魅力を発信することができた。
---------	--

事業群 ④ 核兵器廃絶と世界恒久平和に向けた発信

指標	被爆の悲惨さと平和の尊さを伝える平和発信事業への参加者数(累計)	所管課	文化観光国際部 国際課
----	----------------------------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		—	—	—	—	16,000人	16,000人 (H28～R2年度)
実績値②	14,706人 (H22～26年度)	5,851人	11,194人	17,730人	20,826人		進捗状況
②/①		—	—	—	—		達成

統計名など：—

進捗状況の分析	平和発信事業への参加者の内訳は長崎平和大学527人、被爆体験講話2,069人、海外原爆展500人であった。最終目標である16,000人をH30年度にすでに達成している。R元年度は核兵器廃絶地球市民集会ナガサキのような大きなイベントがなかったために、実績値の増加数が前年度より少なかった。 (注)被爆体験講話参加者数は、派遣校の児童数、学生数により実績が大きく変動する。
---------	---

◇施策3 海外活力の取り込み

成果指標

成果指標	国内外のクルーズ客船入港数	所管課	文化観光国際部 国際観光振興室
------	---------------	-----	--------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		221隻	234隻	246隻	258隻	270隻	270隻 (R2年)
実績値②	92隻 (H26年)	273隻	365隻	337隻	272隻		進捗状況
②/①		123%	155%	136%	105%		順調

統計名など：国際観光振興室調べ

進捗状況の分析	令和元年の入港実績は、長崎港183隻、佐世保港79隻、離島港等10隻の272隻であり、2年連続で前年実績を下回ったものの目標は達成できた。平成30年同様に中国発着クルーズが調整局面に入っており、275隻から188隻に減少したことが大きな要因と考えられる。 令和2年においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響により入港数は大幅な減少が見込まれる。
---------	--

成果指標	国際定期航空路線の利用者数	所管課	文化観光国際部 国際観光振興室
------	---------------	-----	--------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		80千人	85千人	95千人	110千人	115千人	115千人 (R2年度)
実績値②	72千人 (H26年度)	35千人	52千人	67千人	51千人		進捗状況
②/①		43%	61%	70%	46%		遅れ

統計名など：国際定期航空路線利用者数

進捗状況の分析	上海線及び香港線は好調に推移していたものの、香港線は民主化デモの影響を受けたほか、年度後半からは新型コロナウイルス感染拡大の影響により、両路線ともに欠航となり、上海線は13,939人(対前年度比82.9%)、平成31年1月に新規就航した香港線は37,193人にとどまった。またソウル線は、法定整備による機材繰り及び路線収支赤字のためH31.3.31から運休が継続しており、目標値を達成できなかった。 一方で、上海線の増便決定や台湾線の新規就航等による利用者数増に向けた動きがあり、今後、新型コロナウイルス収束後、早期の運航再開を図り、利用促進に取り組むとともに、新たな路線誘致にも取り組む。
---------	--

事業群の指標

事業群 ① 経済成長著しいアジア諸国の活力を取り込むための取組

指標	アジア諸国における長崎県の認知度	所管課	文化観光国際部 国際課
----	------------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		52%以上	54%以上	56%以上	58%以上	60%以上	60%以上 (R2年度)
実績値②	51.0% (H27年度)	57%	58%	59%	63%		進捗状況
②/①		100%	100%	100%	100%		順調

統計名など：各国においてアンケート調査を実施

進捗状況の分析	アジア諸国(中国、韓国、ベトナム、タイ)において、SNS(ソーシャル・ネットワーキング・サービス)の活用、関係各課や現地政府等の関係団体と連携したPR活動による情報発信を実施した。
---------	--

事業群 ② 海外需要を取り込むための県産品輸出と誘客の取組

指標	県産品(加工食品、陶磁器等)の輸出額	所管課	文化観光国際部 物産ブランド推進課
----	--------------------	-----	----------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		104,000 千円	120,000 千円	136,000 千円	374,000 千円	427,000 千円	427,000千円 (R2年度)
実績値②	71,223千円 (H26年度)	162,340 千円	267,307 千円	361,003 千円	421,908 千円		進捗状況
②/①		156%	222%	265%	112%		順調

統計名など: 加工食品、陶磁器等輸出額(文化観光国際部把握)

進捗状況の 分析	<p>海外における総合フェアの開催や飲食店等におけるプロモーション等により、県産品をはじめとした本県の魅力を総合的に発信した。</p> <p>また、県が新たな定期航空路線、観光客の誘致や国際交流等に戦略的に取り組む国において、県内商社と連携し、新規の販路開拓に取り組んだことにより、輸出額は前年度比で約17%増となった。</p>
-------------	--

事業群 ③ 日中韓トライアングル構想の推進

指標	日中韓3か国交流事業数	所管課	文化観光国際部 国際課
----	-------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		3件	4件	5件	5件	5件	5件 (R2年度)
実績値②	1件 (H26年度)	4件	6件	5件	2件		進捗状況
②/①		133%	150%	100%	40%		遅れ

統計名など: —

進捗状況の 分析	<p>令和元年度の目標値を5件と設定し、関係者と協議のうえ事業計画を策定したが、青少年トライアングル交流会、音楽文化交流は実施できたものの、日韓関係の悪化や新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、3都市交流担当課長会議、サッカー交流、囲碁交流の3件を実施することができなかった。</p>
-------------	--

事業群 ④ LCC等国際航空路線の強化と長崎空港の活性化

指標	国際定期航空路線数	所管課	文化観光国際部 国際観光振興室
----	-----------	-----	--------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		3路線	3路線	4路線	4路線	4路線	4路線 (R2年度)
実績値②	2路線 (H26年度)	2路線	2路線	2路線	2路線		進捗状況
②/①		66%	66%	50%	50%		遅れ

統計名など: 国際定期航空路線数

進捗状況の 分析	<p>国際定期航空路線について、上海線及びソウル線の利用者数が前年度に比べ増加し、また積極的な誘致により平成31年1月から香港線が就航したにもかかわらず、平成31年3月末からソウル線が運休となり、目標達成に至らなかった。運休理由が日本他路線に比べて搭乗率が低く、赤字が累積していることが指摘されており、今後なお一層の各路線における利用促進の取組が必要である。</p> <p>ソウル線の復活、台湾・フィリピン等からの新規路線就航実現を目指し、観光地としての認知度向上を図るとともに、積極的なセールスを展開する。</p>
-------------	--

事業群 ⑤ 統合型リゾート(IR)の導入

指標	国による特定複合観光施設(IR)区域の認定	所管課	企画部 IR推進課
----	-----------------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		—	—	—	—	認定	認定 (R2年度)
実績値②	—	—	—	—	—		進捗状況
②/①		—	—	—	—		—

統計名など：—

進捗状況の 分析	<p>平成30年7月、特定複合観光施設区域整備法(IR整備法)が公布。令和元年9月にはIR整備に向けた国の基本方針案が公表され、区域認定は令和3年度以降となる見通しである。</p> <p>こうした状況を踏まえ、令和元年度は、国の基本方針案に基づき、本県IRのあるべき姿を示す基本構想やIR事業者の公募・選定に係る実施方針の策定に取り組むとともに、九州の合意形成に向けた九州各県・経済団体等への働きかけや国への要望活動、県民の理解促進に向けた広報活動等を行った。</p>
-------------	--

事業群 ⑥ 国際交流機能の充実・強化

指標	帰国後の元留学生等交流人数	所管課	文化観光国際部 国際課
----	---------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		140人	180人	220人	260人	300人	300人 (R2年度)
実績値②	131人 (H26年度)	137人	187人	229人	140人		進捗状況
②/①		97%	103%	104%	53%		遅れ

統計名など：—

進捗状況の 分析	<p>海外での交流事業イベント等において、県内に居住した経験のある帰国留学生(長崎同窓会)や海外技術研修員等と、現地での効果的な情報発信や留学情報についての意見交換会等を行っているが、令和元年度は日韓関係の悪化により韓国・釜山広域市友好交流関係樹立5周年記念訪問事業等が実施出来なかったことから、交流機会が少なく目標値に達することが出来なかった。</p> <p>今後も引き続き、海外での交流事業イベント等がある際には、積極的に意見交換の場を設定し交流を図っていく。</p>
-------------	--

◇施策4 新幹線開業に向けた戦略的取組の推進

成果指標

成果指標	関西圏・中国圏(H26年実績)からの宿泊者数伸び率(主要宿泊施設)	所管課	文化観光国際部 観光振興課
------	-----------------------------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		+6.6%	+6.6%	+6.6%	+6.6%	+6.6%	+47% (R2年)
実績値②	—	-16.8%	-1.3%	3.2%	算定中		進捗状況
②/①		0%	0%	48%	—		遅れ

統計名など: 長崎県観光動向調査

進捗状況の分析	実績値は現在算定中であるが、九州新幹線西九州ルート開業を見据え、早い段階から大手交通事業者・メディア等の活用により、関西に対して本県の歴史・文化、観光、物産の魅力を総合的に発信し、県産品のブランド力向上及び消費拡大、並びに誘客拡大につなげることとしている。JR西日本との連携により、新幹線を利用した旅行商品による送客増に努めたものの、夏の繁忙期に台風や記録的大雨等の影響に伴う旅行キャンセルの発生等が実績値には影響すると考えられる。
---------	--

事業群の指標

事業群 ① アクションプラン等の策定・推進

指標	アクションプランの策定	所管課	地域振興部 新幹線対策課
----	-------------	-----	-----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		—	策定	—	—	—	策定 (H29年度)
実績値②	—	—	未策定	策定	—	—	進捗状況
②/①		—	—	—	—	—	達成

統計名など: —

進捗状況の分析	フリーゲージトレインの開発遅れ等により、対面乗換方式後の整備方式が不透明となったことから、平成29年度のアクションプランの策定は見送ったものの、2022年(令和4年)度の開業が迫っていることから、平成30年度にプランを策定した。今後はプランに基づき、開業に向けた気運醸成や県内周遊のための二次交通対策に取り組んでいく。
---------	---

事業群 ② 誘客促進と広域連携による取組の推進

指標	関西圏・中国圏(H26年実績)からの宿泊者数伸び率(主要宿泊施設)	所管課	文化観光国際部 観光振興課
----	-----------------------------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		+6.6%	+6.6%	+6.6%	+6.6%	+6.6%	+47% (R2年)
実績値②	—	-16.8%	-1.3%	3.2%	算定中		進捗状況
②/①		0%	0%	48%	—		遅れ

統計名など: 長崎県観光動向調査

進捗状況の分析	実績値は現在算定中であるが、九州新幹線西九州ルート開業を見据え、早い段階から大手交通事業者・メディア等の活用により、関西に対して本県の歴史・文化、観光、物産の魅力を総合的に発信し、県産品のブランド力向上及び消費拡大、並びに誘客拡大につなげることとしている。JR西日本との連携により、新幹線を利用した旅行商品による送客増に努めたものの、夏の繁忙期に台風や記録的大雨等の影響に伴う旅行キャンセルの発生等が実績値には影響すると考えられる。
---------	--

戦略2 交流を支える地域を創出する

◇施策1 時機を捉えた魅力あるまちなみの整備

成果指標

成果指標	まちなみや景観が良くなっていると思う人の割合	所管課	土木部 都市政策課
------	------------------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		38%	39%	40%	41%	42%	42% (R2年度)
実績値②	37% (H27年度)	41.0%	36.8%	36.6%	30.4%		進捗状況
②/①		108%	94%	92%	74%		遅れ

統計名など：長崎県の取組に関する県民意識アンケート調査

進捗状況の分析	魅力あるまちなみ整備や景観形成に関する各種施策に取り組んでいるところであるが、調査時点では、令和4年度の新幹線開業に向けた整備工事が、長崎駅周辺をはじめとする県内各所においてピークを迎えているため、その整備効果を県民に実感していただけず、目標を達成するには至らなかった。
---------	---

事業群の指標

事業群 ① 新幹線開業に向けた駅周辺の整備

指標	新幹線駅周辺整備の進捗状況〔面積〕	所管課	土木部 住宅課
----	-------------------	-----	------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		4%	10%	11%	29%	44%	44% (R2年度)
実績値②	3% (H26年度)	4%	10%	14%	29%		進捗状況
②/①		100%	100%	127%	100%		順調

統計名など：—

進捗状況の分析	長崎駅周辺では令和元年8月に交流拠点施設(出島メッセ長崎)の工事に着手し、令和2年3月の新長崎駅の開業に合わせ長崎駅西通り線が供用された。諫早駅周辺では、平成31年1月には残っていた再開発ビルの工事に着手し、令和元年度はビル本体の工事が進んだ。このように、各地区において開業に向けた工事が着実に進んでいることから、最終目標を達成する見込みである。
---------	---

事業群 ② 長崎らしい景観形成・まちなみ環境整備の推進

指標	景観計画策定団体数(累計)	所管課	土木部 都市政策課
----	---------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		13市町	14市町	15市町	16市町	17市町	17市町 (R2年度)
実績値②	9市町 (H26年度)	14市町	14市町	15市町	15市町		進捗状況
②/①		107%	100%	100%	93%		やや遅れ

統計名など：国土交通省HP「景観法の施行状況」

進捗状況の分析	景観計画策定15市町のうち、13市町が「21世紀まちづくり推進総合補助金」の活用により景観計画を策定していることなど、県の支援によって市町の計画策定が一定進んできた。残る6市町は、厳しい財政状況のほか、職員及び首長の景観への意識不足や人材不足、景観制度の運用方法など、複数の課題を抱えており、景観計画の策定が進んでいない。
---------	---

事業群 ③ 県庁舎跡地整備の推進

指標	県庁舎跡地活用に関する整備の推進	所管課	地域振興部 県庁舎跡地活用室
----	------------------	-----	-------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		—	—	—	—	—	期間中の着手 (R2年度)
実績値②	—	—	—	—	—		進捗状況
②/①		—	—	—	—		—

統計名など：—

進捗状況の分析	<p>県庁舎跡地活用については、令和元年6月に整備方針を策定し、9月より基本構想の策定に着手するとともに、10月からは予定していた埋蔵文化財調査を実施し、江戸時代の石垣や遺構等が確認され、専門家からさらに詳細な調査を実施してほしい等の意見が示された。</p> <p>これを受け、県として引き続き埋蔵文化財調査を実施するとの判断に至るとともに、長崎市から文化芸術ホールは現市庁舎跡地に整備したいとの考えが示されたことから、県において「広場」や「交流・おもてなしの空間」の整備を基本に、新たな機能を付加できるかや、先行的な賑わいづくりなど専門家等に意見を伺いながら基本構想の策定の中で活用策の検討をさらに進めている。</p>
---------	--

◇施策2 文化・スポーツによる地域活性化

成果指標

成果指標	祭りや演奏会、展覧会など地域文化や伝統芸能を活かしたイベントに出演または参加した人の割合	所管課	文化観光国際部 文化振興課
------	--	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		17%	17%	18%	19%	20%	20% (R2年度)
実績値②	16% (H26年度)	17.3%	19.3%	15.0%	11.0%		進捗状況
②/①		101%	113%	83%	57%		遅れ

統計名など：長崎県の取組に関する県民意識アンケート調査

進捗状況の分析	各地域の実行委員会を主体とした文化芸術振興の体制づくりに努めているが、人口減少や高齢化の進行、趣味の多様化により参加者数が減少している。今後も若者視点の文化創造に取り組むなど、県民のニーズに応じた文化芸術活動を支援し、多くの県民に文化芸術を学び楽しむ機会を提供するとともに官民協働で本県の多様な文化資源を磨き上げることにより、県民が文化芸術活動に積極的に参加できる機会を提供する。
---------	--

成果指標	スポーツコンベンション参加者数	所管課	文化観光国際部 スポーツ振興課
------	-----------------	-----	--------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		22.1万人	22.8万人	23.5万人	24.2万人	25万人	25万人 (R2年度)
実績値②	21.4万人 (H26年度)	26.6万人	27.1万人	26.6万人	27.5万人		進捗状況
②/①		120%	118%	113%	114%		順調

統計名など：市町照会による調査

進捗状況の分析	佐世保市で新たに九州大会規模の大会が開催された一方、長崎市、諫早市、大村市などで前年に開催された大会が開催されなかったことなどにより九州大会規模以上の大会で参加者が減少した。 また、佐世保市、島原市で千人規模以上の県大会の開催が増加し参加者が大きく増えたことにより、全体として令和元年度の目標値を達成することができた。
---------	--

事業群の指標

事業群 ① 文化・芸術による地域づくり

指標	県美術館・長崎歴史文化博物館の本展・移動展や遠隔授業等の実施市町数(累計)	所管課	文化観光国際部 文化振興課
----	---------------------------------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		5市町	9市町	13市町	17市町	21市町	21市町 (R2年度)
実績値②	0市町 (H26年度)	9市町	13市町	14市町	17市町		進捗状況
②/①		180%	144%	107%	100%		順調

統計名など: 実施報告書

進捗状況の分析	<p>長崎県美術館及び長崎歴史文化博物館において、離島地区や遠隔地を中心に実施している移動展覧会及びテレビ会議システムを活用した遠隔授業をR1年度は8市町・計12回開催し、さらに各館の学芸員や外部講師による出張授業及びワークショップを複数回開催することにより、多くの県民が文化芸術を学び楽しんでいただく機会をこれまで17市町に提供することができた。</p> <p>最終年度の目標達成に向け、計画的な事業の実施を図る。</p>
---------	--

事業群 ② 伝統文化の継承と文化財の保存・活用

指標	国や県の指定等となった文化財の数	所管課	教育庁 学芸文化課
----	------------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		681件	689件	697件	705件	713件	713件 (R2年度)
実績値②	665件 (H26年度)	670件	676件	682件	683件		進捗状況
②/①		98%	98%	97%	96%		やや遅れ

統計名など: 国や県の指定等となった文化財数

進捗状況の分析	<p>国の文化財として重要文化財1件が新たに指定され、県の文化財として有形文化財1件、計2件の文化財の指定を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○国指定重要文化財 <ul style="list-style-type: none"> ・絹本著色鯉魚跳龍門図(長崎市) ○県指定有形文化財 <ul style="list-style-type: none"> ・諫早家文書(諫早市) <p>※解除 国登録1件 ・鶴殿家住宅土蔵(島原市)</p>
---------	---

事業群 ③ 国内外から注目されるスポーツキャンプ等の拠点づくり

指標	キャンプ地拠点設置数	所管課	文化観光国際部 スポーツ振興課
----	------------	-----	--------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		1拠点	2拠点	3拠点	4拠点	4拠点	4拠点 (R2年度)
実績値②	0拠点 (H26年度)	0拠点	1拠点	2拠点	4拠点		進捗状況
②/①		0%	50%	66%	100%		達成

統計名など：長崎県スポーツ合宿に関する調査(市町への照会)

進捗状況の 分析	<p>五島市、長崎市に加え、新たに島原市及び大村市が拠点となり令和元年度の目標値を達成した。島原市ではラグビーワールドカップ2019のトンガ代表や東京五輪に向けたスペインレスリングチーム、大村市では東京五輪に向けたポルトガルトライアスロンチームなど海外ナショナルチームのキャンプ受入が新たな拠点化の要因となった。</p> <p>※「キャンプ地拠点」の判定における団体毎のポイント 海外ナショナルチーム…50ポイント 海外チーム(ナショナルチーム除く。)…20ポイント 国内ナショナルチーム…12ポイント プロチーム…10ポイント 実業団チーム…5ポイント 社会人チーム…2ポイント 大学生チーム…1ポイント</p>
-------------	--

事業群 ④ 地域密着型クラブチーム等の活用や「わがまちスポーツ」による地域活性化・交流の推進

指標	市町とV・ファーレン長崎との連携によるイベント等回数	所管課	文化観光国際部 スポーツ振興課
----	----------------------------	-----	--------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		95回	110回	125回	140回	155回	155回 (R2年度)
実績値②	78回 (H26年度)	122回	55回	111回	147回		進捗状況
②/①		128%	50%	88%	105%		順調

統計名など：V・ファーレン長崎による実績集計

進捗状況の 分析	<p>V・ファーレン長崎を活用した地域活性化を図るために、V・ファーレン長崎自治体支援会議や関係者間の情報共有等により、V・ファーレン長崎、県、市町の連携を深め、本年度には市町との連携イベント等の倍増を目指すこととしている。</p> <p>V・ファーレン長崎のスクールコーチによるサッカーの巡回活動である「V-TIME」や、選手・スタッフが小学校を訪問し、夢を持つことの大切さなどを伝える「V-DREAM」などに積極的に取り組んだことにより、令和元年度の目標を達成することができた。</p>
-------------	---

事業群 ⑤ 競技スポーツの推進

指標	国民体育大会順位	所管課	教育庁 体育保健課
----	----------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		10位台	20位台	20位台	20位台	20位台	10位台を目指しつつ20位台定着(R2年度)
実績値②	1位 (H26年度)	28位	24位	41位	26位		進捗状況
②/①		—	—	—	—		順調

統計名など：国民体育大会男女総合成績(天皇杯順位)

進捗状況の分析	平成26年「長崎がんばらんば国体」後の平成27年から平成29年までは総合成績20位台を保ってきたが、平成30年「福井国体」では41位と目標に及ばなかった。「福井国体」の反省・課題を踏まえ、少年種別及び団体競技の重点強化に取り組み、令和元年「茨城国体」では20位台に復活し目標を達成することができた。
---------	---

◇施策3 移住施策の強化

成果指標

成果指標	本県への移住者数	所管課	地域振興部 地域づくり推進課
------	----------	-----	-------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		250人	400人	530人	660人	800人	800人 (R2年度)
実績値②	140人 (H26年度)	454人	782人	1,121人	1,479人		進捗状況
②/①		181%	195%	211%	224%		順調

統計名など：地域づくり推進課による調査(市町への照会等)

進捗状況の分析	<p>県・市町協働型の「ながさき移住サポートセンター」を核として、市町と連携しながら、移住の検討段階から地域への定着まで、移住希望者の視点に立ったきめ細かなサポートを行った結果、相談窓口を介した移住者数は、前年度を上回る実績に結びついた。</p> <p><主な理由></p> <ul style="list-style-type: none"> ・市町における移住相談窓口の設置や担当する組織体制の強化による移住相談者へのきめ細かなフォロー ・市町をまたぐ広域連携による情報発信や都市部での合同移住相談会の展開 ・ながさき移住サポートセンターによる、無料職業紹介事業など、就職・転職のサポートの推進
---------	--

事業群の指標

事業群 ① 長崎県移住戦略の推進

指標	「ながさき移住倶楽部」の会員登録者数	所管課	地域振興部 地域づくり推進課
----	--------------------	-----	-------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		400人	700人	1,000人	1,300人	1,600人	1,600人 (R2年度)
実績値②	—	1,196人	1,394人	1,913人	2,393人		進捗状況
②/①		299%	199%	191%	184%		達成

統計名など：地域づくり推進課が作成する会員名簿

進捗状況の分析	ホームページやフェイスブックによる最新移住情報の発信及び都市部で開催する移住相談会の拡充、県外の県人会・同窓会等への幅広い周知活動を行うとともに、お盆や年末の帰省時期にUターンの呼びかけを行った結果、「ながさき移住倶楽部」の会員登録が増加した。
---------	--

事業群 ② 人財誘致の促進

指標	「地域おこし協力隊員」で定住につながった人の数(累計)	所管課	地域振興部 地域づくり推進課
----	-----------------------------	-----	-------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		28人	42人	56人	70人	84人	84人 (R2年度)
実績値②	8人 (H26年度)	24人	44人	58人	73人		進捗状況
②/①		85%	104%	103%	104%		順調

統計名など：各市町への照会

進捗状況の分析	「地域おこし協力隊員」については、引き続き、隊員の資質向上を目的とした研修会の開催やアドバイザーの派遣をはじめ、各市町においても隊員が円滑に活動できるよう担当職員の配置や隊員との定期的なミーティングを実施するなどサポートを行ってきた結果、R1年度までに任期を満了した地域おこし協力隊員96名のうち累計で73名が定住につながった。
---------	--

戦略3 互いに支えあい見守る社会をつくる

◇施策1 必要ときに必要な医療・介護・福祉サービスが受けられる体制の整備

成果指標

成果指標	地域包括ケアシステムの構築割合	所管課	福祉保健部 長寿社会課
------	-----------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		5%	10%	20%	40%	80%	80% (R2年度)
実績値②	1% (H26年度)	1%	15%	69%	算定中		進捗状況
②/①		20%	150%	345%	—		順調

統計名など：地域包括ケアシステムの構築状況調査

進捗状況の分析	<p>県内全124圏域において、地域包括ケアシステムの構築が予定されているが、その構築状況を判断する客観的な判断基準である長崎県版地域包括ケアシステム構築評価基準を基に評価を実施したところ、平成30年度末で構築できたと自己評価したのは前年度から67圏域増え、124圏域中86圏域(69.4%)となった。</p> <p>令和元年度の構築状況については、市町による自己評価実施後、県によるヒアリングや長崎県地域包括ケアシステム構築支援部会の結果を踏まえて決定するため、算定中としている。</p> <p>※圏域数は、平成29年度：123圏域、平成30年度以降：124圏域</p>
---------	--

事業群の指標

事業群 ① 医療提供体制の構築

指標	地域に必要な医療機能の整備率	所管課	福祉保健部 医療政策課
----	----------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		10%	20%	30%	40%	50%	50% (R2年度)
実績値②	—	14%	20%	38%	算定中		進捗状況
②/①		140%	100%	126%	—		順調

統計名など：病床機能報告(厚生労働省)

進捗状況の分析	<p>本県では、団塊の世代が75歳以上となる2025年に向け、患者数の将来推計等に基づき、目指すべき医療提供体制の姿を描いた「長崎県地域医療構想」を平成28年11月に策定した。</p> <p>構想実現のため、県民が住み慣れた地域で安心して暮らすことができるよう、消費税を財源とする「地域医療介護総合確保基金」を活用し、医療と介護が一体となって、医療機能の分化・連携、在宅医療の充実、人材の確保を柱とする取組を進めている。</p> <p>※地域に必要な医療機能の整備率=地域医療構想で目標としている令和7年度の回復期病床の整備率。 令和2年度はその50%を目標としている。</p>
---------	---

事業群 ② 地域包括ケアシステムの構築

指標	地域包括ケアシステムの構築割合	所管課	福祉保健部 長寿社会課
----	-----------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		5%	10%	20%	40%	80%	80% (R2年度)
実績値②	1% (H26年度)	1%	15%	69%	算定中		進捗状況
②/①		20%	150%	345%	—		順調

統計名など：地域包括ケアシステムの構築状況調査

進捗状況の分析	<p>県内全124圏域において、地域包括ケアシステムの構築が予定されているが、その構築状況を判断する客観的な判断基準である長崎県版地域包括ケアシステム構築評価基準を基に評価を実施したところ、平成30年度末で構築できたと自己評価したのは前年度から67圏域増え、124圏域中86圏域(69.4%)となった。</p> <p>令和元年度の構築状況については、市町による自己評価実施後、県によるヒアリングや長崎県地域包括ケアシステム構築支援部会の結果を踏まえて決定するため、算定中としている。</p> <p>※圏域数は、平成29年度：123圏域、平成30年度以降：124圏域</p>
---------	--

事業群 ③ 介護サービス基盤整備等の推進

指標	特別養護老人ホームの県下全体の定員に占める個室・ユニット型施設の定員の割合	所管課	福祉保健部 長寿社会課
----	---------------------------------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		38.0%	40.6%	41.6%	42.6%	44.0%	44.0% (R2年度)
実績値②	34.1% (H26年度)	36.6%	38.8%	39.6%	40.1%		進捗状況
②/①		96%	95%	95%	94%		やや遅れ

統計名など：特別養護老人ホーム(地域密着型含む)におけるユニット型床数調査

進捗状況の分析	<p>令和元年度までの実績は40.1%(3,011床/7,513床)と、前年度39.6%(2,981床/7,525床)に比べ0.5%増加している。</p> <p>令和元年度計画分については、周辺の施設の整備状況を踏まえて再検討した結果、当面着工を見送ったものなどがあつたため、目標である42.6%を達成することができなかった。</p>
---------	---

事業群 ④ 認知症施策の推進

指標	認知症サポーター、キャラバンメイト数(累計)	所管課	福祉保健部 長寿社会課
----	------------------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		80,000人	88,000人	120,700人	127,000人	132,000人	132,000人 (R2年度)
実績値②	65,000人 (H26年度)	97,594人	113,509人	129,828人	142,314人		進捗状況
②/①		121%	128%	107%	112%		順調

統計名など：認知症施策推進総合戦略(新オレンジプラン)

進捗状況の 分析	<p>令和元年度に12,486人(内、サポーター12,391人、キャラバンメイト※95人)を養成し、総数で142,314人となっている。県では、毎年サポーターを養成する講師役でもあるキャラバンメイトを養成し、養成されたキャラバンメイトが各市町でサポーターをさらに増やしていくといった市町と県の協働による取組が定着化しており、さらに県以外でも独自にキャラバンメイトの養成を始めた自治体もあることから、当初の目標以上に養成が進んでいる。</p> <p>今後も順調に増加していくと考えられることから、令和3年度からの目標についてはこれまでの増加数をもとに見直しを検討している。</p> <p>※キャラバンメイト：認知症サポーターを養成する講師役</p>
-------------	---

事業群 ⑤ 障害福祉サービス等の提供体制の確保・充実

指標	相談支援専門員専門コース別研修の修了者数(累計)	所管課	福祉保健部 障害福祉課
----	--------------------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		120名	240名	360名	480名	600名	600名 (R2年度)
実績値②	—	110名	216名	298名	402名		進捗状況
②/①		91%	90%	82%	83%		やや遅れ

統計名など：相談支援専門員専門コース別研修

進捗状況の 分析	<p>相談支援専門員の資質向上のため、テーマを抽出のうえ2コース開催した。</p> <p>主な取り組みとして、次のことを行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・委託先である長崎県相談支援専門員協会のホームページへ掲載することにより、当該研修を会員のみならず多くの相談支援専門員へ周知した。 ・県内全ての相談支援事業所へ郵送で案内することにより、相談支援専門員のほか、事業所や法人に対しても当該研修参加への理解を求めた。 ・研修内容を充実するため、県外も含めた多彩な講師陣を招聘することにより、相談支援専門員のスキルアップに努めた。 ・事前に研修内容やその目的等の認識を共有するため、県内講師陣による打ち合わせを行った。 ・受講希望者が集まりやすい日程・場所を設定する。(例年年度末) <p>令和元年度は、年度末の開催にならないスケジュールを設定した結果、前年度の82名を大幅に上回る104名の受講者を確保したが、目標である120名には届かなかった。</p>
-------------	--

◇施策2 誰もが安心して暮らし、社会参加のできる地域づくり

成果指標

成果指標	生活困窮者自立支援事業における就労・増収率(就労・増収者/就労支援対象者)	所管課	福祉保健部 福祉保健課
------	---------------------------------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		40%	40%	40%	40%	40%	40% (R2年度)
実績値②	—	75%	37%	93%	54%		進捗状況
②/①		187%	92%	232%	135%		順調

統計名など：生活困窮者自立支援制度における支援状況調査(厚生労働省)

進捗状況の分析	令和元年度においては、生活困窮者自立支援事業における就労支援対象者の半数以上が就労・増収につながっており、自立支援が図られている。
---------	---

事業群の指標

事業群 ① 社会的配慮を必要とする人たちへ必要な支援を行う体制づくり

指標	避難行動要支援者の個別支援計画を作成済み市町の数(累計)	所管課	福祉保健部 福祉保健課
----	------------------------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		5市町	9市町	13市町	17市町	21市町	21市町 (R2年度)
実績値②	—	1市町	1市町	1市町	1市町		進捗状況
②/①		20%	11%	7%	5%		遅れ

統計名など：避難行動要支援者等現況調査

進捗状況の分析	<p>個別支援計画の策定取組状況については、平成31年4月当初は一部策定が5市町、未着手が11市町であったが、市町避難行動要支援者担当課長会議の開催や市町への通知を発出するなど、個別支援計画策定の取り組みを働きかけた。結果、未着手の全ての市町が策定に着手し、一部策定が10市町となった。しかしながら、策定完了市町は1市町であり、目標の17市町は達成できなかった。</p> <p>令和元年度に開催した会議等の中で、策定にあたり市町が抱える課題として、地域における様々な現状や市町のマンパワーの問題などの課題が浮き彫りとなった。今後、会議等において、課題解決に向けた有効事例などを紹介することや情報を共有しながら、今後も市町に対し継続的な働きかけを行い、同計画の策定を推進していく。</p> <p>○R2.4.1現在の避難行動要支援者数 68,123人 うち、計画策定に必要な要支援者本人の同意28,659人分、個別支援計画策定済み人数10,110人</p>
---------	---

事業群 ② 高齢者や障害者等が安心して暮らすための環境整備及び支援の充実

指標	障害福祉サービス事業所で福祉的就労をしている障害者の平均工賃月額	所管課	福祉保健部 障害福祉課
----	----------------------------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		15,600円	16,300円	16,900円	17,500円	18,200円	18,200円 (R2年度)
実績値②	14,664円 (H26年度)	15,919円	16,389円	16,759円	17,664円		進捗状況
②/①		102%	100%	99%	100%		順調

統計名など：第2期長崎県工賃向上計画等

進捗状況の分析	<p>障害のある方が地域で自立した生活を送るためには、一定の収入を得る必要があり、一般就労への移行支援とともに、就労継続支援B型事業所など福祉的就労の場で障害者に支払われる工賃の水準を引き上げることが重要である。</p> <p>平均工賃実績も年々増加しているが、現状の課題として、</p> <p>①事業所により、平均工賃月額に大きな差が生じており、特に平均工賃月額がロークラス～ミドルクラスの事業所について事業所製品等の品質や生産効率を向上させ、工賃月額の底上げを図る必要があること</p> <p>②除草や清掃等の役務サービス並びに食品や手芸品等の商品について企業や消費者へのPRが不足していること</p> <p>③販売力の更なる向上や職域拡大に繋げるため、新たな商品開発や、新たな分野の開拓が必要であること</p> <p>などが挙げられる。</p> <p>このため、県では「長崎県工賃向上計画」を策定し、各種の事業に取り組んでいる。</p>
---------	---

事業群 ③ 人権が尊重される社会づくり

指標	人権意識が向上したと思う人の割合	所管課	県民生活環境部 人権・同和対策課
----	------------------	-----	---------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		43%	45%	47%	49%	50%	50% (R2年度)
実績値②	41.2% (H27)	46.8%	49.3%	50.5%	47.1%		進捗状況
②/①		108%	109%	107%	96%		やや遅れ

統計名など：長崎県の取組に関する県民意識アンケート調査

進捗状況の分析	<p>県民、企業・団体等職員、社会教育関係者などを対象とした様々な講演会、研修会、イベントなどの開催による教育・啓発や、社会教育関係者及び教職員への研修等による指導力の向上に取り組んできた。令和元年度の実績は目標を下回ったものの、昨年度末以降の新型コロナウイルス感染症に関連する誹謗中傷や偏見、差別などが社会的な問題となっており、人権意識の醸成の重要性が増す中、今後、一層教育・啓発や指導力の向上に取り組んでいく必要があると考える。</p>
---------	--

事業群 ④ 高齢者や子育て世代、障害者等に優しいまちづくり

指標	県営住宅のバリアフリー化率	所管課	土木部 住宅課
----	---------------	-----	------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		51.2%	52.4%	53.6%	54.8%	56.0%	56.0% (R2年度)
実績値②	49.1% (H26年度)	51.0%	52.0%	53.0%	54.3%		進捗状況
②/①		99%	99%	98%	99%		やや遅れ

統計名など：－

進捗状況の 分析	主に住戸改善によるバリアフリー化を進めているが、基本的に住民の転居を伴わない住みながらの改善であるため、事前説明会等による合意形成、工事施工者による工事日程の全住戸ごとの個別調整等が必要となり、円滑に事業を執行するうえでの障害が多いことから、やや遅れている状況と考えている。
-------------	---

◇施策3 きめ細かな対応が必要な子どもと親への支援

成果指標

成果指標	県事業によるひとり親家庭の就職者数(母子・父子家庭)	所管課	こども政策局 こども家庭課
------	----------------------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		100人	100人	100人	100人	100人	100人 (R2年度)
実績値②	71人 (H26年度)	71人	86人	123人	59人		進捗状況
②/①		71%	86%	123%	59%		遅れ

統計名など：県事業によるひとり親家庭の就職者数実績

進捗状況の 分析	<p>例年、3月に就職が決まることが多く、実績が伸びるのだが、新型コロナウイルス感染症の影響による2～3月の相談件数の減少や、求人の減少により実績が伸びなかったものである。県事業である、ひとり親家庭等自立促進センター・母子父子自立支援員による支援は、就労支援だけでなく、ひとり親家庭の自立した生活に向けての総合的な支援であることから、センター事業等の周知をさらに進め利用者数の増を図る必要がある。</p> <p>※ひとり親家庭等自立促進センター：ひとり親家庭の就業による自立促進を、より効果的に行うため、就業相談等の各種就業サービスの提供を行う機関</p>
-------------	--

成果指標	いじめの解消率	所管課	教育庁 児童生徒支援課
------	---------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		100%	100%	100%	100%	100%	100% (R2年度)
実績値②	97.6% (H26年度)	94.7%	89.3%	88.5%	算定中		進捗状況
②/①		94%	89%	88%	—		遅れ

統計名など：児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査(文部科学省)

進捗状況の 分析	<p>いじめ事案の解消に向け、SC・SSWを含めた関係機関との連携により組織的に対応しているが、「いじめの解消」については、被害児童生徒に対して影響を与える行為が少なくとも3か月以上止んでいること、また、被害児童生徒が心身の苦痛を感じていないという2つの要件が満たされる必要があるため、現在、学校においては経過観察をしながら、いじめの解消に向けた取組を継続しているところである。</p>
-------------	---

事業群の指標

事業群 ① 貧困に起因する問題を抱える子どもと親への支援

指標	ひとり親家庭のうち「経済的理由」で大学等進学しなかった子どもがいる世帯の割合	所管課	こども政策局 こども家庭課
----	--	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		52%以下	52%以下	52%以下	50%以下	50%以下	50%以下 (R2年度)
実績値②	52.1% (H27年度)	—	50.1%	—	—		進捗状況
②/①		—	100%	—	—		—

統計名など：ひとり親家庭へのアンケート

進捗状況の分析	「ひとり親家庭のうち「経済的理由」で大学等進学しなかった子どもがいる世帯の割合」については、平成29年8月に実施した「児童扶養手当受給者アンケート」から、50.1%という結果がでた。
---------	---

事業群 ① 貧困に起因する問題を抱える子どもと親への支援

指標	児童養護施設に入所する子どもの大学等進学率	所管課	こども政策局 こども家庭課
----	-----------------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		30.0%	30.0%	30.0%	40.0%	40.0%	40% (R2年度)
実績値②	28.3% (H24～26年度 平均)	25.5%	32.4%	34.1%	38.3%		進捗状況
②/①		85%	108%	113%	96%		やや遅れ

統計名など：児童養護施設に入所する子供の大学等進学実績

進捗状況の分析	児童養護施設に入所する児童の大学等進学率は、平成29年度は32.4%、平成30年度は34.1%、令和元年度は38.3%、と上昇傾向にあるが、県内高校生の進学率69.0%(令和元年3月卒業)と比べ大きな較差がある。
---------	--

事業群 ② ひとり親家庭等の自立支援の推進

指標	ひとり親家庭等自立促進センターによる就職者数(母子・父子家庭)	所管課	こども政策局 こども家庭課
----	---------------------------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		75人	75人	75人	75人	75人	75人 (R2年度)
実績値②	50人 (H26年度)	60人	56人	86人	45人		進捗状況
②/①		80%	74%	114%	60%		遅れ

統計名など：ひとり親家庭等自立促進センターによる就職者数(母子・父子家庭)実績

進捗状況の分析	ひとり親家庭等自立促進センターによる就職者は45人と目標値を下回った。これは、例年3月に、就職が決まることが多く、実績が伸びるのだが、新型コロナウイルス感染症の影響による2～3月の相談件数の減少や、求人の減少により実績が伸びなかったものである。県事業である、ひとり親家庭等自立促進センター・母子父子自立支援員による支援は、就労支援だけではなく、ひとり親家庭の自立した生活に向けての総合的な支援であることから、センター事業等の周知をさらに進め利用者数の増を図る必要がある。
---------	---

事業群 ③ 総合的な児童虐待防止対策の推進

指標	児童虐待防止対策を担う市町職員の資質向上のための研修受講者数	所管課	こども政策局 こども家庭課
----	--------------------------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		21人以上	21人以上	21人以上	21人以上	21人以上	21人以上 (R2年度)
実績値②	21人 (H26年度)	19人	17人	21人	29人		進捗状況
②/①		90%	80%	100%	138%		順調

統計名など：研修参加者数実績

進捗状況の分析	<p>要保護児童対策協議会の体制強化を図るため、市町職員の専門性向上を図る研修会を実施し、20市町(29人)の児童福祉主管課担当職員が受講した。各市町へ研修を受講した担当職員が配置されることで市町の相談体制強化に繋がっている。</p> <p>また、市町における児童相談体制強化のためのスーパーバイザー・アドバイザー派遣事業を実施するなど、市町職員の資質向上のための事業を実施した。</p> <p>※要保護児童対策地域協議会:虐待を受けた児童等保護や支援を要する児童・家庭について関係機関で情報共有や支援内容の協議を行うため県、市町に設置される組織</p>
---------	---

事業群 ④ 社会的養護体制の充実

指標	社会的養護における里親等への委託措置率	所管課	こども政策局 こども家庭課
----	---------------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		14.3%	15.4%	16.5%	17.6%	18.6%	18.6% (R2年度)
実績値②	10.0% (H26年度)	16.7%	18.4%	17.3%	17.3%		進捗状況
②/①		116%	119%	104%	98%		やや遅れ

統計名など：里親及びファミリーホーム委託措置率実績

進捗状況の分析	<p>現在、社会的養護は里親やファミリーホームなどの家庭的な環境での養育よりも、児童養護施設等での養育の割合が多い状況にあるが、国の家庭的養護の推進方針や県の家庭的養護推進計画に基づき、令和11年度までに施設の本体施設、施設のグループホーム(本体施設の支援のもと地域の民間住宅などを活用して家庭的養護を行う)、里親・ファミリーホームの割合をそれぞれ3分の1ずつにする家庭的養護の推進を図っている。</p> <p>令和元年度の社会的養護における里親等への委託措置率は目標値をほぼ達成できている。平成29年度から里親支援員を2名増員し、4名体制で、委託前から委託後まで充実した里親支援を行うことで、交流不調や委託解除を未然に防いでいること等が考えられる。</p>
---------	---

事業群 ⑤ DV被害者への支援及びDV予防について

指標	ステップハウスでの支援を希望する世帯への対応比率	所管課	こども政策局 こども家庭課
----	--------------------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		100%	100%	100%	100%	100%	100% (R2年度)
実績値②	100% (H26年度)	100%	100%	100%	100%		進捗状況
②/①		100%	100%	100%	100%		順調

統計名など：ステップハウス入居希望世帯への対応比率実績

進捗状況の分析	<p>DV被害者等が一時保護所を退所後、自立するための支援として、中期的に入所する施設であるステップハウスについては、希望する世帯へ全て対応した。</p> <p>※ステップハウス:一時保護所退所者等で自立が困難な方が地域社会で自立をした生活を送ることができるまでの間、支援を受けながら入所する施設</p>
---------	--

事業群 ⑥ 障害のある子ども等への支援

指標	発達障害者支援センターによる関係機関への支援件数	所管課	こども政策局 こども家庭課
----	--------------------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		180件	200件	230件	260件	280件	280件 (R2年度)
実績値②	143件 (H26年度)	204件	204件	220件	269件		進捗状況
②/①		113%	102%	95%	103%		順調

統計名など：発達障害者支援センター実施状況報告(厚生労働省)

進捗状況の分析	<p>地域支援マネージャーを中心に事業所へのつなぎ・定着支援等に取り組んだことや、研修会等を通じて機関支援の周知を図ったことにより、令和元年度は269件とこれまでで最も多かった。</p> <p>発達障害者支援センターは、県下の拠点施設であり、発達障害児(者)とその家族が、身近な地域で相談や必要な支援を受けることができる体制の確立に向けて、個別支援(直接支援)だけでなく、引き続き、関係機関職員の資質向上を目的とした研修会や関係機関への支援(間接支援)を行っていく。</p>
---------	---

事業群 ⑦ インクルーシブ教育システムの構築に向けた特別支援教育の推進

指標	公立の幼・小・中・高等学校における個別の教育支援計画の作成率	所管課	教育庁 特別支援教育課
----	--------------------------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		84.0%	87.0%	90.0%	90% 以上を維持	90% 以上を維持	90% 以上を維持 (R2年度)
実績値②	79.7% (H26年度)	83.0%	84.7%	91.6%	93.6%		進捗状況
②/①		98%	97%	101%	100%		順調

統計名など：特別支援教育体制整備状況等調査

進捗状況の分析	<p>昨年度に比べて幼稚園の作成率が3.8ポイント、高等学校の作成率が3.5ポイント伸び、R1年度の目標値を達成できた。</p>
---------	--

事業群 ⑧ いじめや不登校など児童生徒が抱える問題への総合的な対策の推進

指標	不登校児童生徒数	所管課	教育庁 児童生徒支援課
----	----------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		1,600人 以下	1,550人 以下	1,500人 以下	1,450人 以下	1,400人 以下	1,400人以下 (R2年度)
実績値②	1,653人 (H26年度)	1,680人	1,788人	1,913人	算定中		進捗状況
②/①		0%	0%	0%	—		遅れ

統計名など：児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査(文部科学省)

進捗状況の 分析	<p>本県の全児童生徒に対する不登校児童生徒数の割合は全国と比較すると低くなっている(H30 長崎県1.5%、全国1.7%)。しかしながら、不登校の要因は個々において様々で、複雑に絡み合っているケースが多い。また、不登校者数は、小6で著しい増加が見られ、小6から中1に進級の際も2.6倍となっていることから、引き続き、幼少・小中連携やスクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等との連携の推進により、不登校児童生徒の精神的負担や不安の軽減に努める必要がある。小学校において増加が顕著である要因としては、家庭問題や学業不振が挙げられる。</p> <p>(H26:1,653人(小157人、中1,068人、高428人) H27:1,620人(小217人、中1,109人、高294人) H28:1,680人(小259人、中1,076人、高345人) H29:1,788人(小353人、中1,067人、高368人)) H30:1,913人(小416人、中1,140人、高357人)) なお、令和元年度実績については算定中である。</p>
-------------	---

事業群 ⑨ ニートやひきこもり等、社会生活を営む上で困難を有する子ども・若者等への支援

指標	子ども・若者総合相談センターにおける相談件数	所管課	こども政策局 こども未来課
----	------------------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		4,020件	4,120件	4,220件	4,320件	4,420件	4,420件 (R2年度)
実績値②	3,920件 (H26年度)	3,523件	4,391件	5,173件	5,425件		進捗状況
②/①		87%	106%	122%	125%		順調

統計名など：相談件数実績

進捗状況の 分析	<p>年々相談件数が増加している背景に、ゆめおすの周知が進んでいることと、関係機関との連携が進んだことにより、紹介されてくる重篤なケースが増加し、他の関係機関に繋ぐことに時間がかかることが挙げられる。さらに、LINE相談(メール相談として集計)を開始したことも増加の大きな要因である。</p> <p>今後も利用者のニーズに応じた相談体制を整備するとともに、引き続き事業の周知広報に務める。</p>
-------------	--

事業群 ⑨ ニートやひきこもり等、社会生活を営む上で困難を有する子ども・若者等への支援

指標	子ども・若者総合相談センターにおける相談の終了割合	所管課	こども政策局 こども未来課
----	---------------------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		34%	38%	42%	46%	50%	50% (R2年度)
実績値②	30% (H26年度)	46.2%	45.2%	51.0%	45.4%		進捗状況
②/①		135%	118%	121%	98%		やや遅れ

統計名など：支援状況実績

進捗状況の 分析	<p>昨年度と比べて終了割合が減少している理由の一つとして、新規相談の減少が考えられる。新規相談が減少することで、旧年度からの継続のケースの割合が大きくなったため、終了の割合が減少した。また、関係機関からの重篤なケースの紹介により、相談期間が長期化していると考え。引き続き、相談内容に応じた適切な支援機関等への紹介を行い、相談終了に向け支援していく。</p>
-------------	---

戦略4 生きがいを持って活躍できる社会をつくる

◇施策1 いつまでも健康で活躍できる社会の実現
成果指標

成果指標	健康状態の管理や生活習慣の改善に取り組んでいる人の割合	所管課	福祉保健部 国保・健康増進課
------	-----------------------------	-----	-------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		61.0%	64.0%	67.0%	70.0%	73.0%	73.0% (R2年度)
実績値②	57.1% (H26年度)	62.3%	66.2%	62.6%	63.5%		進捗状況
②/①		102%	103%	93%	90%		やや遅れ

統計名など：長崎県の取組に関する県民意識アンケート調査

進捗状況の分析	健康長寿日本一の長崎県づくりを推進するために県民運動の展開と県民が主体的に参加し継続できる健康づくりの環境を整備しているが、健康状態の管理や生活習慣の改善に取り組んでいる人の割合は、R1年度は目標達成するには至らなかった。取り組んでいない理由については「面倒だから取り組まない。」がH28年度は32.5%、H29年度は33.2%、H30年度は36.6%、R1年度は40.5%と増加傾向であるため、今後はさらに楽しく継続できる健康づくりの環境整備を推進していく必要がある。
---------	---

成果指標	ながさき県民大学(主催講座)における受講者の満足度	所管課	教育庁 生涯学習課
------	---------------------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		90%以上を維持	90%以上を維持	90%以上を維持	90%以上を維持	90%以上を維持	90%以上を維持 (R2年度)
実績値②	96.9% (H26年度)	97.5%	97.3%	98.3%	99.4%		進捗状況
②/①		100%	100%	100%	100%		順調

統計名など：受講者へのアンケート調査

進捗状況の分析	毎年度90%以上を維持することができ、県と様々な団体の共催型生涯学習講座である「主催講座」について、大半の受講者が満足していると判断できる。今後も個々のニーズに柔軟に対応できる生涯学習環境の整備を図る。
---------	---

事業群の指標

事業群 ① 健康の保持増進と生活習慣病の予防

指標	全死亡者数に占める三大疾患(がん、心臓・脳血管疾患)死亡割合	所管課	福祉保健部 国保・健康増進課
----	--------------------------------	-----	-------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		51.0%	50.5%	50.1%	49.6%	49.2%	49.2% (R2年)
実績値②	51.9% (H26年)	50.8%	50.0%	50.6%	49.5%		進捗状況
②/①		102%	101%	99%	100%		順調

統計名など：人口動態統計(厚生労働省)

進捗状況の分析	<p>全死亡者数に占める三大疾患(がん、心疾患、脳血管疾患)の死亡割合は、減少傾向にあるものの、依然として全死亡の約半数を占めている。これらの疾患の発症予防には、個人の栄養・食生活、身体活動・運動、喫煙、飲酒、睡眠・休養等生活習慣の改善とそれを支える環境の整備を推進していく必要がある。</p> <p>(H24) (H25) (H26) (H27) (H28) (H29) (H30) (R1) * 52.6% ⇒ 52.7% ⇒ 51.9% ⇒ 52.0% ⇒ 50.8% ⇒ 50.0% ⇒ 50.6% ⇒ 49.5%</p> <p>(注)R1実績は概数値であり、確定値公表後に変更の可能性あり</p>
---------	---

事業群 ② 高齢者の社会参加と活躍促進

指標	長崎県ねんりんピック等の参加者数	所管課	福祉保健部 長寿社会課
----	------------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		5,900人	5,925人	5,950人	5,975人	6,000人	6,000人 (R2年度)
実績値②	5,790人 (H26年度)	6,331人	5,936人	6,011人	5,309人		進捗状況
②/①		107%	100%	101%	89%		遅れ

統計名など：長崎県すこやか長寿財団の事業報告書

進捗状況の 分析	令和元年度の長崎県ねんりんピック等の参加者数については、県ねんりんピックの競技種目の減少や、年度末に開催を予定していたシニア競技普及事業が新型コロナウイルスの影響により中止になったこと等により、目標を達成することができなかった。
-------------	--

事業群 ③ 食育の推進

指標	「食に関すること」について、興味のある人の割合	所管課	県民生活環境部 食品安全・消費生活課
----	-------------------------	-----	-----------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		64.0%	65.5%	67.0%	68.5%	70.0%	70.0% (R2年度)
実績値②	63.2% (H27年度)	67.5%	65.0%	64.3%	63.4%		進捗状況
②/①		105%	99%	95%	92%		やや遅れ

統計名など：長崎県の取組に関する県民意識アンケート調査

進捗状況の 分析	令和元年度は、前年度に引き続き、若い世代の食生活に関する課題を解決することを目的に、大学と連携した食育推進事業を実施し、大学生に対する広報活動や情報提供を行った。また、県ホームページやFacebookを活用した食育情報の発信や食育講演会、県・市町食育推進スクラム会議の開催など、県民の食への関心を高める事業を実施した。 しかし、「食に関すること」について興味のある人の割合は目標を達成するには至っておらず、また、国や県が実施したアンケートでも、若い世代が抱える朝食欠食や野菜摂取不足などの課題の改善ができていない結果となっている。
-------------	--

事業群 ④ 子どもたちの体力の向上と学校体育の推進

指標	「体育の授業で運動のやり方やコツがわかった」児童生徒の割合	所管課	教育庁 体育保健課
----	-------------------------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		90.0% 以上を維持	90.0% 以上を維持	90.0% 以上を維持	90.0% 以上を維持	90.0% 以上を維持	90.0% 以上を維持 (R2年度)
実績値②	88.9% (H26年度)	88.9%	90.4%	90.6%	89.7%		進捗状況
②/①		98%	100%	100%	99%		やや遅れ

統計名など：全国体力・運動能力、運動習慣等調査(スポーツ庁)

進捗状況の 分析	体力向上指導者養成研修をはじめとする教職員研修の実施とともに、体力テストの結果を踏まえた、各学校ごとの体力向上の取組や学校への専門講師の派遣による指導の充実等により、平成29年度以降、2年連続で目標値である90%を達成し、令和元年度も実績値は下回ったが、継続的な取組により達成率が99%となった。
-------------	--

事業群 ⑤ 子どもの望ましい生活習慣の定着に向けた学校・家庭・地域が連携した健康教育の推進

指標	12歳児(中1)の永久歯平均歯数(DMFT)	所管課	教育庁 体育保健課
----	------------------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		1.05本	1.0本	0.95本	0.9本	0.85本	0.85本 (R2年度)
実績値②	1.1本 (H26年度)	1.15本	1.05本	0.95本	0.91本		進捗状況
②/①		0%	50%	100%	95%		やや遅れ

統計名など：学校保健統計調査 12歳児(中1)の永久歯平均歯数(DMFT)の集計

進捗状況の分析	<p>学校におけるむし歯予防に向けた取組として、歯垢の除去(歯磨き習慣の確立)、糖質摂取の改善(望ましい食習慣の確立)を推進するとともに、特に、歯質の改善に最も有効であるフッ化物洗口については、地域全体の子どもたちに対して平等に行うことができるむし歯予防方法として、県全体として取り組んでいる。</p> <p>平成29年度以降、県内すべての公立小学校において、フッ化物洗口が実施されるようになった。また、DMFT※が0.91本となり、昨年度よりも0.04本減少につながるなど、フッ化物洗口を取り入れることにより、徐々にむし歯の本数が減少している。</p> <p>※DMFT：永久歯の未処置歯(D)、喪失歯(M)、処置歯(F)の総数を被検者(T)で割った数で文部科学省が毎年行っている学校保健統計調査の調査項目の1つ</p>
---------	---

事業群 ⑥ 生涯スポーツの振興と県民(特に高齢者)の健康増進

指標	成人の週1回以上のスポーツ実施率	所管課	文化観光国際部 スポーツ振興課
----	------------------	-----	--------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		—	—	—	—	65.0%	65.0% (R2年度)
実績値②	43.7% (H27年度)	—	—	—	—		進捗状況
②/①		—	—	—	—		—

統計名など：県民のスポーツ実態に関するアンケート調査

進捗状況の分析	<p>進捗実績把握のための「県民のスポーツ実態に関するアンケート調査」は5年毎に実施(次回調査令和2年)することから、平成28、29、30、令和元年の実績把握はできない。</p> <p>※参考：国が令和元年度に行った世論調査による「成人の週1回以上のスポーツ実施率」は53.6%。但し国と県では調査設定内容等に違いがあるため単純比較はできない。</p>
---------	--

事業群 ⑦ 豊かな人生を支える県民の生涯学習環境の整備

指標	ながさき県民大学の講座受講者数	所管課	教育庁 生涯学習課
----	-----------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		526,000人	527,000人	528,000人	560,000人	560,000人	560,000人 (R2年度)
実績値②	526,661人 (H26年度)	562,045人	596,433人	596,951人	592,387人		進捗状況
②/①		106%	113%	113%	105%		順調

統計名など：講座実施団体への照会

進捗状況の分析	<p>ながさき県民大学の講座登録数・受講者数は、毎年目標値を達成している。新たに登録された講座の広報を積極的に行い、また、まなびの手帳の子ども版を配布するなど、幅広い年代の受講者が意欲的に生涯学習に取り組むことができるよう、環境整備を進めている。</p>
---------	---

事業群 ⑧ 地域の元気づくりのための社会教育の充実・活性化

指標	公民館職員等研修会及び県公民館大会、県社会教育研究大会参加者における満足度	所管課	教育庁 生涯学習課
----	---------------------------------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		90% 以上を維持	90% 以上を維持	90% 以上を維持	90% 以上を維持	90% 以上を維持	90.0% 以上を維持 (R2年度)
実績値②	98.0% (H26年度)	93.1%	90.4%	93.2%	98.0%		進捗状況
②/①		100%	100%	100%	100%		順調

統計名など：参加者へのアンケート調査

進捗状況の 分析	<p>公民館職員等研修会や県公民館大会、県社会教育研究大会では、各地区で活動している様々な団体等の実践発表や高校生による地域探究型学習の成果発表を取り入れ、インタビュー・ダイアログ※などの手法を用いて研修の手法を工夫するなど、研修内容を充実することで参加者の高い満足度を維持している。</p> <p>※インタビュー・ダイアログ…司会者の進行により話し手と聞き手とが質問や対話を通して互いに共感や理解を深める手法</p>
-------------	---

◇施策2 女性の活躍推進

成果指標

成果指標	事業所における管理職(係長級以上)に占める女性の割合	所管課	県民生活環境部 男女参画・女性活躍推進室
------	----------------------------	-----	-------------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		26.0%	27.0%	28.0%	29.0%	30.0%	30.0% (R2年度)
実績値②	23.7% (H26年度)	27.9%	28.4%	27.3%	29.6%		進捗状況
②/①		107%	105%	97%	102%		順調

統計名など: 長崎県労働条件等実態調査

進捗状況の 分析	事業所における管理職(係長級以上)に占める女性の割合は、令和元年度は29.6%であり、前年(27.3%)から2.3ポイントの増となり、目標(29%)を達成した。 引き続き、ながさき女性活躍推進会議等と連携し、女性が活躍できる働きやすい職場環境づくりや女性人材の育成支援等、中長期的・継続的な取組を行っていく。
-------------	---

事業群の指標

事業群 ① あらゆる分野における男女共同参画の推進

指標	「男女共同参画社会」という用語の認知度	所管課	県民生活環境部 男女参画・女性活躍推進室
----	---------------------	-----	-------------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		80.0%	81.0%	82.0%	83.5%	85.0%	85.0% (R2年度)
実績値②	79.2% (H27年度)	84.0%	81.5%	82.9%	78.8%		進捗状況
②/①		105%	100%	101%	94%		遅れ

統計名など: 長崎県の取組に関する県民意識アンケート調査

進捗状況の 分析	男女共同参画社会の重要性等について、ラジオ番組放送や情報誌発行、各種週間等における啓発活動を実施した。また、男女共同参画推進員・男女共同参画アドバイザーと市町が連携し、地域に根ざした普及啓発に取り組んだものの、令和元年度の目標は達成できなかった。認知度の調査結果については、年度毎にばらつきはあるが、平成28～令和元年度の平均値は81.8%と、基準年の79.2%を上回っている。引き続き、普及啓発に取り組むとともに、地域における取組のさらなる広がりが必要である。
-------------	---

事業群 ② 女性のライフステージに応じた就労支援及び男女がともに働きやすい環境の整備

指標	「ウーマンズジョブほっとステーション」における年間就職者数	所管課	県民生活環境部 男女参画・女性活躍推進室
----	-------------------------------	-----	-------------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		219人	226人	458人	458人	458人	458人 (R2年度)
実績値②	16人 (H26年度)	481人	422人	537人	523人		進捗状況
②/①		219%	186%	117%	114%		順調

統計名など: 「ウーマンズジョブほっとステーション」における年間就職者数

進捗状況の 分析	女性のライフステージに応じたきめ細かな就業支援を行った。その結果、令和元年度の年間就職者数は523人となり、当該年度の目標を達成した。
-------------	---

事業群 ③ 女性の人材育成と活躍促進

指標	女性人材ネットワーク登録件数(累計)	所管課	県民生活環境部 男女参画・女性活躍推進室
----	--------------------	-----	-------------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		60件	70件	80件	90件	100件	100件 (R2年度)
実績値②	0件 (H26年度)	23件	60件	83件	98件		進捗状況
②/①		38%	85%	103%	108%		順調

統計名など：女性力でながさを活性化会議ホームページ掲載の女性人材の数

進捗状況の 分析	女性人材の掘り起こし及びネットワーク登録に努め、登録件数98件となり、当該年度の目標を達成した。(平成30年度83件から15件増加) 引き続き、女性人材ネットワークの登録促進に向け、県庁各部局や市町、男女共同参画推進員等から幅広い分野の女性人材の情報収集を行っていく。
-------------	---

◇施策3 多様な主体が支えあう地域づくりの推進

成果指標

成果指標	市民活動団体等の数	所管課	県民生活環境部 県民生活環境課
------	-----------	-----	--------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		2,905 団体以上	2,905 団体以上	2,905 団体以上	2,905 団体以上	2,905 団体以上	2,905団体以上 (R2年度)
実績値②	2,905団体 (H26年度)	2,953 団体	2,968 団体	2,983 団体	2,993 団体		進捗状況
②/①		100%	100%	100%	100%		順調

統計名など：市民活動団体数調査

進捗状況の 分析	県民ボランティア活動支援センターを中心に、NPO・ボランティア活動促進のための情報提供や支援など、各種事業を適切に実施したことにより、目標を達成した。
-------------	---

成果指標	新たな地域づくり担い手団体数(累計)	所管課	地域振興部 地域づくり推進課
------	--------------------	-----	-------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		20団体	40団体	60団体	80団体	100団体	100団体 (R2年度)
実績値②	—	23団体	59団体	72団体	88団体		進捗状況
②/①		115%	147%	120%	110%		順調

統計名など：支援事業における実績に基づく

進捗状況の 分析	集落維持・活性化対策として、小さな楽園プロジェクトや集落維持対策推進事業に取り組み、市町における地域運営組織を核とした住民主体の集落対策を支援した。これまで、小さな楽園プロジェクトにより、モデル地域となる5市町の支援に取り組んだほか、これを先行事例としながら、アドバイザー派遣や研修会など集落対策推進に向けた市町への支援や働きかけを行ってきた結果、令和元年度の目標を達成した。
-------------	--

事業群の指標

事業群 ① 多様な主体が地域課題の解決を担う社会づくり

指標	NPO法人の新規設立数	所管課	県民生活環境部 県民生活環境課
----	-------------	-----	--------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		22法人 以上	22法人 以上	22法人 以上	22法人 以上	22法人 以上	22法人以上 (R2年度)
実績値②	24法人 (H26年度)	32法人	21法人	11法人	19法人		進捗状況
②/①		145%	95%	50%	86%		やや遅れ

統計名など：NPO施行事務

進捗状況の 分析	人口減少や高齢化社会の急速な進展によって、NPO法人等の活動の担い手確保が難しくなっており、NPO法人の新規設立の相談件数や設立数も近年減少傾向に推移している。そのような中、令和元年度は県民ボランティア活動支援センターにおいて定期的な設立相談を行い相談対応数が増加したほか、県内2地区での設立相談会や随時の相談への丁寧な対応などの取組により、目標値には達しなかったものの、設立数は前年実績に比べ大きく持ち直した。
-------------	--

事業群 ② 地域を支える拠点づくり

指標	新たに集落維持・活性化に取り組んだ件数(累計)	所管課	地域振興部 地域づくり推進課
----	-------------------------	-----	-------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		5件	9件	12件	16件	21件	21件 (R2年度)
実績値②	—	6件	11件	14件	17件		進捗状況
②/①		120%	122%	116%	106%		順調

統計名など：支援事業における実績に基づく

進捗状況の分析	集落維持・活性化対策として、小さな楽園プロジェクトや集落維持対策推進事業に取り組み、市町における地域運営組織を核とした住民主体の集落対策を支援した。これまで、小さな楽園プロジェクトにより、モデル地域となる5市町の支援に取り組んだほか、これを先事例としながら、アドバイザー派遣や研修会など集落対策推進に向けた市町への支援や働きかけを行ってきた結果、目標16件に対して17件の実績となり、目標を達成した。
---------	--

事業群 ③ 持続可能な社会の構築のための環境保全活動の促進や環境教育等の推進

指標	身近な環境保全活動に取り組んでいる人の割合	所管課	県民生活環境部 県民生活環境課
----	-----------------------	-----	--------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		70.2%	72.6%	75%	75%	75%	75% (R2年度)
実績値②	63% (H25年度)	56.4%	58.6%	61.9%	53.6%		進捗状況
②/①		80%	80%	82%	71%		遅れ

統計名など：長崎県の取組に関する県民意識アンケート調査

進捗状況の分析	前年度と比較して身近な環境保全活動に十分にに取り組んでいると考えている人の割合が減少している。近年の地球温暖化による気候変動や、海洋プラスチックごみによる生態系への影響などの環境問題に対する人々の知識や問題意識は高まっていると推測されるが、その反面、何にどう取り組めば良いか分からなかったり、自身の取り組みが環境保全に寄与しているという実感に乏しい人が多いと考えられる。そこで、知識だけでなく実体験を伴う環境学習の実施や指導者の育成等により、県民一人ひとりの身近な行動変容が各地域はもとより地球全体の環境保全につながっているとの認識を深めるとともに、家庭や地域の多様な主体による取組を促進するための普及啓発をさらに進める必要がある。
---------	--

戦略5

次代を担う子どもを育む

◇施策1 結婚・妊娠・出産・子育ての一貫した切れ目ない支援

成果指標

成果指標	合計特殊出生率	所管課	こども政策局 こども未来課
------	---------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		1.66	1.69	1.72	1.8 (1.75)	1.8 (1.78)	1.8 (R2年度)
実績値②	1.66 (H26年度)	1.71	1.70	1.68	1.66 (概数)		進捗状況
②/①		103%	100%	97%	94%		やや遅れ

統計名など：人口動態統計月報年計(厚生労働省)

進捗状況の分析	<p>本県の合計特殊出生率は最低値(1.45)を示したH17年以降概ね上昇傾向にあったが、近年は伸び悩んでおり、都道府県別順位は第4位と高い水準を保っているものの、県民の希望出生率である2.08を大きく下回っている。</p> <p>合計特殊出生率に大きな影響を及ぼす「女性有配偶率」と「有配偶出生率」の本県の状況は以下のとおり。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・女性有配偶率(H27、15～49歳)は全国平均の50.4%と比べ、48.4%と低い水準 ・有配偶出生率(H27、15～49歳有配偶女性人口1000人対)は全国平均78.5と比べ、91.2と非常に高い水準 <p>本県においてH29年度に実施した合計特殊出生率の要因分析においても、県民の希望出生率の実現に向けては、女性有配偶率の上昇が最優先課題であることが明らかとなっており、今後、県民が希望する結婚の実現に向けて、これまで以上に支援体制を強化する必要がある。</p> <p>なお、有配偶出生率については、全国に比して非常に高い水準であり、これまで取り組んできた子育て環境の整備により、安心して子どもを産み育てられる環境が整ってきた結果と考えられる。</p>
---------	---

事業群の指標

事業群 ① 結婚、妊娠、出産の支援

指標	婚活支援事業による成婚数	所管課	こども政策局 こども未来課
----	--------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		40組	60組	80組	100組	100組	100組 (R2年度)
実績値②	10組 (H26年度)	23組	46組	65組	98組		進捗状況
②/①		57%	76%	81%	98%		やや遅れ

統計名など：成婚報告数実績

進捗状況の分析	<p>令和元年度の結婚支援事業による成婚数は98組で、その内訳は、データマッチングシステムによる53組(目標:60組)、ながさきめぐりあい事業による19組(目標:30組)、婚活サポーター縁結び隊による26組(目標:10組)であった。</p> <p>令和2年度以降の目標値については、第2期長崎県まち・ひと・しごと創生総合戦略において150組に上方修正しており、令和元年度の実績では進捗率は65%程度に止まるため、目標値の達成に向けては、各支援策の課題解決に向けた見直しを進めるとともに、事業間の連動を図り、相乗効果を高める必要があることから、長崎県婚活サポート官民連携協議会の構成メンバーをはじめ、関係機関との連携をさらに深め、ノウハウを集約し、一体的に取組を推進していく必要がある。</p> <p>中でも、最も高い目標値を設定しているデータマッチングシステムにおいては、新しい生活様式も見据えたシステムの改良に努めるとともに、登録会員数の増加やマッチング率の上昇に向けた取組を強化する必要がある。</p>
---------	---

事業群 ② 子どもや子育て家庭への支援

指標	保育所待機児童数	所管課	こども政策局 こども未来課
----	----------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		0人	0人	0人	0人	0人	0人 (R2年度)
実績値②	95人 (H26年度)	70人	190人	157人	70人		進捗状況
②/①		26%	0%	0%	26%		遅れ

統計名など：保育所等利用待機児童数調査(厚生労働省)

進捗状況の分析	各市町が策定する「子育て安心プラン実施計画」に基づき、安心こども基金や国の施設整備交付金を活用した、保育所・認定こども園の施設整備による新設や定員増に取り組み、令和元年度の待機児童数は平成30年度の157人から70人と87人減少した。
---------	---

事業群 ② 子どもや子育て家庭への支援

指標	放課後児童クラブ待機児童数	所管課	こども政策局 こども未来課
----	---------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		65人	48人	31人	14人	0人	0人 (R2年度)
実績値②	99人 (H26年度)	18人	42人	53人	29人		進捗状況
②/①		238%	111%	67%	82%		やや遅れ

統計名など：放課後児童健全育成事業(放課後児童クラブ)実施状況調査(厚生労働省)

進捗状況の分析	放課後児童クラブ待機児童数について、目標値を上回る結果となったが、各市町による新規クラブの開設・増設等により受け皿は年々拡大している。記載の実績数等は国調査のデータ上、令和元年5月1日時点のものであるが、その後の県独自に再調査した令和元年12月1日時点の結果では、待機児童数は10名となっている。
---------	--

事業群 ③ 命の尊さや家庭生活・家族の大切さなど、自分の将来を考えさせる教育の普及

指標	公立中学校・高等学校における、命の尊さや家庭生活・家族の大切さなど、自分の将来を考えさせる教育(講座等)の実施率	所管課	教育庁 体育保健課
----	--	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		16.1%	25.0%	50.0%	100%	100%	100% (R2年度)
実績値②	10.7% (H26年度)	100%	100%	100%	100%		進捗状況
②/①		621%	400%	200%	100%		順調

統計名など：個別に調査

進捗状況の分析	<p>自分の将来を考えさせる教育を県内に普及させるために、こども政策局と連携しながら、教職員、母子保健関係職員を対象とした性に関する教育指導者養成研修会を平成28年度、29年度の2年間をかけて実施してきた。2年間で県南、県央、県北、吉岐、対馬、五島など県内12市町で19回開催した。また、学校保健総合支援事業(文科省委託事業)における専門医等の学校等への派遣についても、令和元年度においては産婦人科医が11回、助産師が15回の派遣を実施できた。</p> <p>このような取組を踏まえ、性に関する教育実施状況調査の結果、令和元年度も、県内すべての学校において実施率が100%であった。</p> <p>なお、平成28年度、29年度と当初設定した目標値を達成したことに伴い、令和元年度以降についても目標値を100%に変更し、自分の将来を考えさせる教育の充実を図っていくよう改めている。</p>
---------	---

◇施策2 安心して子育てできる環境づくり

成果指標

成果指標	ココロねっこ運動取組件数(累計)	所管課	こども政策局 こども未来課
------	------------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		11,862件	12,162件	12,462件	13,700件	14,000件	14,000件 (R2年度)
実績値②	11,262件 (H26年度)	12,691件	13,132件	13,211件	13,228件		進捗状況
②/①		106%	107%	106%	96%		やや遅れ

統計名など: 調査結果

進捗状況の 分析	H28～H30年度に目標を大幅に達成していたため、目標設定を上方修正したが、団体等への働きかけが不足し、達成しなかった。 今年度は、同様の取り組みを行っている団体等への登録促進を促す。
-------------	---

事業群の指標

事業群 ① 県民総ぐるみの子育て支援

指標	家庭の日の県民への認知度	所管課	こども政策局 こども未来課
----	--------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		40%	45%	50%	60%	70%	70% (R2年度)
実績値②	30% (H26年度)	40%	43%	73%	64%		進捗状況
②/①		100%	95%	146%	106%		順調

統計名など: アンケート調査

進捗状況の 分析	ココロねっこ運動巡回説明時や家庭教育講座時に家庭の日の認知度の調査を実施し、64%であった(回答数491人)。今年度も引き続き関係各課と連携しながら広報、啓発を継続していく。
-------------	---

事業群 ② 子どもを取り巻く有害環境対策の推進

指標	携帯電話所持の児童・生徒のフィルタリング利用率	所管課	こども政策局 こども未来課
----	-------------------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		74%	76%	78%	80%	80%	80% (R2年度)
実績値②	70% (H26年度)	69%	67%	66%	62.5%		進捗状況
②/①		93%	88%	84%	78%		遅れ

統計名など：児童・生徒への調査

進捗状況の分析	<p>県内の小・中・高校生のフィルタリング利用率は、H28:69%、H29:67%、H30:66%と、ここ数年間は60%台で、割合が徐々に下がってきている。</p> <p>それを受けて平成30年3月に長崎県少年保護育成条例を改正し、フィルタリング設定の促進を推進しているが、今後も80%の目標達成に向け、携帯電話販売店等への指導、長崎県メディア安全指導員による啓発、教育関係者への助言指導などを実施し、さらなる利用促進を図っていく。</p>
---------	--

事業群 ③ 幼稚園、保育所、幼保連携型認定こども園の耐震化の推進

指標	私立幼稚園・私立保育所・私立幼保連携型認定こども園の耐震化率	所管課	こども政策局 こども未来課
----	--------------------------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		88%	91%	94%	97%	100%	100% (R2年度)
実績値②	83% (H26年度)	87.0%	89.2%	88.3%	88.8%		進捗状況
②/①		98%	98%	93%	91%		やや遅れ

統計名など：私立幼稚園・私立保育所・私立幼保連携型認定こども園の耐震化率(こども未来課調)

進捗状況の分析	<p>災害時における幼児の安全確保は喫緊の課題であり、早急に幼稚園施設等の耐震性を確保する必要がある。</p> <p>耐震診断の実施により、幼稚園・保育所の耐震性が明らかとなり、施設整備の検討を行うきっかけとなる。</p> <p>本事業の実施により耐震化率も年々上昇し、一定の成果は得ているが、耐震診断、耐震工事の実施には多額の費用を伴うことから、一部、耐震化に踏み切れない施設設置者もある。</p>
---------	--

◇施策3 学力の向上と個性を活かした教育の推進

成果指標

成果指標	県内公立高校卒業生において進学希望者数に対する進学決定率	所管課	教育庁 高校教育課
------	------------------------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		94%以上を維持	94%以上を維持	94%以上を維持	94%以上を維持	94%以上を維持	94%以上を維持 (R2年度)
実績値②	93.2% (H26年度)	94.5%	93.4%	94.9%	98.6%		進捗状況
②/①		100%	99%	100%	100%		順調

統計名など：教育活動調査

進捗状況の分析	学校訪問等で学校の状況を把握し、授業改善に向けた学校の取組を支援するとともに、適切な進路指導がなされるように、大学等の入試情報についても情報提供を行っている。令和元年度は進学希望者数に対する進学決定者数の割合が98.6%と例年に比べ高い実績値であった。これは、令和2年度から始まる新しい入試制度への不安から現役合格にこだわる生徒が多かったためだと考えられる。
---------	---

事業群の指標

事業群 ① 変化の激しい社会を生き抜く「確かな学力」の育成

指標	県学力調査(国語、算数・数学)で6割以上理解している児童生徒の割合(小・中学校)	所管課	教育庁 義務教育課
----	--	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		60.0%	65.0%	70.0%	70%以上を維持	70%以上を維持	70%以上を維持 (R2年度)
実績値②	46.4% (H27年度)	45.2%	56.2%	57.0%	56.6%		進捗状況
②/①		75%	86%	81%	80%		やや遅れ

統計名など：長崎県学力調査(国語、算数・数学)の結果

進捗状況の分析	本県独自の学力調査により、児童生徒の課題を適切に把握するとともに、課題改善に向けた取組を支援するため、学校訪問や、検証改善のためのモデル授業を実施した。実績値の推移を見ると、平成27年度の46.4%、平成28年度の45.2%に対して、平成29年度は56.2%、平成30年度は57.0%、令和元年度は56.6%と、若干の伸びが見られたが、横ばい状態にある。
---------	---

事業群 ② 学校の小規模化やアクティブ・ラーニング等に対応したICT活用の推進

指標	ICTを活用して学習に取り組むことのできる子どもの割合(小・中学校)	所管課	教育庁 義務教育課
----	------------------------------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		80%	90%	100%	100% 維持	100% 維持	100%維持 (R2年度)
実績値②	60.1% (H26年度)	69.5%	69.7%	71%	69.6%		進捗状況
②/①		86%	77%	71%	69%		遅れ

統計名など：学校運営に関する諸調査

進捗状況の分析	平成28～30年度に、ICT教育地区別研修会等を実施し、教員の指導力向上を図った。また、平成27～29年度に、へき地の小規模校に対し、遠隔協働学習の実証研究を進め、「長崎県遠隔協働学習導入マニュアル」を作成した。さらに、平成30～令和元年度に、「長崎県小学校プログラミング教育スタートブック」を作成し、小学校プログラミング教育地区別研修会を実施した。これらの取組により、5年前よりも実績値が10ポイント程度上昇しており一定の成果は見られるが、教育用パソコンの整備が国の目標に達していないことから、実績値が70%程度で推移している。
---------	---

事業群 ③ 小中一貫教育など特色ある学校づくりの推進

指標	小中連携による教育活動を実施している小・中学校の割合	所管課	教育庁 義務教育課
----	----------------------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		60%	70%	80%	90%	100%	100% (R2年度)
実績値②	53% (H26年度)	98.5%	99.2%	99.2%	99.2%		進捗状況
②/①		164%	141%	124%	110%		順調

統計名など：学校運営に関する諸調査

進捗状況の分析	平成28年4月に学校教育法が改正され、小学校から中学校までの義務教育を一貫して行う「義務教育学校」が新たな学校種として規定された。本内容については通知および各種会議を通じて周知を行い、小中一貫及び小中連携教育の推進について働きかけを行ってきた。また、平成28・29年度に小中一貫教育を推進する研究校を指定し、その成果や教育方法を県内に発信してきた。このような要因により、小中連携による教育活動は、高い実施率で推移している。
---------	---

事業群 ④ 魅力ある私立学校づくりの推進

指標	学校評価(自己評価)の評価数値(4段階評価)	所管課	総務部 学事振興課
----	------------------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		3.3	3.3	3.4	3.4	3.4以上	3.4以上 (R2年度)
実績値②	3.3 (H26年度)	3.4	3.4	3.4	3.4		進捗状況
②/①		103%	103%	100%	100%		順調

統計名など：各私立学校における学校評価実績報告書

進捗状況の 分析	<p>急激な少子化の進行、経済の低迷等により、私立学校を取り巻く環境は厳しい状況にある。令和元年度は、学校の経常費や活性化事業に対する助成を行い魅力ある学校づくりを支援した結果、教育課程・学習指導、キャリア教育、生徒指導などの項目からなる学校評価(自己評価)の令和元年度の実績は、最終目標値(3.4以上)を達成しており、概ね順調に進んでいる。</p>
-------------	---

◇施策4 我が国と郷土を愛する心や豊かな人間性、社会性の育成

成果指標

成果指標	我が国の伝統や文化について理解と愛情のある児童生徒の割合(小・中学校)	所管課	教育庁 義務教育課
------	-------------------------------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		90%	95%	100%	100% 維持	100% 維持	100%維持 (R2年度)
実績値②	72.9% (H26年度)	76.2%	77.4%	77.4%	77.8%		進捗状況
②/①		84%	81%	77%	77%		やや遅れ

統計名など：学校運営に関する諸調査

進捗状況の 分析	目標値100%に達していないものの、8割程度の児童生徒が肯定的な回答をしていることから、一定の成果が見られる。今後一層、我が国の伝統や文化への理解と愛情を育むために、ふるさと教育をはじめとする各事業を継続して進める必要がある。
-------------	---

事業群の指標

事業群 ① ふるさとを愛し、我が国と郷土長崎に誇りを持つ子どもの育成

指標	郷土長崎への理解と愛情のある児童生徒の割合(小・中学校)	所管課	教育庁 義務教育課
----	------------------------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		90%	95%	100%	100% 維持	100% 維持	100%維持 (R2年度)
実績値②	79.6% (H26年度)	81.8%	82.3%	83.5%	82.7%		進捗状況
②/①		90%	86%	83%	82%		やや遅れ

統計名など：学校運営に関する諸調査

進捗状況の 分析	目標値100%に達していないものの、8割以上の児童生徒が肯定的な回答をしていることから、一定の成果が見られる。今後一層ふるさとへの理解と愛情を育むために、ふるさと教育を継続して進める必要がある。
-------------	---

事業群 ② 豊かな道徳性を育む道徳教育の推進

指標	「長崎っ子の心を見つめる教育週間」における道徳教育に関する教育活動の公開率	所管課	教育庁 義務教育課
----	---------------------------------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		100% 維持	100% 維持	100% 維持	100% 維持	100% 維持	100%維持 (R2年度)
実績値②	100% (H26年度)	100%	100%	100%	100%		進捗状況
②/①		100%	100%	100%	100%		順調

統計名など: 「長崎っ子の心を見つめる教育週間」の実施状況調査

進捗状況の分析	小・中学校においては、全ての学校において道徳の時間の授業公開を実施できた。道徳の授業公開については、新学習指導要領でも積極的に取り組むよう述べられている。授業公開を全国に先駆けた取組として実施している本県においては、教科化に伴う質の高い授業を公開していくことが必要である。また、全ての高等学校や特別支援学校においても、道徳教育に関する教育活動を公開することができた。今後も、令和元年度の取組を参考としながら、各学校の実態に応じた取組や創意を生かした取組を継続していく。
---------	--

事業群 ③ 社会の様々な課題を主体的に判断できる力や政治に参画する態度を育てる教育の推進

指標	政治や選挙に関心があり、主体的に社会参画を目指す生徒の割合	所管課	教育庁 高校教育課
----	-------------------------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		45%	50%	55%	60%	60%	60% (R2年度)
実績値②	—	51.3%	50.4%	48.3%	58.9%		進捗状況
②/①		114%	100%	87%	98%		やや遅れ

統計名など: 各県立高校生徒を対象としたアンケート

進捗状況の分析	令和元年度の第25回参議院議員選挙の本県投票率は投票日を直撃した台風の影響により低迷したが、実績値②は増加した。これは各県立高校で取り組まれている政治的教養教育や探究学習等の地道な取組を通じて、主体的に社会と関わり、国や社会、地域の問題を自分の問題として捉えようとしている生徒が着実に育成されていることを示すものとする。
---------	--

事業群 ④ 子どもたちが直接自然と触れ合う体験活動や農山漁村での交流体験の推進

指標	自然体験活動に取り組んでいる小・中学校の割合	所管課	教育庁 義務教育課
----	------------------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		80%	85%	90%	95%	100%	100% (R2年度)
実績値②	79.3% (H26年度)	82.6%	82.6%	83.4%	86.5%		進捗状況
②/①		103%	97%	92%	91%		やや遅れ

統計名など: 学校運営に関する諸調査

進捗状況の分析	目標値には達しなかったが、実績値は年々向上している。小学校(96.3%)に対し、中学校(68.4%)の実施割合が低いため、各種研修会を通じて、中学校での実施について理解を深めていく必要がある。
---------	--

事業群 ⑤ 表現力や創造力を高める子どもの読書活動の推進

指標	児童生徒の不読者率(1か月に本を1冊も読まなかった者の割合)	所管課	教育庁 生涯学習課
----	--------------------------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		小学生 1%以下 中学生 1%以下 高校生 12%以下	小学生 1%以下 中学生 1%以下 高校生 12%以下	小学生 1%以下 中学生 1%以下 高校生 12%以下	小学生 1%以下 中学生 1%以下 高校生 12%以下	小学生 1%以下 中学生 1%以下 高校生 12%以下	小学生1%以下 中学生1%以下 高校生12%以下 (R2年度)
実績値②	小学生0.6% 中学生2.2% 高校生11.6% (H26年度)	小学生0.1% 中学生1.1% 高校生11.9%	小学生0.3% 中学生0.5% 高校生11.9%	小学生0.1% 中学生0.1% 高校生11.9%	小学生0.2% 中学生1.0% 高校生12.3%		進捗状況 遅れ
②/①		100% 91% 100%	100% 100% 100%	100% 100% 100%	100% 100% 98%		

統計名など: 各市町への調査(抽出)

進捗状況の分析	<p>小・中学生の不読者率はそれぞれ目標を達成したが、高校生の不読者率が目標を達成できなかった。また、中学生の不読者率についても平成30年度の0.1%から1.0%に上昇している。学校段階が上がるにつれて不読者率が上昇する理由としては、部活動や進路実現に向けた取組等により読書に使える時間の確保が難しくなっていることや、スマートフォン等の普及による若者の活字離れの影響が考えられる。</p> <p>高校生の不読者率を改善する目的で「高校生が選ぶ友だちにすすめる本」を選書し広く紹介するよう試みた。リスト作成時期が遅くなり十分な活用ができなかったことが目標未達成の一因となった。今後は第四次長崎県子ども読書活動推進計画(令和元~5年度)に基づいた取組の充実を推進していく。</p>
---------	--

事業群 ⑥ 創造性や独創性など豊かな人間性を育てる子どもたちの文化芸術活動の推進

指標	「子ども県展」への応募率	所管課	教育庁 学芸文化課
----	--------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		64.0%	65.5%	67.0%	75%以上 を維持	75%以上 を維持	75%以上を維持 (R2年度)
実績値②	60.0% (H26年度)	70.7%	74.0%	78.3%	74.7%		進捗状況
②/①		110%	112%	116%	99%		やや遅れ

統計名など: 「子ども県展」出品校数・出品作品数

進捗状況の分析	<p>「子ども県展」は、市町教育委員会及び県造形教育研究会と連携し、児童生徒の図画工作・美術に対する意欲・関心を高めるとともに、創作の喜びを味わわせ、また、作品の鑑賞を通して、表現力の向上や豊かな情操の育成を図ることを目的として、県内の小・中学校及び特別支援学校小・中学部の児童生徒を対象に作品を募集し、優秀作品の表彰及び作品展を開催している。</p> <p>令和元年度も、80,000点を超える応募があった。平成17年度に県の主催事業となって以降、募集方法の改善や、作品づくりの授業への組み込みなどを推進した結果、ここ数年は70%を超える応募率を維持している。</p>
---------	---

◇施策5 グローバル化社会を生き抜く力を持った人材づくり

成果指標

成果指標	高校卒業時に英検準2級程度以上の英会話力を持つ生徒の割合	所管課	教育庁 高校教育課
------	------------------------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		88%	89%	90%	90%	90%以上を維持	90%以上を維持 (R2年度)
実績値②	85.1% (H26年度)	79.1%	82.6%	82.3%	84.6%		進捗状況
②/①		89%	92%	91%	94%		遅れ

統計名など：実績報告書の集計

進捗状況の分析	<p>令和元年度は、84.6%(前年度比差+2.3%)の生徒が英検準2級程度以上のレベルの英会話力を身に付けることができた。今後も、各学校においては、Can-doリストに定められた英語4技能の達成目標に基づいた言語活動を取り入れ、継続して英語4技能の向上と英語によるコミュニケーション能力の育成を図っていく。</p> <p>なお、基準年の実績値は、本県を紹介する英語教材についてのインタビューテストの結果で、県立高校すべての生徒を対象としておらず、抽出データである。一方、平成28年度以降の実績値は、一般的な内容をトピックとした本県独自の英会話力テストの結果で、県立高校すべての生徒を対象としたデータである。</p>
---------	--

事業群の指標

事業群 ① 子どもたちが直接外国語に親しむ体験活動の推進

指標	中学校卒業時に英検3級程度以上の英語力を持つ生徒の割合	所管課	教育庁 義務教育課
----	-----------------------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		35%	40%	45%	50%	60%	60% (R2年度)
実績値②	31.3% (H26年度)	32.8%	38.8%	43.4%	41.6%		進捗状況
②/①		93%	97%	96%	83%		やや遅れ

統計名など：英語教育実施状況調査(文部科学省)

進捗状況の分析	<p>目標値には届いていないものの、ここ数年、英検3級程度以上の英語力を持つ生徒の割合はH26:31.3%からH30:43.4%へと12.1%の伸びを見せていた。県内の中学1年生全員対象のイングリッシュ・キャンプ(H28～H30)や中学校英語教員対象のTOEIC IPテスト受験(H28年度～)といった取組が、中学生の英語力向上につながったと思われる。しかしながら、昨年度は実績値が横ばいの状況となった。今後の改善のためには具体的な授業づくりや評価方法の研修会といった教員の指導力向上を中核に据えた取組が必要である。</p>
---------	--

事業群 ② 小・中・高を通した外国語教育の充実

指標	県学力調査(英語)で6割以上理解している中学生の割合	所管課	教育庁 義務教育課
----	----------------------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		60%	65%	70%	70%以上を維持	70%以上を維持	70%以上を維持 (R2年度)
実績値②	51.9% (H27年度)	56.4%	24.5%	37.8%	38.5%		進捗状況
②/①		94%	37%	54%	55%		遅れ

統計名など：長崎県学力調査(英語)

進捗状況の分析	平成29年度に、新学習指導要領への移行を踏まえて県学力調査の問題内容や問題形式を変更したことで、実績値が大きく下降したが、その後は徐々に上昇してきた。引き続き、RISE UP ENGLISHによる知識・技能の確実な習得や検証改善研修等による中学校の授業改善など、県全体としての取組を推進し、英語教育の充実を図っていく。
---------	---

事業群 ③ 高等学校における特色ある国際理解・外国語教育の推進

指標	外国語指導助手が参加する授業により外国語学習の意欲や外国への興味・関心が高まった生徒の割合	所管課	教育庁 高校教育課
----	---	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		90%以上を維持	90%以上を維持	90%以上を維持	90%以上を維持	90%以上を維持	90%以上を維持 (R2年度)
実績値②	90.7% (H24～26年度平均)	91.0%	91.8%	92.3%	93.6%		進捗状況
②/①		100%	100%	100%	100%		順調

統計名など：ALTの授業を定期的に受けている生徒へのアンケート

進捗状況の分析	定時制課程(夜間部)と通信制課程を除く、すべての県立高校で外国語指導助手を活用した授業を行った結果、主な成果指標である「外国語学習の意欲」や「外国への興味・関心」が高まったとの評価を生徒から得ており、目標を達成することができた。
---------	--

◇施策6 子どもたちが安心して学べる教育環境の整備

成果指標

成果指標	関係機関や地域の団体、PTA等と連携して、登下校時の見守り活動をしている学校の割合	所管課	教育庁 児童生徒支援課
------	---	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		100%	100% 維持	100% 維持	100% 維持	100% 維持	100%維持 (R2年度)
実績値②	95.2% (H25年度)	99.2%	99.6%	100%	算定中		進捗状況
②/①		99%	99%	100%	—		順調

統計名など：学校運営に関する諸調査

進捗状況の 分析	「開かれた学校づくり」を推進し、保護者や地域住民に対して学校運営への積極的な参加を促すなど、連携協力関係づくりに努めている。
-------------	--

事業群の指標

事業群 ① 子どもの安全確保対策の推進

指標	児童生徒に対し防犯教室を実施している学校の割合	所管課	教育庁 児童生徒支援課
----	-------------------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		75.0%	80.0%	85.0%	90.0%	95.0%	95% (R2年度)
実績値②	67.8% (H25年度)	85.2%	88.2%	91.8%	算定中		進捗状況
②/①		113%	110%	108%	—		順調

統計名など：学校運営に関する諸調査

進捗状況の 分析	全国的に多発している児童生徒等の事件・事故を防ぐため、各学校における防犯教室の実施は必要なものである。実施率については、上昇しているが、最終目標値までには至っていない。これは、学校では朝の会や学活等で日々防犯に関する安全指導を行っているうえ、授業時数確保が厳しく、新たに防犯教室を開催するのが困難なためだと考えられる。今後は、児童生徒の安全確保のため、モデル地域の指定を行うことで学校安全教育を推進していくとともに、防犯教室の実施について、市町教育委員会等へ働きかけ等を行っていく。(H25:67.8%、H26:66.6%、H27:81.6%、H28:85.2%、H29:88.2%、H30:91.8%)なお、R元年度実績については算定中である。
-------------	---

事業群 ② 安全で快適な学校施設の整備

指標	学校施設の保全不備による事故発生件数(県立学校)	所管課	教育庁 教育環境整備課
----	--------------------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		0件	0件	0件	0件	0件	0件 (R2年度)
実績値②	0件 (H26年度)	0件	0件	0件	0件		進捗状況
②/①		100%	100%	100%	100%		順調

統計名など：学校からの事故報告

進捗状況の分析	<p>建築(設計)士等専門業者への委託による外壁打診調査や職員による定期的な点検等を実施し、その点検等に基づき、県立学校の老朽化した施設の改築や大規模改修を計画的に進めるとともに、維持・補修等を随時実施した。</p> <p>このことにより、県立学校施設における安全性が図られ、保全不備による事故のみならず震災による事故の発生も未然に防止できており、最終目標に向け予定どおり進捗している。</p>
---------	---

事業群 ③ 子どもたちが安心して学ぶことができる修学支援の充実

指標	「経済的理由・家庭の事情」による中途退学者の割合	所管課	教育庁 教育環境整備課
----	--------------------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		4.2%以下	3.6%以下	3.0%以下	2.5%以下	2.0%以下	2.0%以下 (R2年度)
実績値②	4.7% (H26年度)	5.7%	5.7%	5.2%	算定中		進捗状況
②/①		0%	0%	0%	-		遅れ

統計名など：児童生徒の問題行動・不登校等生徒指導上の諸課題に関する調査(文部科学省)

進捗状況の分析	<p>授業料やその他の教育にかかる経費の負担軽減を図ったが、「経済的理由・家庭の事情」による中途退学者の割合は、平成30年度において、全国値より1ポイント低いが、依然として目標値より2.2ポイント高い。</p> <p>中でも「家庭の事情」による退学者が3.1ポイントを占めており、経済的理由以外によるもの、例えば、保護者の事情のために退学した者も含まれるためと考えている。</p>
---------	--

		H28	H29	H30	
長崎県		5.7	5.7	5.2	
全国		6.9	6.0	6.2	
内訳	経済的理由	長崎県	0.5	1.8	2.1
		全国	2.6	1.8	2.0
	家庭の事情	長崎県	5.2	3.9	3.1
		全国	4.3	4.2	4.2

事業群 ④ 私立学校の耐震化の推進

指標	私立学校(小・中・高等学校)の耐震化率	所管課	総務部 学事振興課
----	---------------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		80%	85%	90%	95%	100%	100% (R2年度)
実績値②	70.6% (H26年度)	79.1%	83.8%	84.5%	85.8%		進捗状況
②/①		98%	98%	93%	90%		やや遅れ

統計名など：私立学校施設の耐震化改修状況等調査(文部科学省)

進捗状況の 分析	<p>急激な少子化の進行並びに経済の低迷等により、学校を取り巻く環境は厳しい状況にある中で、学校法人による補強・改築工事等の実施により、耐震化率が平成30年度末の84.5%から85.8%へ1.3ポイント上昇した。しかしながら一方で、現在耐震化が出来ていない学校法人においては、必要性は認識しているものの学校経営が厳しく耐震化に踏み切れない現状があるため、県としては個別に学校を訪問するなどして、計画的に事業を実施するよう学校法人へ働きかけていくこととしている。</p>
-------------	--

◇施策7 「地域みんなで子どもを育み、家庭教育を支援する」体制づくり

成果指標

成果指標	「子どもへのメッセージ」の実現に向け、学校・家庭・地域が一体となって取組を行ったと自己評価する学校区の割合	所管課	教育庁 生涯学習課
------	---	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		60%	70%	80%	90%	100%	100% (R2年度)
実績値②	21% (H26年度)	42.8%	44.7%	52.4%	55.5%		進捗状況
②/①		71%	63%	65%	61%		遅れ

統計名など：各市町への調査

進捗状況の分析	学校・家庭・地域でつくる「子どもへのメッセージ」は全ての学校で策定しているが、家庭や地域の関わり方に差があり、自己評価の割合が目標値に達していない。今後も継続して、各研修会や市町での説明会等を通じて、学校・家庭・地域が一体となった取組である地域学校協働活動の周知・啓発を推進していく。
---------	--

事業群の指標

事業群 ① 学校・家庭・地域の連携による地域の教育力の向上

指標	学校支援会議等の取組が、学校・家庭・地域の連携に役立っていると自己評価する学校区の割合	所管課	教育庁 生涯学習課
----	---	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		98%	99%	100%	100%	100%	100% (R2年度)
実績値②	97.2% (H26年度)	98.0%	99.8%	99.6%	99.2%		進捗状況
②/①		100%	100%	99%	99%		やや遅れ

統計名など：各市町への調査

進捗状況の分析	学校・家庭・地域の連携に「役立っている」と自己評価する学校区が小学校は全校であり目標値を達成したが、中学校では4校が「あまり役立っていない」と評価を行っていたため、未達成となった。学校・家庭・地域の連携は十分にできているが、学校支援会議等の有用性について十分に認識できていないことがその要因であると考えられる。
---------	---

事業群 ② コミュニティ・スクールなど地域と連携・協働した学校づくりの推進

指標	コミュニティ・スクールを設置する市町数	所管課	教育庁 義務教育課
----	---------------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		1市町	3市町	7市町	13市町	21市町	21市町 (R2年度)
実績値②	1市町 (H27年度)	2市町	5市町	6市町	11市町		進捗状況
②/①		200%	166%	85%	84%		やや遅れ

統計名など：コミュニティスクール導入・推進状況等調査(文部科学省)

進捗状況の 分析	目標値には達しなかったが、先進校の具体的な取組や成果・課題等について市町と共有することや、新たに設置予定の市町に対し説明会を実施することで、コミュニティ・スクールを設置する市町の増加につながった。
-------------	--

事業群 ③ 家庭教育支援の充実

指標	ながさきファミリープログラムの実施数	所管課	教育庁 生涯学習課
----	--------------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		415箇所	435箇所	456箇所	478箇所	500箇所	500箇所 (R2年度)
実績値②	376箇所 (H26年度)	255箇所	276箇所	394箇所	365箇所		進捗状況
②/①		61%	63%	86%	76%		遅れ

統計名など：各市町におけるながさきファミリープログラム開催実績

進捗状況の 分析	令和元年度も目標値には達していない。PTA研修会等で周知・啓発を継続してきたことで、ながさきファミリープログラムの活用が定着している市町も見られ、本プログラムの認知度も高まってきた。一方、本プログラムの有用性は一定理解されているが、4市町で実施できなかった。また、2月から3月にかけて、新型コロナウイルス感染症のために本プログラムが実施できない状況となり、年度末に実施回数が増えなかった。
-------------	--

戦略6 産業を支える人材を育て、活かす

◇施策1 キャリア教育の推進と企業人材の育成

成果指標

成果指標	県内高校生の県内就職率	所管課	産業労働部 若者定着課
------	-------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		62%	63%	64%	65%	65%	65% (R2年度)
実績値②	57.7% (H26年度)	63.0%	61.9%	61.1%	65.6%		進捗状況
②/①		101%	98%	95%	100%		順調

統計名など：学校基本調査(文部科学省)

進捗状況の分析	これまで継続してきた高卒求人への早期提出要請、高校等での企業説明会や企業見学会の実施、キャリアサポートスタッフや県内就職推進員による生徒へのきめ細かな就職支援に加えて、10月以降において企業の採用計画に対する人員不足の状況を調査し、未内定者とのマッチングを図ったことが奏功し、令和2年3月卒業生の県内就職率は、前年比4.5ポイント増の65.6%(速報値)と目標を上回る見込みとなっている。引き続き現在の取組を着実に推進することで、最終目標の達成を目指していく。
---------	--

事業群の指標

事業群 ① キャリア教育・職業教育の推進

指標	夢や憧れがある児童(小学校)及び夢の実現に向けて行動している生徒(中学校)の割合	所管課	教育庁 義務教育課
----	--	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		92%	96%	100%	100% 維持	100% 維持	100%維持 (R2年度)
実績値②	79.4% (H26年度)	79.5%	80.9%	81.8%	80.0%		進捗状況
②/①		86%	84%	81%	80%		やや遅れ

統計名など：学校運営に関する諸調査

進捗状況の分析	ふるさとを担う実践力を育むキャリア教育の研究が進んでいる。目標値に達することはできなかったが、3年間続けて8割を超える実績値を残していることは成果といえる。
---------	--

事業群 ② 企業が求める人材の育成

指標	高等技術専門校の新規高卒者等修了生の県内就職率	所管課	産業労働部 雇用労働政策課
----	-------------------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		87%	88%	89%	90%	90.0%	90%以上を維持 (R2年度)
実績値②	85.7% (H26年度)	86.6%	86.2%	93.1%	96.0%		進捗状況
②/①		99%	97%	104%	106%		順調

統計名など：就職者数実績

進捗状況の 分析	訓練生に対する高等技術専門校の設置運営趣旨(県内就職促進等)の周知徹底や、校内における県内就職促進にかかる掲示物(長崎県の暮らしやすさをアピールした掲示物等)による意識喚起を図ったほか、地元企業との連携による県内企業の紹介、企業訪問(訓練生・校関係者)、インターンシップ等を実施した結果、県内就職率の向上へつなげた。
-------------	--

事業群 ③ 産業人材の県内定着促進

指標	県内高校生の県内就職率	所管課	産業労働部 若者定着課
----	-------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		62%	63%	64%	65%	65%	65% (R2年度)
実績値②	57.7% (H26年度)	63.0%	61.9%	61.1%	65.6%		進捗状況
②/①		101%	98%	95%	100%		順調

統計名など：学校基本調査(文部科学省)

進捗状況の 分析	これまで継続してきた高卒求人への早期提出要請、高校等での企業説明会や企業見学会の実施、キャリアサポートスタッフや県内就職推進員による生徒へのきめ細かな就職支援に加えて、10月以降において企業の採用計画に対する人員不足の状況を調査し、未内定者とのマッチングを図ったことが奏功し、令和2年3月卒業生の県内就職率は、前年比4.5ポイント増の65.6%(速報値)と目標を上回る見込みとなっている。引き続き現在の取組を着実に推進することで、最終目標の達成を目指していく。
-------------	--

◇施策2 地域に密着した産業の担い手の確保・育成

成果指標

成果指標	地域農業を担う経営体数	所管課	農林部 農業経営課
------	-------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		8,005 経営体 (組織)	7,934 経営体 (組織)	7,863 経営体 (組織)	7,792 経営体 (組織)	7,721 経営体 (組織)	7,721経営体 (組織) (R2年度)
実績値②	8,076経営体 (組織) (H27年度推計)	8,877 経営体 (組織)	9,198 経営体 (組織)	9,382 経営体 (組織)	9,584 経営体 (組織)		進捗状況
②/①		110%	115%	119%	123%		順調

統計名など：農業経営課・農地利活用推進室調査

進捗状況の分析	地域担い手育成総合支援協議会と連携し、認定農業者等担い手の育成・確保に取り組み、目標を達成した。
---------	--

成果指標	漁業就業者数	所管課	水産部 水産経営課
------	--------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		—	—	12,660人	—	12,000人	12,000人 (R2年)
実績値②	14,310人 (H25年)	—	—	11,762人	—		進捗状況
②/①		—		92%	—		やや遅れ

統計名など：漁業センサス

進捗状況の分析	市町、漁協等と連携し本県漁業の魅力発信や、就業相談から就業前後の技術習得研修支援など、段階に応じた切れ目ない対策による新規就業者の確保とともに、個別の経営指導・支援等による漁業者の離職防止に努めてきたものの、高齢(60歳以上)漁業者の減少が非常に大きく、目標とする漁業就業者数の92%にとどまり、目標を達成するには至らなかった。
---------	--

事業群の指標

事業群 ① 農林業における新規就業者の増大

指標	新規自営就農者・新規雇用就業者(農業・林業)	所管課	農林部 農業経営課、林政課
----	------------------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		523人/年 (523)	523人/年 (1,046)	523人/年 (1,569)	523人/年 (2,092)	523人/年 (2,615)	523人/年 (累計:2,615人) (R2年度)
実績値②	297人/年 (H22~26年度 平均)	525人/年	587人/年	559人/年	517人/年		進捗状況
②/①		100%	112%	107%	99%		やや遅れ

統計名など：農業経営課・林政課調査

進捗状況の 分析	<p>農業関係では、平成28年度から令和2年度までの間、新規自営就農者を250人/年、新規雇用就業者250人/年を確保することを目標として、相談員の設置等の就農相談体制の整備をはじめ、就農希望者に対する1年間の実践的な研修事業の実施や農業次世代人材投資資金(旧：青年就農給付金)による就農前後期間の支援等による就農希望者の確保・育成等に取り組んできた。農業高校の進学者の減に伴う新規学卒就農者の減少などにより新規自営就農者の目標を下回ったものの、基準値を大幅に上回る新規自営就農者を210人、新規雇用就業者を282人確保した。</p> <p>しかしながら、今後、高齢化に伴う担い手の減少が見込まれ、産地の維持・拡大を図るためには、新規就農者並びに雇用就業者の更なる確保が必要となることから、JAが主体となった研修機関の設立を支援し、Uターン者の呼び込み・定着を図るなど就農ルート別の支援体制の強化により、新規自営就農者・雇用就業者の増大に努める。</p> <p>林業関係では、新規雇用就業者23人/年及び林業専業作業員の総数を358人(令和元年度)確保することを目標として、林業事業体に対する雇用管理の改善や、林業へ参入を希望する事業体に対する林業参入研修の実施等による就業支援を行った結果、目標を上回る25人を確保した。林業専業作業員の総数については、定年退職者が多かったことなどにより350人の実績に留まったことから、更なる若齢の就業者確保が必要である。</p>
-------------	---

事業群 ② 農林業における個別経営体の経営力強化

指標	農業所得1,000万円以上が可能となる経営規模に達した経営体数	所管課	農林部 農業経営課
----	---------------------------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		254経営体	305経営体	374経営体	457経営体	539経営体	539経営体 (R2年度)
実績値②	224経営体 (H26年度)	278経営体	347経営体	416経営体	489経営体		進捗状況
②/①		109%	113%	111%	107%		順調

統計名など：農業経営課調査

進捗状況の 分析	<p>新たな雇用を創出する雇用型経営体を育成するため、振興局普及指導員が農業所得1,000万円以上を目指す農業者をリストアップし、担当者を割り当て、地域担い手育成総合支援協議会と連携して、個別面談、経営改善に向けたフォローアップを行うことで令和元年度の目標を達成することができた。</p>
-------------	--

事業群 ③ 地域における農林業生産を支える多様な担い手の確保・育成

指標	農作業受託・機械の共同利用組織数	所管課	農林部 農産園芸課、畜産課
----	------------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		129組織	130組織	131組織	132組織	133組織	133組織 (R2年度)
実績値②	128組織 (H26年度)	129組織	131組織	134組織	124組織		進捗状況
②/①		100%	101%	102%	94%		遅れ

統計名など：集落営農実態調査等

進捗状況の 分析	<p>集落リーダーの掘り起こしや組織化に向けた合意形成活動など、市町やJA等と連携した取組により組織化を進め、H30までは法人化に伴う組織数減を上回る新規設立により、目標を達成していたが、令和元年度においては、構成員の高齢化による活動停止した組織が13組織があったため、目標数を下回る実績となった。</p> <p>今後は、受託組織等の合併や活動の広域化などを推進するとともに、新たな組織化に向けて、中山間地域直接支払交付金の活動組織などから推進対象をリストアップし、リーダー育成や、地域の合意形成を推進し、併せて、研修会などにより市町・JA職員等の指導能力向上を図ることで、受託組織等の確保・育成を総合的に推進する。</p>
-------------	--

事業群 ④ 水産経営支援ときめ細かな離職防止

指標	65歳未満漁業就業者の5年間における離職率	所管課	水産部 水産経営課
----	-----------------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		—	—	—	—	5%以下	5%以下 (R2年)
実績値②	10% (H25年)	—	—	11%	—		進捗状況
②/①		—	—	—	—		遅れ

統計名など：漁業センサス

進捗状況の 分析	<p>65歳未満の5年間離職者数は平成25年の897人から平成30年は821人に減少したが、60歳未満の就業者数(分母)が平成25年の9,662人から平成30年は7,167人に減少したため、離職率は上昇した。</p>
-------------	--

事業群 ⑤ 漁村地域の魅力発信による幅広い年代にわたる漁業就業者の呼び込み

指標	新規漁業就業者数	所管課	水産部 水産経営課
----	----------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		180人 (180)	180人 (360)	180人 (540)	180人 (720)	180人 (900)	180人/年度 (R2年度) 900人 (H28～R2年度 累計)
実績値②	136人/年度 (H26年度)	175人	165人	183人	187人		進捗状況
②/①		97%	91%	101%	103%		順調

統計名など：新規漁業就業者調査(水産業普及指導センター調べ)

進捗状況の 分析	<p>平成28年度から県、市町、漁業団体等と連携して「ながさき漁業伝習所」を設置し、国の研修制度の取り込み、HPにおける漁業者の暮らしぶりや経営事例の発信、移住部局等と連携した移住相談会や就業支援フェアへの出展など就業支援と呼び込み活動を推進した。</p> <p>令和元年度からは、YouTubeやSNSを活用した情報発信の強化や、県主催の就業支援フェア開催による就業希望者と県内業者のマッチングを実施するとともに、就業前の技術習得研修においては漁家子弟の研修対象を拡大するなど、情報発信から就業、定着まで、ターゲットに応じた切れ目ない支援制度により新規漁業就業者の確保・育成を図った結果、平成30年度から引き続き目標を達成することができた。</p>
-------------	---

事業群 ⑥ 建設業における人材の確保・育成に向けた取組

指標	建設技能労働者の就職件数	所管課	土木部 建設企画課
----	--------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		881件	881件	881件	881件	881件	881件 (R2年度)
実績値②	881件 (H26年度)	730件	729件	725件	算定中		進捗状況
②/①		82%	82%	82%	—		遅れ

統計名など：労働市場統計年報(長崎労働局)他

進捗状況の 分析	<p>平成27年度より厚生労働省補助の「建設労働者緊急育成支援事業」を活用し、(一財)建設業振興基金による技能者の教育訓練システムを構築し、技能者の養成等に取り組んでいるが、就職件数は目標を下回っている状況。</p> <p>平成30年度は平成29年度と比較して、「電気」「建設」「土木」を中心に就職件数が4件減少している。企業の倒産件数も低水準で事業主都合離職者が減少しているものの、東京オリンピック効果等により技能労働者が都市部に流出しているものと考えられる。</p>
-------------	---

◇施策3 医療・介護・福祉人材の育成・確保

成果指標

成果指標	本土と離島との医師数(人口10万対)の格差	所管課	福祉保健部 医療人材対策室
------	-----------------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		1.66倍	1.62倍	1.59倍	1.54倍	1.49倍	1.49倍 (R2年度)
実績値②	1.86倍 (H24年度)	1.87倍	—	1.77倍	—		進捗状況
②/①		88%	—	90%	—		やや遅れ

統計名など：医師・歯科医師・薬剤師統計(厚生労働省)

進捗状況の 分析	<p>他県と同様、本県においても医師の県内都市部への集中などにより地域間の偏在が顕著となっており、特に離島・へき地における医師の確保は、大変厳しい状況となっている。</p> <p>このような状況の中、令和元年度においても、医学部学生に対する医学修学資金貸与制度や自治医科大学による医師養成・確保に取り組み、令和2年4月から9名の医師が初期診療研修を開始した。(医学修学資金貸与者6名、自治医科大学卒業生3名)</p> <p>新・鳴滝塾による初期臨床研修医の確保事業により、令和元年度中のマッチングによって令和2年4月から五島中央病院で3名、上五島病院で1名の医師がそれぞれ採用されている。</p> <p>「ながさき地域医療人材支援センター」による医師招へい事業等に取り組んだ結果、1名の医師が、令和2年4月から本県で勤務を開始している。</p> <p>※「医師・歯科医師・薬剤師統計」は隔年実施のため、令和元年の実績値は把握できない。平成30年については実績値が令和元年12月に公表されており、目標値は達成できなかったものの、基準年の平成24年に比べ、本土と離島の医師数の格差は縮小している。</p>
-------------	--

成果指標	県内介護職員数	所管課	福祉保健部 長寿社会課
------	---------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		—	29,820人	—	—	30,191人	30,191人 (R2年度)
実績値②	25,337人 (H24年度)	27,596人	28,172人	28,501人	算定中		進捗状況
②/①		—	94%	—	—		やや遅れ

統計名など：長崎県老人福祉計画・介護保険事業支援計画

進捗状況の 分析	<p>県内の介護職員数は、「介護サービス施設・事業所調査」を基に、国が都道府県別に推計し公表したもので把握することとしており、直近では、令和2年度に平成30年度実績が公表(令和元年度分は、現時点で公表されていない)されている。</p> <p>最終目標の令和2年度目標を達成するためには、毎年度約850人の介護職員を確保する必要があり、平成28年度から平成30年度までの増加数平均が約450人であることから、更なる介護職員の確保が必要となっている。</p>
-------------	---

事業群の指標

事業群 ① 医療人材の育成・確保

指標	離島の病院等に勤務する医師数	所管課	福祉保健部 医療人材対策室
----	----------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		206人	211人	215人	222人	225人	225人 (R2年度)
実績値②	201人 (H24年度)	200人	—	210人	—		進捗状況
②/①		97%	—	98%	—		やや遅れ

統計名など：医師・歯科医師・薬剤師統計(厚生労働省)

進捗状況の 分析	<p>他県と同様、本県においても医師の県内都市部への集中などにより地域間の偏在が顕著となっており、特に離島・へき地における医師の確保は、大変厳しい状況となっている。</p> <p>このような状況の中、令和元年度においても、医学部学生に対する医学修学資金貸与制度や自治医科大学による医師養成・確保に取り組み、令和2年4月から9名の医師が初期診療研修を開始した。(医学修学資金貸与者6名、自治医科大学卒業生3名)</p> <p>新・鳴滝塾による初期臨床研修医の確保事業により、令和元年度中のマッチングによって令和2年4月から五島中央病院で3名、上五島病院で1名の医師がそれぞれ採用されている。</p> <p>「ながさき地域医療人材支援センター」による医師招へい事業等に取り組みだ結果、1名の医師が、令和2年4月から本県で勤務を開始している。</p> <p>※「医師・歯科医師・薬剤師統計」は隔年実施のため、令和元年の実績値は把握できない。平成30年については実績値が令和元年12月に公表されており、目標値は達成できなかったものの、基準年の平成24年に比べ、離島に勤務する医師数は増加している。</p>
-------------	--

事業群 ② 介護・福祉人材の育成・確保

指標	県内介護職員数	所管課	福祉保健部 長寿社会課
----	---------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		—	29,820人	—	—	30,191人	30,191人 (R2年度)
実績値②	25,337人 (H24年度)	27,596人	28,172人	28,501人	算定中		進捗状況
②/①		—	94%	—	—		やや遅れ

統計名など：長崎県老人福祉計画・介護保険事業支援計画

進捗状況の 分析	<p>県内の介護職員数は、「介護サービス施設・事業所調査」を基に、国が都道府県別に推計し公表したもので把握することとしており、直近では、令和2年度に平成30年度実績が公表(令和元年度分は、現時点で公表されていない)されている。</p> <p>最終目標の令和2年度目標を達成するためには、毎年度約850人の介護職員を確保する必要があり、平成28年度から平成30年度までの増加数平均が約450人であることから、更なる介護職員の確保が必要となっている。</p>
-------------	---

◇施策4 大学と連携した県内学生の人材育成と地元定着

成果指標

成果指標	県内大学生の県内就職率	所管課	産業労働部 若者定着課
------	-------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		49%	51%	53%	55%	55%	55% (R2年度)
実績値②	44.9% (H26年度)	43.2%	42.7%	41.0%	37.8%		進捗状況
②/①		88%	83%	77%	68%		遅れ

統計名など：県内大学等における3月卒業者の就職状況の実績(毎年度4月1日時点)

進捗状況の 分析	<p>県内大学生の県内就職率は、前年度比3.2ポイント減の37.8%と3年連続の減少となり、目標(R1)である55%を大きく下回る厳しい結果となった。</p> <p>主な要因としては、大学等との連携やキャリアコーディネーターによる学生と企業の交流の場の確保や県内企業の認知度向上や魅力発信の充実に努めたものの、県内企業の魅力を県内外の学生に十分に伝えきれていないことや、保護者を含めた県内就職促進に関する県民意識の醸成が不十分であることに加えて、緩やかな景気拡大や人材確保難、売り手市場の拡大等が継続していることを背景に都市部企業からの採用圧力が一層強まっていることなどから、引き続き県外企業へ流出しているものと思われる。</p> <p>最終目標の達成は大変厳しい状況となっているが、上記の現状における課題を踏まえた対策を講じることで、県内就職率の向上に向けて努力していく。</p>
-------------	---

事業群の指標

事業群 ① 産学官連携による人材育成と若者の地元定着

指標	大学等との連携協定に基づく地元定着のための新たな取組の実施件数(累計)	所管課	産業労働部 若者定着課
----	-------------------------------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		6件	13件	20件	26件	33件	33件 (R2年度)
実績値②	—	20件	24件	30件	33件		進捗状況
②/①		333%	184%	150%	126%		達成

統計名など：大学等との連携協定に基づく地元定着のための取組の確認

進捗状況の 分析	<p>長崎大学を中心としたCOC+事業などによる大学との連携事業については、これまで、①地域が求める人材育成、②地元志向の涵養、③学生と県内企業のマッチング・県内企業の情報発信、④インターンシップ、⑤地域との連携の5つの視点に基づく取組がそれぞれ着実に進められてきている。</p> <p>一方で、各大学の特徴や個性などに相違があることから、COC+事業終了後の令和2年度以降は、各大学と個別に協定を締結することで、現在の取組を継続しつつ、新たな取組も促進していく。</p>
-------------	--

事業群 ② 魅力ある県立大学づくり

指標	県立大学の県内就職率	所管課	総務部 学事振興課
----	------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		38%	40%	42%	44%	44%	44% (R2年度)
実績値②	34% (H26年度)	32.3%	34.6%	34.4%	28.8%		進捗状況
②/①		85%	86%	81%	65%		遅れ

統計名など： 県立大学卒業者の就職状況の実績(毎年度4月1日時点)

進捗状況の 分析	<p>県立大学においては、就職ガイダンスによる基本的な知識の習得、就職課での進路相談や企業見学会、就職実践セミナーの開催など学生へのきめ細かな就職支援のほか、地域に根ざした実践的な教育やOB・OGとの交流など県内就職率向上に積極的に取り組んでいる。</p> <p>今年度新学部学科の第1期生が就職したが、令和元年度の県内就職率については、前年度より5.6ポイント減少し、目標値には届いていない。減少した要因としては、県内出身学生の県内就職率が50.5%と前年度比9.2ポイント減少したことや全国的な人材不足を背景に首都圏・福岡地域をはじめとした県外の大手企業の採用意欲が旺盛であったことから、学生の進路の選択肢が大きく広がったことなどが考えられる。</p> <p>学生の志向に合わせた、県内企業の情報収集及び開拓や県内高校生の入学促進など引き続き様々な取組に力を注いでいく必要がある。</p>
-------------	--

戦略7 たくましい経済と良質な雇用を創出する

◇施策1 新産業の創出と新たな成長分野への参入
成果指標

成果指標	新たな産業分野における事業創出・参入件数(累計)	所管課	産業労働部 新産業創造課
------	--------------------------	-----	-----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		—	—	—	—	4件	4件 (R2年度)
実績値②	—	0件	2件	3件	4件		進捗状況
②/①		—	—	—	—		達成

統計名など: 事業創出実績

進捗状況の分析	長崎県次世代情報産業クラスター協議会等を中心に、会員企業を対象とした専門人材の育成、新技術を活用した新たなシステム開発・実証支援に取り組んだ結果、ロボット分野において事業化に至った案件を創出することができた。
---------	--

事業群の指標

事業群 ① 海洋エネルギーを中心としたエネルギー関連産業の拠点の形成

指標	県内実証フィールドでの海洋再生可能エネルギー実証プロジェクト実施件数(累計)	所管課	産業労働部 新産業創造課
----	--	-----	-----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		2件	2件	5件	5件	6件	6件 (R2年度)
実績値②	1件 (H27年度)	3件	4件	5件	5件		進捗状況
②/①		150%	200%	100%	100%		順調

統計名など: 担当部局(新産業創造課)で随時把握

進捗状況の分析	令和元年度は、長崎海洋産業クラスター形成推進協議会とともに実証プロジェクトの誘致活動を行った。県内海域での実証プロジェクト件数は、想定どおりのペースで進捗している。
---------	--

事業群 ② ロボット関連産業などの新産業の創出と新たな成長分野への参入

指標	ロボット関連産業などの新産業に進出した企業数(累計)	所管課	産業労働部 新産業創造課
----	----------------------------	-----	-----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		—	5社	10社	15社	20社	20社 (H28~R2年度)
実績値②	—	0社	4社	9社	15社		進捗状況
②/①		—	80%	90%	100%		順調

統計名など: 企業支援数

進捗状況の分析	県内ロボット・IoT関連企業の新技術を活用した事業拡大や新サービス創出支援等により、県内企業の新産業進出が順調に進んでおり、引き続き、先端技術を提供する企業とのマッチング等によって、目標達成を目指す。
---------	--

◇施策2 地域経済を支える産業の強化

成果指標

成果指標	県内製造業の従業者一人あたり付加価値額	所管課	産業労働部 産業政策課
------	---------------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		—	—	—	—	10,550千円	10,550千円 (R2年)
実績値②	10,046千円 (H24年)	11,343千円	10,771千円	10,909千円	未公表		進捗状況
②/①		—	—	—	—		—

統計名など: 工業統計調査(経済産業省)

進捗状況の分析	企業の技術開発や設備導入、販路開拓などに対し、人的・資金的な面からの支援対策を実施することにより、支援企業の付加価値の向上を目指している。 現在の最新値である平成30年の実績値は10,909千円となっており、基準年である平成24年に比べると増加している。
---------	--

成果指標	創業件数(累計)	所管課	産業労働部 経営支援課
------	----------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		600件	1,200件	1,800件	2,400件	3,000件	3,000件 (H28~R2年度)
実績値②	—	671件	1,472件	2,289件	未公表		進捗状況
②/①		111%	122%	127%			順調

統計名など: 創業実績

進捗状況の分析	「産業競争力強化法」に基づき、市町が作成する創業支援事業計画(国が認定)について、本県では全21市町が認定され、市町が「創業支援事業者」(経済団体や金融機関など)と連携して創業者の支援に取り組んでいる。 毎年度、県内市町合計で600件の創業を達成することを目標としており、令和元年度の結果は令和2年12月頃公表される予定となっている。
---------	--

事業群の指標

事業群 ① ものづくり企業の事業拡大対策

指標	県の支援施策を受けた企業の付加価値額の増加率	所管課	産業労働部 企業振興課
----	------------------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		—	—	5%	5%	5%	5% (R2年度)
実績値②	—	—	—	33%	算定中		進捗状況
②/①		—	—	660%			順調

統計名など: 個別企業の決算書

進捗状況の分析	企業の技術開発や設備導入、新規開拓などに対し、人的・資金的な面からの支援対策を実施することにより、支援企業の付加価値額の向上を目指している。令和元年度の実績は算定中であるが、平成30年度の5%の目標に対して33%と順調に推移している。
---------	---

事業群 ② 県内企業の海外市場開拓

指標	海外への進出や販路拡大を行う企業・団体等の数(累計)	所管課	産業労働部 経営支援課
----	----------------------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		6社	12社	18社	24社	30社	30社 (H28～R2年度)
実績値②	6社 (H26年度)	6社	12社	18社	26社		進捗状況
②/①		100%	100%	100%	108%		順調

統計名など：県・関係団体等の支援実績から把握

進捗状況の 分析	県内企業の海外展開について、東南アジアビジネスサポートデスクやアジアビジネス展開支援補助金、上海事務所における企業支援等により、令和元年度は、新たに県内製造業、サービス業合わせて8社の海外進出・販路拡大に貢献することができた。
-------------	---

事業群 ③ 外貿物流体制の構築

指標	長崎港取扱コンテナ貨物量(実入り)	所管課	産業労働部 経営支援課
----	-------------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		6,700TEU	7,500TEU	8,300TEU	9,100TEU	10,000TEU	10,000TEU (R2年度)
実績値②	3,500TEU (H24年度)	5,029TEU	6,084TEU	6,101TEU	3,378TEU		進捗状況
②/①		75%	81%	73%	37%		遅れ

統計名など：港湾調査(国土交通省)

進捗状況の 分析	<p>長崎港は福岡市や北九州市など多くの企業が集積する地域から離れており、近隣の伊万里港や博多港と比べて地理的に不利な条件下にある。このため、平成29年度に荷役機械を更新し、コンテナヤードの拡張を進めるなど、港の機能強化を図っている。また、集荷活動においては、「長崎港活性化センター」(長崎市が事務局)を中心に、官民一体となって取り組んでおり、物流事業者と連携したポートセールス(※)や県内でのポートセミナーのほか、貨物増加に向けた取組を実施している。しかし国外向け古紙の販売価格下落や木材や農水産物輸出の低迷などにより、目標とおりには輸出量は伸びなかった。さらに令和元年度においては、大口貨物であったLNG船の船舶資材輸入が終了したこと等により長崎港取扱コンテナ貨物量は、大幅に減少することとなった。</p> <p>※TEU(twenty-foot equivalent unit):コンテナの数を20フィートコンテナに換算して数える単位。20フィートコンテナ1個を1TEUと表示。 ※ポートセールス:港の管理者等が企業等に港湾のメリットを説明し、船舶や貨物を誘致すること。</p>
-------------	--

事業群 ④ 中小企業・小規模事業者の持続的発展

指標	県内中小企業の1事業所当たり売上金額	所管課	産業労働部 産業政策課
----	--------------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		—	—	—	—	105百万円	105百万円 (R2年)
実績値②	100百万円 (H27年)	算定中	算定中	算定中	算定中		進捗状況
②/①		—	—	—	—		—

統計名など：経済センサス(活動調査)※50人未満の事業所

進捗状況の 分析	<p>事業者と商工団体、県、市町等が地域の産業特性に応じた目標を共有して販路拡大や付加価値向上等に取り組む地域産業活性化計画を推進するための支援制度の活用により、新たな事業グループが生まれ、域外需要の獲得につながった。今後さらに、近年多発する自然災害等に対する災害対応力強化に向けた法改正も踏まえ、事業継続力強化支援計画の策定支援等により、中小企業・小規模事業者の経営の安定に向けて引き続き取り組んでいく。</p> <p>各種制度融資の円滑な資金供給により、中小企業・小規模事業者の経営基盤の安定や成長が図られており、特に新型コロナウイルス感染症の拡大による影響を受けた事業者の事業の継続に大きく寄与している。</p>
-------------	---

事業群 ⑤ 創業・起業支援

指標	創業件数(累計)	所管課	産業労働部 経営支援課
----	----------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		600件	1,200件	1,800件	2,400件	3,000件	3,000件 (H28～R2年度)
実績値②	—	671件	1,472件	2,289件	未公表		進捗状況
②/①		111%	122%	127%			順調

統計名など：創業実績

進捗状況の 分析	「産業競争力強化法」に基づき、市町が作成する創業支援事業計画(国が認定)について、本県では全21市町が認定され、市町が「創業支援事業者」(経済団体や金融機関など)と連携して創業者の支援に取り組んでいる。毎年度、県内市町合計で600件の創業を達成することを目標としており、令和元年度の結果は令和2年12月頃公表される予定となっている。
-------------	--

事業群 ⑥ 企業の技術力向上

指標	工業技術センター及び窯業技術センターの技術支援による製品化のための試作件数(累計)	所管課	産業労働部 新産業創造課
----	---	-----	-----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		250件	513件	789件	1,079件	1,384件	1,384件 (H28～R2年度)
実績値②	238件 (H26年度)	373件	739件	1,127件	1483件		進捗状況
②/①		149%	144%	142%	137%		達成

統計名など：工業技術センター及び窯業技術センターの支援実績

進捗状況の 分析	令和元年度の工業技術センター及び窯業技術センターの技術支援による製品化のための試作件数は目標を大きく上回った。 工業技術センターでは、機械システム分野、電気・電子機器分野、精密機械加工分野及び食品加工分野における企業の製品開発力を強化するため、同分野の製品開発に必要な機械を導入及び更新し、試作件数が増加した。今後も継続して導入・更新を進める。 窯業技術センターでは、陶磁器産地を取り巻く厳しい状況を克服するため、技術相談、共同研究、依頼試験、機器使用等を通じた産地企業の積極的な商品開発を支援している。特に、3Dデジタル機器等を利用した製品試作や販売促進用のパッケージデザイン、ポスター、ポップ等のデザイン試作などに力を入れているが、R元年度は老朽化した3Dプリンタの故障で十分な試作に対応できなかったため、前年度に比べ試作件数が15%ほど減少した。今後も継続して企業支援を実施するとともに、機器の導入・更新も進めていく。
-------------	--

事業群 ⑦ 商業・サービス産業の振興

指標	サービス産業の県内総生産額	所管課	産業労働部 経営支援課
----	---------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		—	—	—	—	17,555億円	17,555億円 (R2年度)
実績値②	17,375億円 (H24年度)	18,112億円	18,044億円	算定中	算定中		進捗状況
②/①		—	—	—			順調

統計名など：県民経済計算

進捗状況の 分析	<p>令和2年3月公表の「平成29年度長崎県県民経済計算」に基づき算出。</p> <p>県内総生産額は精度向上を目的として毎年の公表時に過去の推計方法の見直しが行われるため、基準値及び5年間で1%向上を目指す目標値は常に最新の計数を表記することとしている。なお、平成30年度及び令和元年度の実績は算定中となっており、県が支援の対象としているサービス産業※の県内総生産額は、直近の推計結果である平成29年度で18,044億円となっている。（「長崎県の県民経済計算」より）</p> <p>サービス産業は景気に左右されやすい業種であり、今後の動向も注視していく必要があるが、県内サービス産業の総生産額増を確かなものとすべく、関係事業の推進によるサービス産業の振興を図っていく。</p> <p>※県支援の対象としているサービス産業…卸売・小売業、運輸・郵便業、宿泊・飲食サービス業、情報通信業等</p>
-------------	---

◇施策3 戦略的、効果的な企業誘致の推進

成果指標

成果指標	誘致企業による雇用計画数(累計)	所管課	産業労働部 企業振興課
------	------------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		420人	840人	1,460人	2,080人	2,700人	2,700人 (H28～R2年度)
実績値②	2,217人 (H23～26年度)	1,003人	1,450人	2,400人	2,959人		進捗状況
②/①		238%	172%	164%	142%		達成

統計名など: 企業誘致実績

進捗状況の分析	企業訪問活動(年間2,967社)や本県の強み(BCP、人材、採用支援等)を活かした効果的な立地提案、本県視察(年間49件)などを通じて、積極的な企業誘致に取り組んだ結果、令和元年度においては、情報サービス関連企業を中心に、新規立地10件、増設3件の誘致に成功した。この結果、累計の雇用計画数は2,959人となり、最終目標(2,700人)を上回った。
---------	--

事業群の指標

事業群 ① 企業誘致の受け皿の整備

指標	新規分譲工業団地数(累計)	所管課	産業労働部 企業振興課
----	---------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		—	—	—	—	—	5箇所 (H28～R2年度)
実績値②	—	0箇所	0箇所	1箇所	3箇所		進捗状況
②/①		—	—	—	—		—

統計名など: 整備実績

進捗状況の分析	工業団地については、平成30年度は1箇所(平戸市)で分譲開始した。また、令和元年度は2箇所(大村市・佐世保市)で分譲開始したほか、県内3箇所で開催中であり、令和3年度に2箇所(長崎市・諫早市)、令和4年度に1箇所(西海市)が完成を目指している。
---------	--

事業群 ① 企業誘致の受け皿の整備

指標	オフィスの整備面積(累計)	所管課	産業労働部 企業振興課
----	---------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		—	—	—	—	2,000坪	2,000坪 (H28～R2年度)
実績値②	—	0	1,700坪	4,700坪	4,700坪		進捗状況
②/①		—	—	—	—		達成

統計名など: 整備実績

進捗状況の分析	オフィスビルについては、平成29年12月に竣工した「クレインハーバー長崎ビル」(1,700坪)に引き続き、長崎市において、民間開発によるオフィスビル「長崎BizPORT」(3,000坪)が平成31年1月に竣工した。
---------	---

事業群 ② 効果的な企業誘致の実施

指標	誘致企業による雇用計画数(累計)	所管課	産業労働部 企業振興課
----	------------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		420人	840人	1,460人	2,080人	2,700人	2,700人 (H28~R2年度)
実績値②	2,217人 (H23~26年度)	1,003人	1,450人	2,400人	2,959人		進捗状況
②/①		238%	172%	164%	142%		達成

統計名など：企業誘致実績

進捗状況の 分析	企業訪問活動(年間2,967社)や本県の強み(BCP、人材、採用支援等)を活かした効果的な立地提案、本県視察(年間49件)などを通じて、積極的な企業誘致に取り組んだ結果、令和元年度においては、情報サービス関連企業を中心に、新規立地10件、増設3件の誘致に成功した。この結果、累計の雇用計画数は2,959人となり、最終目標(2,700人)を上回った。
-------------	--

◇施策4 就業支援と良質な職場環境づくり

成果指標

成果指標	県内高校生の県内就職率	所管課	産業労働部 若者定着課
------	-------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		62%	63%	64%	65%	65%	65% (R2年度)
実績値②	57.7% (H26年度)	63.0%	61.9%	61.1%	65.6%		進捗状況
②/①		101%	98%	95%	100%		順調

統計名など：学校基本調査(文部科学省)

進捗状況の 分析	これまで継続してきた高卒求人早期提出要請、高校等での企業説明会や企業見学会の実施、キャリアサポートスタッフや県内就職推進員による生徒へのきめ細かな就職支援に加えて、10月以降において企業の採用計画に対する人員不足の状況を調査し、未内定者とのマッチングを図ったことが奏功し、令和2年3月卒業生の県内就職率は、前年比4.5ポイント増の65.6%(速報値)と目標を上回る見込みとなっている。引き続き現在の取組を着実に推進することで、最終目標の達成を目指していく。
-------------	--

成果指標	ワーク・ライフ・バランスに取り組んでいる企業の割合	所管課	産業労働部 雇用労働政策課
------	---------------------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		63.3%	65.3%	76.0%	78.0%	80.0%	80.0% (R2年度)
実績値②	60.6% (H26年度)	73.8%	74.5%	75.3%	79.2%		進捗状況
②/①		116%	114%	99%	101%		順調

統計名など：労働条件等実態調査

進捗状況の 分析	近年のワーク・ライフ・バランスに対する関心の高まりや、働きやすい魅力的な職場づくりのための支援等により、実績値が最終目標値(H32年度に71.3%)を上回ったため、平成30年度に上方修正を行った。企業におけるワーク・ライフ・バランスの推進など職場環境の改善に向けた取組は着実に進展してきており、令和元年度は目標を上回った。
-------------	---

事業群の指標

事業群 ① 若者などの就業支援

指標	総合就業支援センター登録者の就職率	所管課	産業労働部 雇用労働政策課
----	-------------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		68%	70%	72%	72%	72%	72% (R2年度)
実績値②	54% (H26年度)	67.9%	67.9%	75.9%	94.5%		進捗状況
②/①		99%	97%	105%	131%		順調

統計名など：総合就業支援センター利用状況調査

進捗状況の 分析	回復傾向にある雇用情勢の中で、若年、中高年、女性等の様々な求職者のニーズに応じた就業支援を実施した結果、目標を上回る就職率を達成できた。
-------------	--

事業群 ② 高校生の県内就職を支援する人材の配置

指標	工業高校生の県内就職割合	所管課	教育庁 高校教育課
----	--------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		32.0%	34.0%	36.0%	38.0%	40.0%	40% (R2年度)
実績値②	29.9% (H26年度)	43.6%	42.1%	45.5%	50.0%		進捗状況
②/①		136%	123%	126%	131%		順調

統計名など：新規高等学校卒業予定者の就職内定状況(文部科学省)

進捗状況の 分析	生徒の進路実現に関する取組のうち、県内就職割合向上のため、就職実績のある企業を中心とした県内企業の説明会を開催し、企業の担当者が直接生徒に企業情報を提供した。また、県内企業職場見学会を実施したり、各業界団体・振興局等との意見交換会を推進した。さらに高校生の県内就職を支援するキャリアサポートスタッフとの連携が効果を発揮し、工業高校生の県内就職割合は50.0%、前年比4.5ポイント増となり、過去6年間で最高となった。
-------------	--

事業群 ③ 働きがいのある魅力的な職場環境の整備

指標	ワーク・ライフ・バランスに取り組んでいる企業の割合	所管課	産業労働部 雇用労働政策課
----	---------------------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		63.3%	65.3%	76.0%	78.0%	80.0%	80% (R2年度)
実績値②	60.6% (H26年度)	73.8%	74.5%	75.3%	79.2%		進捗状況
②/①		116%	114%	99%	101%		順調

統計名など：労働条件等実態調査

進捗状況の 分析	近年のワーク・ライフ・バランスに対する関心の高まりや、働きやすい魅力的な職場づくりのための支援等により、実績値が最終目標値(H32年度に71.3%)を上回ったため、平成30年度に上方修正を行った。企業におけるワーク・ライフ・バランスの推進など職場環境の改善に向けた取組みは着実に進展してきており、令和元年度は目標を上回った。
-------------	--

戦略8 元気で豊かな農林水産業を育てる

**◇施策1 水産業の収益性向上に向けた取組の強化
成果指標**

成果指標	海面漁業生産額	所管課	水産部 漁政課
------	---------	-----	------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		615億円	600億円	623億円	639億円	670億円	670億円 (R2年)
実績値②	642億円 (H25年)	644億円	679億円	636億円	算定中		進捗状況
②/①		104%	113%	102%	—		順調

統計名など：農林水産統計年報

進捗状況の 分析	H30年は、前年と比較し、アジ類やブリ類のほか沿岸種のイカ類などが減少し、前年から7.3%減少しているがH30年の目標値を達成しており順調に推移している。 R1年実績となる統計値(農林水産統計年報)は令和3年3月公表予定。
-------------	--

成果指標	海面養殖業生産額	所管課	水産部 水産加工流通課
------	----------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		304億円	310億円	316億円	323億円	330億円	330億円 (R2年)
実績値②	279億円 (H25年)	325億円	378億円	360億円	算定中		進捗状況
②/①		108%	121%	114%	—		順調

統計名など：農林水産統計年報

進捗状況の 分析	H30年は、マグロ養殖の生産拡大に加え、ブリ養殖や貝類養殖が増加に転じ、真珠養殖も回復基調の維持している。生産額は360億円で前年から4.8%減少しているものの、H30年の目標値は達成しており順調に推移している。 R1年実績となる統計値(農林水産統計年報)は令和3年3月公表予定。
-------------	---

成果指標	食用加工品出荷額	所管課	水産部 水産加工流通課
------	----------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		367億円	374億円	381億円	388億円	400億円	400億円 (R2年)
実績値②	360億円 (H25年)	377億円	361億円	—			進捗状況
②/①		102%	96%	—			—

統計名など：工業統計

進捗状況の 分析	バイヤーと連携して大消費地ニーズに対応した商品開発等を推進した結果、平成28年は目標を達成したが、平成29年は下回った。これは主な加工原料となる魚種の本県水揚げが低調であったこと(前年比:するめいか-44%減、あなご類-14%減、うに類-12%減など)が主な要因と考えられる。
-------------	--

事業群の指標

事業群 ① 経営改善計画の策定及び実行による漁業者の経営力強化

指標	漁業所得300万円以上に達した経営体数	所管課	水産部 水産経営課
----	---------------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①	/	—	—	711 経営体	—	790 経営体	790経営体 (R2年)
実績値②	594経営体 (H25年)	—	—	586 経営体	—		進捗状況
②/①	/	—	—	82%	—		遅れ

統計名など：漁業センサス

進捗状況の分析	漁業所得300万円以上の経営体数増について、所得向上対策関連事業を進めた結果、漁業経営体数全体が減少する中、経営体全体に占める所得300万円以上の割合は基準年(H25)より増加(8%→10%)したことにより優良経営体の育成は進んだと考えるが、目標数を達成することができなかった。
---------	---

事業群 ① 経営改善計画の策定及び実行による漁業者の経営力強化

指標	経営改善に向けた取組により、経営改善・強化を図った漁業者数(経営改善計画策定数)(累計)	所管課	水産部 水産経営課
----	--	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①	/	25件 (25件)	59件 (34件)	93件 (34件)	127件 (34件)	161件 (34件)	161件 (R2年度)
実績値②	—	27件	62件	140件	217件		進捗状況
②/①	/	108%	105%	150%	171%		達成

統計名など：経営改善計画策定数

進捗状況の分析	平成27年度から経営改善や新たな事業展開を目指す漁業者に対して、関係機関が連携して指導・支援体制を整備し、県の補助事業活用促進等により、強い経営体づくりを推進する水産経営支援事業を実施している。令和元年度は243件の個別経営指導を実施し、うち77経営体(H27実績15件、H28実績27件、H29実績35件、H30実績78件)について経営計画を策定し、経営改善が図られた。
---------	--

事業群 ② 漁業・養殖業の収益性向上

指標	コスト削減、高品質化、経営多角化により収益向上を図った経営体数(累計)	所管課	水産部 水産加工流通課
----	-------------------------------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①	/	38経営体 (38)	76経営体 (38)	114経営体 (38)	152経営体 (38)	190経営体 (38)	190経営体 (H28～R2年度 累計)
実績値②	22経営体/年 (H26年度)	70経営体	112経営体	149経営体	214経営体		進捗状況
②/①	/	184%	147%	130%	140%		達成

統計名など：支援実績

進捗状況の分析	令和元年度は各養殖産地の特徴を活かして国内外の市場ニーズに対応した魚づくりや、輸出拡大を視野に入れた施設の整備等に取組む「養殖産地育成計画」を16地区で策定し、実践したことにより、販路拡大やコスト削減、高品質化等により収益向上を図った経営体は25(累計89)経営体であった。新規就業者への漁業許可は4(累計24)経営体に行い、漁業構造改革総合対策事業(国事業)を積極的に活用した経営体数は1(累計6)経営体となり、漁船漁業の省エネ・省コストには35(累計95)経営体が取組み、合計65(累計214)経営体の取組を推進することができた。
---------	---

事業群 ③ しごと創出のための雇用型漁業の育成

指標	雇用確保、雇用条件等処遇改善を実施した経営体数(累計)	所管課	水産部 水産経営課
----	-----------------------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		7経営体 (7)	14経営体 (7)	21経営体 (7)	28経営体 (7)	35経営体 (7)	35経営体 (R2年度)
実績値②	—	7経営体	17経営体	25経営体	32経営体		進捗状況
②/①		100%	121%	119%	114%		順調

統計名など：支援事業実績

進捗状況の分析	県の雇用型漁業育成支援事業や国の水産業競争力強化緊急事業等の積極的な活用により、平成28年に7経営体、29年に10経営体、平成30年度に8経営体、令和元年度に7経営体の合計32経営体が生産設備の導入や販路拡大等による経営改善、雇用拡大等に取り組んでいる。
---------	---

事業群 ④ 本県水産物の県内・地域内向け供給体制の強化

指標	長崎県の魚愛用店の認定店舗数(累計) ※H30まで	所管課	水産部 水産加工流通課
----	------------------------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		160店舗	170店舗	180店舗	—	—	—
実績値②	121店舗 (H26年度)	191店舗	203店舗	215店舗			進捗状況
②/①		119%	119%	119%			—

統計名など：長崎県の魚愛用店認定数

指標	長崎県の魚愛用店の利用率 ※R元から	所管課	水産部 水産加工流通課
----	-----------------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		—	—	—	25.3%	29.1%	29.1% (R2年度)
実績値②	17.5% (H29年)		17.5%	23.9%	24.6%		進捗状況
②/①					97%		やや遅れ

統計名など：

進捗状況の分析	魚愛用店の認定店舗数が最終目標値を達成することができたため、令和元年度から新たに「魚愛用店の利用率」を指標として設定した。目標値を達成することはできなかったが、県産魚を積極的に活用したメニューを提供する「長崎県の魚愛用店」の認定及びPR活動により、ながさきの魚の消費拡大を図った結果、実績値は上昇傾向にあり達成率は97%であった。
---------	---

事業群 ④ 本県水産物の県内・地域内向け供給体制の強化

指標	地域内デリバリー配送先数(累計)	所管課	水産部 水産加工流通課
----	------------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①	/	20箇所 (10)	30箇所 (10)	40箇所 (10)	50箇所 (10)	60箇所 (10)	60箇所 (R2年度)
実績値②	8箇所 (H26年度)	28箇所	44箇所	44箇所	44箇所		進捗状況
②/①	/	140%	146%	110%	88%		やや遅れ

統計名など: 補助事業における配送箇所数

進捗状況の分析	島内で漁獲された魚を島内で流通させるために実施する離島における地域内デリバリーシステムの構築に対して助成し、スキームが一定程度構築された結果、目標値を達成することができた(当該助成事業は平成28年度をもって終了)。
---------	---

事業群 ⑤ 大消費地のニーズ等に応じた商品づくりと付加価値の向上

指標	大消費地において新たに取引を開始した商品数(累計)	所管課	水産部 水産加工流通課
----	---------------------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①	/	10商品 (10)	20商品 (10)	30商品 (10)	40商品 (10)	50商品 (10)	50商品 (R2年度)
実績値②	—	20商品	45商品	72商品	96商品		進捗状況
②/①	/	200%	225%	240%	240%		達成

統計名など: 対応した事業によって開発・販売した商品数

進捗状況の分析	水産バイヤーと産地が連携して取り組む、大消費地の量販店等のニーズに対応した売れる商品づくりについて支援を行い、県産水産物の販売力強化を図った結果、目標を達成することができた。
---------	---

事業群 ⑥ 輸出拡大に資する流通・輸送体制の構築

指標	水産物輸出額(関係団体分)	所管課	水産部 水産加工流通課
----	---------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①	/	12億円	15億円	20億円	25億円	30億円	30億円 (R2年度)
実績値②	11億円 (H26年度)	19億円	21億円	33億円	31億円		進捗状況
②/①	/	158%	140%	165%	124%		順調

統計名など: 長崎県水産物海外普及協議会、長崎県水産物輸出連絡会の実績調査

進捗状況の分析	現地での展示会等への出展、商談会やフェアの開催など、年間を通じて本県産水産物の認知度向上を図り、併せて新規輸出ルートの開拓や現地業者との連携した販促活動、情報提供等の支援を継続して実施した結果、令和元年度の水産物輸出額(関係団体分)は31億円で、コロナウイルス感染症の影響等により前年度からやや低下したものの、目標を達成した。
---------	---

事業群 ⑦ 海外で評価される魚づくり

指標	海外ニーズを踏まえた製品開発(養殖魚)を行い輸出につながった件数(累計)	所管課	水産部 水産加工流通課
----	--------------------------------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		1件 (1)	4件 (3)	7件 (3)	11件 (4)	15件 (4)	15件 (R2年度)
実績値②	—	1件	4件	7件	11件		進捗状況
②/①		100%	100%	100%	100%		順調

統計名など: 実績調査

進捗状況の分析	令和元年度は中国、韓国、EU向けの養殖ブリが輸出に繋がった。今後も、現地ニーズを的確に把握するための市場調査の実施及び関係業者との協議を行い、目標達成に向け取組みを進める。
---------	--

事業群 ⑧ 高度衛生管理やコスト削減に対応した流通体制の構築

指標	HACCP等認定加工場数(累計)	所管課	水産部 水産加工流通課
----	------------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		6件 (1)	7件 (1)	8件 (1)	10件 (2)	12件 (2)	12件 (R2年度)
実績値②	5件 (H26年度)	5件	6件	7件	9件		進捗状況
②/①		0%	50%	66%	80%		やや遅れ

統計名など: HACCPに関連する認定等の数

進捗状況の分析	令和元年度は水産加工場2件が、対米、対EUそれぞれ1件ずつHACCP認証を取得した。目標件数に1件及ばなかったが、現在HACCPに関心のある複数業者のニーズを確認しており、現地指導等や講習会等の開催を通じ、認証取得に向けた支援を行っていく。
---------	--

◇施策2 活力にあふれる浜・地域づくりと漁場・漁村の整備

成果指標

成果指標	海面漁業生産量	所管課	水産部 漁政課
------	---------	-----	------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		23万トン	22万3千トン	23万3千トン	24万トン	25万4千トン	25万4千トン (R2年)
実績値②	24万4千トン (H25年)	28万1千トン	31万7千トン	29万トン	25万トン (速報値)		進捗状況
②/①		122%	142%	124%			順調

統計名など：農林水産統計年報

進捗状況の 分析	海面漁業の生産量は、25万トンで前年から4万トン(14%)減少している。減少の要因は、主要魚種のサバ類、アジ類、イワシ類、イカ類等の減少による。前年に比べ14%減少しているが、R1年の目標値は達成しており順調に推移している。R1年実績の確定値となる統計値(農林水産統計年報)は令和2年1月公表予定。
-------------	---

事業群の指標

事業群 ① 「浜の活力再生プラン」の作成と具体化の推進などによる浜と地域の活性化

指標	漁業所得(1経営体平均)	所管課	水産部 漁政課
----	--------------	-----	------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		2,429千円	2,492千円	2,555千円	—	—	2,555千円 (H30年)
実績値②	2,239千円 (H25年)	2,531千円	2,688千円	2,382千円	—	—	進捗状況
②/①		104%	108%	93%	—	—	やや遅れ

統計名など：浜の活力再生プラン目標値※プラン策定時の調査値

進捗状況の 分析	<p>1経営体平均所得は、浜の活力再生プランによる、魚価向上や燃油削減などの取組により、平成30年度も多くの地区で所得向上が図られたものの、全体としては、海面漁業や海面養殖業の不振や、燃油価格の上昇による漁業経費の増加などの要因により、1経営体平均所得は基準年からは6%向上したが、前年度からは減少し2,382千円となった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海面漁業産出額 平成29年度 679億円→平成30年度 636億円(▲43億円) ※ブリ類、イワシ類、イカ類の不漁による減 ・海面養殖業産出額 平成29年度 378億円→平成30年度 360億円(▲18億円) ※クロマグロ、トラフグの産出額減少による減
-------------	---

事業群 ② 他産業との連携強化などによる浜の活性化

指標	他産業と連携した新たな取組導入件数(累計)	所管課	水産部 漁政課
----	-----------------------	-----	------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		5件 (5)	10件 (5)	15件 (5)	21件 (6)	26件 (5)	26件 (R2年度)
実績値②	—	3件	7件	14件	23件		進捗状況
②/①		60%	70%	93%	109%		順調

統計名など：実績調査

進捗状況の 分析	令和元年度の新たな取組は、観光と連携した体験漁業や他産業との連携による新たな漁業システムの構築などであり、目標を上回る実績となった。引き続き、離島漁業再生支援交付金等のPRIに努め、新たな取組の導入促進を図っていく。
-------------	--

事業群 ③ 資源管理の推進

指標	検証・改善に取り組む資源管理計画数(累計) ※括弧内は、地域特産魚種に関する計画数	所管課	水産部 漁業振興課
----	--	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①	/	6件 (0件)	27件 (15件)	43件 (22件)	186件 (28件)	189件 (31件)	189件 (R2年度)
実績値②	—	6件 (0件)	28件 (15件)	43件 (22件)	203件 (29件)		進捗状況
②/①	/	100%	103%	100%	109%		達成

統計名など：漁業振興課資料

進捗状況の分析	<p>前回検証又は策定から5年目を迎えた資源管理計画及び地域特産種について評価・検証を行い、その中で、資源管理措置の再検討が必要と評価された計画については、各計画の更新時に合わせて、現地調査の実施や研究機関等からのアドバイスにより改善を図ることとしている。令和元年度対象計画160件を評価・検証した結果、CPUE(単位努力量当たり漁獲量)等が増加又は横ばいにより継続が109件、減少により改善が49件、残る2件は、操業実績が少なく検証が困難であった。引き続き、計画的に資源管理を推進していく。</p>
---------	--

事業群 ④ 「藻場回復ビジョン(仮称)」に基づく総合的な藻場回復など漁場づくりの推進

指標	漁場整備面積(累計)	所管課	水産部 漁港漁場課
----	------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①	/	662k㎡ (20)	682k㎡ (20)	702k㎡ (20)	722k㎡ (20)	742k㎡ (20)	742k㎡ (R2年度)
実績値②	622k㎡ (H26年度)	676k㎡	695k㎡	711k㎡	739k㎡		進捗状況
②/①	/	135%	121%	111%	117%		順調

統計名など：漁港漁場課資料

進捗状況の分析	<p>漁業を取り巻く環境は、資源の減少、就業者の減少や高齢化など一段と厳しさを増している。特に近年、本県の沿岸では「磯焼け」と呼ばれる藻場の減少が進行しており、藻場面積は平成元年の約13,400haから平成25年の約8,200haへと大きく減少している。このため水産生物の産卵場、育成場、磯根漁場として重要な藻場の回復を計画的に進めるべく、藻場の回復に向けたビジョンを策定し、藻場機能を有した増殖場の整備や漁業者自らが行う取組などを積極的に推進するとともに、魚礁等の整備と併せて、沿岸から沖合まで水産資源を育む漁場づくりを推進している。令和元年度までの累計漁場整備面積は739k㎡となり、令和2年度の最終目標の達成に向けて概ね順調に進んでいる。</p>
---------	--

事業群 ⑤ 漁港整備や浜の環境整備の推進

指標	浮桟橋、防風施設、防暑施設等の整備を行う漁港数(累計)	所管課	水産部 漁港漁場課
----	-----------------------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①	/	38漁港 (5)	43漁港 (5)	48漁港 (5)	54漁港 (6)	60漁港 (6)	60漁港 (R2年度)
実績値②	28漁港 (H26年度)	40漁港	45漁港	49漁港	54漁港		進捗状況
②/①	/	120%	113%	105%	100%		順調

統計名など：整備完了実績数

進捗状況の分析	<p>水産生産基盤整備費において浮桟橋や防風柵等の重点的な整備に努めた結果、安全性や利便性が向上し、漁業従事者の就労環境改善が図られた。なお令和元年度で5漁港を整備し、累計54漁港が完成となった。整備により改善された漁港の漁業従事者数は、H22:2,429人(H22港勢調査)からR1:4,969人(H29港勢調査)となり、順調に整備が進んでいる。</p>
---------	--

◇施策3 農林業の収益性の向上に向けた生産・流通・販売対策の強化

成果指標

成果指標	生産農業所得	所管課	農林部 農政課
------	--------	-----	------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		—	—	—	—	469億円	469億円 (R2年)
実績値②	397億円 (H25年)	598億円	626億円	570億円	算定中		進捗状況
②/①		—	—	—	—		—

統計名など：生産農業所得統計

進捗状況の分析	令和元年の生産農業所得統計の結果により評価する(12月公表予定) 「新ながさき農林業・農山村活性化計画」に基づき、経営規模の拡大、高品質化・多収化やコスト縮減対策の推進等取組を進めている。
---------	---

事業群の指標

事業群 ① 品目別戦略の再構築

指標	産地計画策定産地の販売額	所管課	農林部 農産園芸課
----	--------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		1,040億円	1,053億円	1,067億円	1,076億円	1,093億円	1,093億円 (R2年度)
実績値②	965億円 (H25年度)	1,077億円	1,098億円	1,048億円	算定中		進捗状況
②/①		103%	104%	98%	—		やや遅れ

統計名など：農林統計、各産地計画、牛個体識別全国DB情報長崎県家畜・家きん飼養頭羽数等調べ

進捗状況の分析	令和元年度の各産地計画の実績を集計中(12月集計予定) 品目別・地域別の産地計画をもとに、経営規模の拡大、高品質化、多収化やコスト縮減対策の推進等取組を進めている。
---------	---

事業群 ② 品目別戦略を支える加工・流通・販売対策

指標	農産物・木材の輸出額	所管課	農林部 農産加工流通課
----	------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		496百万円	531百万円	568百万円	611百万円	650百万円	650百万円 (R2年度)
実績値②	424百万円 (H26年度)	380百万円	568百万円	771百万円	727百万円		進捗状況
②/①		76%	106%	136%	119%		順調

統計名など：長崎県農産物輸出協議会調査・林政課調査

進捗状況の分析	農畜産物については、市場流通を活用した国内輸出業者との連携による海外でのフェアやバイヤーの産地招へいを開催した結果、シンガポール向けいちご輸出の新規ルート開拓や、既存ルートでの野菜類の取引量拡大が図られた。 しかし、最大の輸出先である香港でのデモの激化や、新型コロナウイルスの影響を受け、輸出の一時停止や果実を中心とした取扱量減少、また、長崎和牛では、台湾向け輸出の新たな施設基準が設けられ、現状の施設では輸出不可となったことなどが影響し、令和元年度の輸出額は前年度比99.7%の4億2,700万円となった。 木材輸出については、地域材供給倍増協議会における原木出荷情報、輸出情報の共有化の取組とあわせ、福岡・佐賀・長崎の3県連携による中国への大ロット出荷の取組を引き続き行っていたが、新型コロナウイルスの影響を受けて輸出が低調となり、令和元年度の輸出額は前年比87%の3億円となった。
---------	---

事業群 ③ 地域資源を活用した農山村地域の活性化

指標	農産物直売所、グリーン・ツーリズムの売上額	所管課	農林部 農山村対策室
----	-----------------------	-----	---------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		108.2 億円	110.4 億円	112.6 億円	114.8 億円	117 億円	117億円 (R2年度)
実績値②	106億円 (H26年度)	104.8 億円	111.8 億円	112.9 億円	111.6 億円		進捗状況
②/①		96%	101%	100%	97%		やや遅れ

統計名など：農山村対策室調査

進捗状況の 分析	<p>農産物直売所の売上額は、直売所数の減少や野菜単価の下落等により、平成30年度の106.9億円より減少したが、直売所単独の目標額は達成しており、引き続き新たな出荷者の確保や新規品目の検討等、販売額の向上に向けた取組を推進する。</p> <p>グリーン・ツーリズムについては、高齢化に伴う農林漁業体験民宿軒数の減少などの影響により伸び悩んでいるため、新規開業セミナー等による実践者の掘り起こしを行うとともに、誘客対策を継続して推進していく。</p>						
-------------	---	--	--	--	--	--	--

事業群 ④ 担い手確保のための生産基盤の整備

指標	農地の基盤整備面積(累計)	所管課	農林部 農村整備課
----	---------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		142ha	246ha	377ha	509ha	656ha	656ha (H27~R2年度)
実績値②	—	132ha	209ha	368ha	533ha		進捗状況
②/①		92%	84%	97%	105%		順調

統計名など：農村整備課調査

進捗状況の 分析	<p>令和元年度の補正予算により、予算確保を行った結果、農地の基盤整備が促進され、基盤整備面積の累計は平成30年度の368haから令和元年度には533haまで伸び、目標509haに対する達成率は105%である。</p>						
-------------	---	--	--	--	--	--	--

事業群 ④ 担い手確保のための生産基盤の整備

指標	担い手への農地集積面積	所管課	農林部 農地利活用推進室
----	-------------	-----	-----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		21,580ha	22,560ha	23,540ha	24,520ha	25,500ha	25,500ha (R2年度)
実績値②	20,507ha (H25年度)	22,778ha	23,055ha	23,313ha	23,501ha		進捗状況
②/①		105%	102%	99%	95%		やや遅れ

統計名など：農林業センサス担い手等農地集積調査

進捗状況の 分析	<p>産地部会の構成員等の今後育成すべき農業者がH30年比8%増加するなどにより、農業の担い手への農地集積は増加しているものの、その中心となる認定農業者は、高齢化に伴い、H30から130経営体減の5,431経営体と減少し、全体として、担い手の集積面積が伸び悩み目標を達成することができなかった。</p> <p>今後、産地主導型就農ルートの創設等新規自営就農者の増大により、認定農業者の確保を図るとともに、人・農地プランの実質化に向け、集落での合意形成を進め、水田畑地化や地域の実情に応じた条件整備等と一体的に担い手への利用集積を推進する。</p>						
-------------	---	--	--	--	--	--	--

◇施策4 地域の活力と魅力にあふれる農山村づくり

成果指標

成果指標	農業就業人口	所管課	農林部 農業経営課
------	--------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		—	—	—	—	29,700人	29,700人 (R2年)
実績値②	40,936人 (H22年)	実績値なし (5年ごと)	実績値なし (5年ごと)	実績値なし (5年ごと)	実績値なし (5年ごと)		進捗状況
②/①		—	—	—	—		—

統計名など：農林業センサス

進捗状況の分析	実績の評価については、2020年農林業センサスの結果により判断するが、現在の状況として、新規自営就農者と新規雇用就農者を合わせた年間の目標はほぼ達成しているものの、今後、農業就業人口の減少は予測されることから、新規自営就農者・新規雇用就農者の更なる確保が必要と考えている。
---------	--

成果指標	法人等常時雇用者数	所管課	農林部 農業経営課
------	-----------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		—	—	—	—	4,350人	4,350人 (R2年)
実績値②	3,108人 (H22年)	実績値なし (5年ごと)	実績値なし (5年ごと)	実績値なし (5年ごと)	実績値なし (5年ごと)		進捗状況
②/①		—	—	—	—		—

統計名など：農林業センサス

進捗状況の分析	新規雇用就農者(農業)については、年間目標250人を上回る282人となっているものの、農業法人等の求人が十分充足されていないことから、新規雇用就農者の更なる確保とともに、農福連携等による多様な人材の確保が必要と考えている。
---------	---

事業群の指標

事業群 ① 地域の活力と魅力にあふれる農山村づくり

指標	農業・林業産出額	所管課	農林部 農政課、林政課
----	----------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		1,590億円	1,605億円	1,621億円	1,636億円	1,650億円	1,650億円 (R2年)
実績値②	1,505億円 (H25年)	1,662億円	1,712億円	1,574億円	算定中		進捗状況
②/①		104%	107%	97%	—		やや遅れ

統計名など：生産農業所得統計、生産林業所得統計

進捗状況の分析	令和元年生産農業所得統計(12月公表予定)及び林業産出額(R3.2月公表予定)の結果により評価する。「新ながさき農林業・農山村活性化計画」に基づき、経営規模の拡大、高品質化・多収化やコスト縮減対策の推進等取組を進めている。
---------	---

事業群 ② 農山村地域の暮らしを支える環境整備

指標	ため池整備及び山地災害危険地区(Aランク)着手箇所数(累計)	所管課	農林部 森林整備室、農村整備課
----	--------------------------------	-----	--------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		575箇所	604箇所	636箇所	662箇所	691箇所	691箇所 (R2年度)
実績値②	538箇所 (H26年度)	581箇所	612箇所	630箇所	658箇所		進捗状況
②/①		101%	101%	99%	99%		やや遅れ

統計名など：森林整備室・農村整備課調査

進捗状況の 分析	<p>山地災害危険地区の未着手箇所において、地元との合意形成を図ることで令和元年度に15箇所で事業着手し、令和元年度の目標(570箇所)と同数の570箇所について事業着手している。</p> <p>ため池整備については、整備計画(一斉点検および耐震照査の結果)に基づき計画的に事業着手しており、令和元年度は目標(11箇所)に対し、整備が必要なため池13箇所について整備着手している。着手箇所の累計では令和元年度目標(92箇所)に対し、合意形成の遅延により88箇所に留まっているが、令和2年度着手をもって最終目標を達成する見込みである。</p>
-------------	--

戦略9 快適で安全・安心な暮らしをつくる

◇施策1 しまや過疎地域等の活性化と持続可能な社会の基盤づくり
成果指標

成果指標	過疎地域等の人口減少率(社会減)	所管課	地域振興部 地域づくり推進課
------	------------------	-----	-------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		0.5%	0.9%	1.4%	1.8%	2.3%	2.3%未満 (H27～R2年減少率)
実績値②	3.7% (H22～27年減少率)	0.75%	1.27%	1.8%	2.35%		進捗状況
②/①		50%	59%	71%	69%		遅れ

統計名など: 長崎県異動人口調査

進捗状況の分析	平成27年10月から令和元年9月までの間、過疎地域等の人口の社会減の人数は、8,259人であり、平成27年10月1日時点の過疎地域等の国勢調査確定値人口(351,797人)を基準とした人口減少率は、2.35%と厳しい実績となっている。地区別に見ると、離島地域の人口減少率については、目標値2.7%に対し実績値2.59%と目標を上回っているが、北松浦半島や島原半島など、半島地域の人口減少が進んでいる。今後も市町と連携しながら地方創生交付金等を活用した移住・定住施策等の推進や、国への支援措置拡充の要望活動を行っていく。
---------	---

事業群の指標

事業群 ① 地域の底力を活かした特色ある地域づくりへの支援

指標	地域の特色を活かした地域振興に対する満足度	所管課	地域振興部 地域づくり推進課
----	-----------------------	-----	-------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		—	—	25%	—	35%	35% (R2年度)
実績値②	13% (H26年度)	—	—	10.6%	—		進捗状況
②/①		—	—	42%	—		遅れ

統計名など: 県民アンケート

進捗状況の分析	肥前窯業圏の取組や「『いさかん』魅力発見！プロジェクト」により、各地域の資源を掘り起こして活用してきた。日本遺産の認定や、ボート練習場としての利活用が地域の特色として認知され、民間の参加意識も高まっている。また、市町等が実施する住民主体による地域運営組織を核とした集落対策の仕組みづくりに対する支援を行い、持続可能な地域づくりに取り組む地域(団体)が増加している。今後も引き続き、市町とも連携しながら、地域発の地域づくりに向け、様々な分野での施策を推進するとともに、地域住民主体或いは地域住民との協働による地域づくりを推進していく。
---------	--

事業群 ② しまの活性化

指標	「しま」への観光客延べ数	所管課	地域振興部 地域づくり推進課
----	--------------	-----	-------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		182万人	187万人	193万人	198万人	204万人	204万人 (R2)
実績値②	168万人 (H26)	181万人	192万人	207万人	183万人		進捗状況
②/①		99%	102%	107%	92%		やや遅れ

統計名など：県観光統計

進捗状況の 分析	「しま」への観光客延べ数については、有人国境離島法に基づく国の交付金を活用した滞在型観光促進事業の取組によって国内観光客は増加したものの、韓国人観光客が訪日旅行を控えたこと等により目標を達成することはできなかった。
-------------	---

事業群 ③ 過疎・半島地域の活性化

指標	半島地域の人口減少率(社会減)	所管課	地域振興部 地域づくり推進課
----	-----------------	-----	-------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		0.4%	0.7%	1.1%	1.4%	1.8%	1.8%未満 (H27～R2年減少率)
実績値②	3.2% (H22～27年減少率)	0.64%	1.14%	1.67%	2.23%		進捗状況
②/①		40%	37%	48%	41%		遅れ

統計名など: 長崎県異動人口調査

進捗状況の分析	半島地域の人口減少については、過去4か年の社会減の人数は5,200人(累計)で、平成27年10月の国勢調査確定値人口を基準とした人口減少率は2.23%(5,200人/233,632人×100)となり、目標値に対して遅れとなっている。具体的には、東松浦半島の佐々町では人口増となっているものの、その他の東松浦半島や島原半島など、人口減が進んでいる。また、新型コロナウイルス感染症拡大に伴い地方に関心が高まる中、情報発信等の強化を図ることも重要と考えており、引き続き、市町と連携しながら移住・定住施策など人口減少対策につながる施策を推進するとともに、国の半島振興施策の支援措置の拡充に向けた要望活動を行っていく。
---------	--

事業群 ④ しまや過疎地域の教育の活性化に向けて、地域と協働した県立学校の魅力化

指標	しまや過疎地域の地元地域と協働した取組の実施件数(累計)	所管課	教育庁 総務課
----	------------------------------	-----	------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		1件	2件	3件	4件	6件	6件 (H28～R2年度)
実績値②	0件 (H26年度)	2件	5件	7件	7件		進捗状況
②/①		200%	250%	233%	175%		達成

統計名など: -

進捗状況の分析	令和元年度は、県教育委員会の「魅力ある学校づくり研究指定校」に5校を指定し、高校の魅力化に向けた取組を進めた。また、2校において、離島留学制度推進委員会を開催し、地域との連携を図り、離島留学制度を円滑に運営していくための協議を行った。
---------	---

事業群 ⑤ 人口減少に対応したまちづくりの推進

指標	空き家活用モデル地区数(累計)	所管課	土木部 住宅課
----	-----------------	-----	------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		0地区	1地区	1地区	2地区	2地区	2地区 (R2年度)
実績値②	0地区 (H26年度)	0地区	0地区	0地区	2地区		進捗状況
②/①		0%	0%	0%	100%		達成

統計名など: 地区の実態調査

進捗状況の 分析	<p>地域の空き家の実態を把握し、空き家所有者の意向と地区外からの移住希望者とのマッチングができる受け皿組織・仕組みの構築を目指し、平成28年度に空き家再生プロジェクトにより2つのモデル地区を選定した。</p> <p>モデル地区である長崎市南山手地区、雲仙市神代小路地区については、地区内の空き家の活用による移住者の受け入れや交流人口の拡大を目的とした受け皿団体の設立を目標としていたが、いずれも設立された。 (長崎市南山手地区「長崎住まい・まちづくりトラスト」、雲仙市神代地区「神代小路ネットワーク」)</p>
-------------	--

事業群 ⑥ 市町の行財政基盤の強化

指標	財政健全化法における計画策定団体の数	所管課	地域振興部 市町村課
----	--------------------	-----	---------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		0団体	0団体	0団体	0団体	0団体	0団体 (R2年度)
実績値②	0団体 (H27年度)	0団体	0団体	0団体	0団体		進捗状況
②/①		—	—	—	—		順調

統計名など: 決算統計

進捗状況の 分析	<p>人口減少に伴う税収減や社会保障関係経費の増加等により、地方行財政を取り巻く環境は年々厳しくなっている。</p> <p>令和元年度は、県と市町の人事交流や地方財政講習会等の実施など、市町の行財政基盤の強化に努め目標を達成(見込み)した。</p>
-------------	--

◇施策2 犯罪や交通事故のない安全・安心なまちづくりの推進

成果指標

成果指標	刑法犯認知件数(全国トップレベルの治安水準の維持)	所管課	警察本部 生活安全企画課
------	---------------------------	-----	-----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①	/	—	—	—	—	4,500件以下	4,500件以下 (R2年)
実績値②	6,017件 (H26年)	4,659件	4,264件	3,622件	3,394件		進捗状況
②/①	/	—	—	—	—		—

統計名など: 犯罪統計

進捗状況の分析	総合的な犯罪抑止対策を推進した結果、令和元年に引き続き、最終目標である犯認知件数4,500件以下を達成した。
---------	--

成果指標	年間の交通事故死者数	所管課	警察本部 交通企画課
------	------------	-----	---------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①	/	—	—	—	—	34人以下	34人以下
実績値②	40人以下 (H27年目標値)	41人	47人	36人	33人		進捗状況
②/①	/	—	—	—	—		—

統計名など: 交通事故統計

進捗状況の分析	交通安全運動、交通安全教育、交通指導取締り、交通安全施設の整備等の総合的な交通安全対策を推進した結果、年間の交通事故死者数は最終目標の34人を下回った。
---------	--

事業群の指標

事業群 ① 安全で安心して暮らせる犯罪の起きにくい社会づくりの推進

指標	安全・安心講話の受講者数	所管課	警察本部 生活安全企画課
----	--------------	-----	-----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①	/	15万人	15万人	15万人	15万人	15万人	15万人 (毎年)
実績値②	147,817人 (H26年)	187,130人	167,369人	156,418人	142,917人		進捗状況
②/①	/	124%	111%	104%	95%		遅れ

統計名など: 実績結果報告の集計

進捗状況の分析	県民の自主防犯意識を高揚させるため、自治会、事業者等に対する防犯講話、児童・生徒に対する非行防止教室、留学生・技能実習生等外国人に対する防犯講話など受講者の特性に応じた安全・安心講話を実施しているところ、自治会、事業者等に対する防犯講話、児童・生徒に対する非行防止教室の受講者数が減少した結果、令和元年の受講者数は目標を下回った。
---------	---

事業群 ② 交通安全対策の推進

指標	交通安全教育の受講者数	所管課	警察本部 交通企画課
----	-------------	-----	---------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		40万人	40万人	40万人	40万人	40万人	40万人 (毎年)
実績値②	395,352人 (H22～26年平均)	475,968人	456,224人	452,502人	469,384人		進捗状況
②/①		118%	114%	113%	117%		順調

統計名など: 交通安全教育活動状況

進捗状況の 分析	交通事故のない安全で住みやすい社会の実現を目指し、市町を始めとした関係機関・団体等と緊密に連携しながら、幼児から高齢者までの各世代に応じた交通安全教育を実施した結果、令和元年中の目標値を上回った。
-------------	--

事業群 ③ 交通安全確保に向けた通学路等の整備

指標	歩道等の整備延長率	所管課	土木部 道路維持課
----	-----------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		45%	60%	75%	90%	100%	100% (R2年度)
実績値②	15% (H26年度)	40%	46%	50%	56.0%		進捗状況
②/①		88%	76%	66%	62%		遅れ

統計名など: 道路維持課集計資料

進捗状況の 分析	現在全ての箇所について着手済みであるが、用地買収に時間を要しており、R1年度までの整備は、11,18kmで全体19.78kmに対し、進捗率56%の進捗率で、大幅に遅れている。
-------------	---

事業群 ④ 組織犯罪対策の推進

指標	暴力相談を契機とした事案解決(事件検挙、行政命令)件数	所管課	警察本部 組織犯罪対策課
----	-----------------------------	-----	-----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		20件	20件	20件	20件	20件	20件 (毎年)
実績値②	20.4件 (H22～26年平均)	16件	19件	21件	23件		進捗状況
②/①		80%	95%	105%	115%		順調

統計名など: 検挙・行政命令の実績

進捗状況の 分析	暴力団事案に関する相談件数が前年より減少している中、暴力相談を端緒として継続的な掘り下げ捜査や被害者に寄り添った対策を実施して積極的に事件化に努め、検挙や行政命令に結び付けた結果、前年に比べ2件増加し、目標値を上回った。
-------------	--

事業群 ⑤ 国際テロ対策等の推進

指標	テロの未然防止に向けた各種訓練・協議会の実施回数 ※H30まで	所管課	警察本部 外事課
----	------------------------------------	-----	-------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		170回	175回	180回	—	—	—
実績値②	163回 (H26年)	540回	937回	942回			進捗状況
②/①		317%	535%	523%			—

統計名など：訓練・協議会実施の集計

指標	テロの未然防止に向けた各種訓練の実施率 ※R元から	所管課	警察本部 外事課
----	------------------------------	-----	-------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		—	—	—	100%	100%	100% (R2年)
実績値②	82.9% (H29年)		82.9%	91.4%	99.6%		進捗状況
②/①				—	99.6%		やや遅れ

統計名など：訓練実施対象数

進捗状況の分析	平成30年度までは、「テロの未然防止に向けた各種訓練・協議会の実施回数」を指標としてきたところ、実績値が目標値を大幅に上回る結果となっていたことから、令和元年度から新たな指標として「テロの未然防止に向けた各種訓練の実施率」を設定し、訓練対象として計上した事業所に対して各種訓練を実施したが、全ての対象事業所に対して訓練を実施することができなかったため、目標値である100%の実施率には至らなかった。
---------	---

◇施策3 食品の安全・安心の確保と安全・安心な消費生活の実現

成果指標

成果指標	長崎県における「食品の安全」について、安心してしている人の割合	所管課	県民生活環境部 食品安全・消費生活課
------	---------------------------------	-----	-----------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①	/	75%	75%	75%	75%	75%	75% (R2年度)
実績値②	73.2% (H26年度)	60.5%	59.7%	63.6%	62.8%		進捗状況
②/①	/	80%	79%	84%	83%		遅れ

統計名など：長崎県の取組に関する県民意識アンケート調査

進捗状況の分析	小中学生や大学生を対象とした食品安全教室や、一般県民を対象としたリスクコミュニケーションなど、県内各地で食品の安全性に関する情報提供を行ったが、実績値は62.8%にとどまり目標を達成するには至らなかった。 達成できなかった要因のひとつとして、社会環境やライフスタイルの変化に伴い、食に対する価値観が多様化する中、氾濫する情報が消費者の混乱を招いていることが考えられる。
---------	---

成果指標	消費生活センターにおける斡旋解決率	所管課	県民生活環境部 食品安全・消費生活課
------	-------------------	-----	-----------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①	/	11%	11%	11%	11%	11%	11% (R2年度)
実績値②	10.4% (H26年度)	12.5%	10.6%	13.9%	12.7%		進捗状況
②/①	/	113%	96%	126%	115%		順調

統計名など：全国消費生活情報ネットワーク・システム(PIO-NET)集計値

進捗状況の分析	消費者トラブルにかかる苦情相談に対応し被害からの救済を図るための一つの指標として斡旋解決率を全国平均(例年6%程度)より高め11%と高水準に設定し、その維持を目標としている。 令和元年度は12.7%と目標を達成した。
---------	---

事業群の指標

事業群 ① 食品の安全性の確保

指標	食品取扱施設の監視指導件数	所管課	県民生活環境部 生活衛生課
----	---------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①	/	20,000件以上	20,000件以上	20,000件以上	20,000件以上	20,000件以上	20,000件以上 (毎年度)
実績値②	19,323件 (H27年度の算出値)	20,555件	18,914件	18,776件	19,183件		進捗状況
②/①	/	100%	94%	93%	96%		遅れ

統計名など：各保健所の実績

進捗状況の分析	食品衛生法に基づき、食中毒の発生状況、社会状況の変化や各保健所の実情などを踏まえ長崎県食品衛生監視指導計画を毎年度策定している。 本計画に従い、各保健所が効率的かつ効果的に監視指導を実施したが、「HACCP※に沿った衛生管理の制度化」への対応を早急に進めるため、並行して、ワーク形式による実践的な講習会の開催に重点を置いて取組を進めたことから、達成率は96%と目標には及ばなかった。 ※HACCP：原材料の受け入れから製品の製造・出荷に至るまでのすべての工程において、危害が除去(あるいは安全な範囲まで低減)できるよう、手順を定め、記録を残すことによって、製品の安全性を担保する衛生管理の手法。
---------	---

事業群 ② 食品のより高い安全性確保のための食品関連事業者による取組の促進

指標	豚枝肉汚染度指数	所管課	県民生活環境部 生活衛生課
----	----------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		100(個/㎢)未満	100(個/㎢)未満	100(個/㎢)未満	100(個/㎢)未満	100(個/㎢)未満	100(個/㎢)未満(毎年度)
実績値②	100(個/㎢)未満 (H24～26年度実績)	36.0(個/㎢)	29.0(個/㎢)	31.3(個/㎢)	42.9(個/㎢)		進捗状況
②/①		100%	100%	100%	100%		順調

統計名など: 各食肉衛生検査所の実績

進捗状況の分析	<p>と畜場の衛生管理の一つの指標である枝肉拭取り結果は、目標値の100個/㎢未満を維持し、概ね衛生的に管理されていることが確認された。法改正に伴うHACCP※に基づく衛生管理の制度化については、県が管轄する全ての畜場(4箇所)でHACCP導入が完了した。今後は外部検証等により定着させ、衛生管理の維持向上を図る必要がある。</p> <p>※HACCP: 原材料の受け入れから製品の製造・出荷に至るまでのすべての工程において、危害が除去(あるいは安全な範囲まで低減)できるよう、手順を定め、記録を残すことによって、製品の安全性を確保する衛生管理の手法。</p>
---------	--

事業群 ③ 食品の安全性に関する理解促進

指標	食品の安全性に関する意見交換会等の出席者数	所管課	県民生活環境部 食品安全・消費生活課
----	-----------------------	-----	-----------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		680人	710人	740人	770人	800人	800人 (R2年度)
実績値②	672人 (H23～26年度平均)	475人	974人	991人	1,253人		進捗状況
②/①		69%	137%	133%	162%		順調

統計名など: 意見交換会等の出席者数実績

進捗状況の分析	<p>安心が実感できる食生活のためには、食品の安全が確保されているだけでなく、安全性に対する信頼が前提条件となるものである。意見交換会等を開催し、より多くの県民に食品の安全性に関する正しい情報を提供するとともに共通理解を図ることが、信頼の確保につながることから、意見交換会等の出席者数を目標としている。</p> <p>令和元年度から開始した小学生を対象としたキッズ食品安全教室への参加人数が想定よりも多くなったことから、令和元年度は目標を大きく上回ることができた。</p>
---------	--

事業群 ④ 消費生活苦情相談の実施

指標	県・市町の消費生活センター及び相談窓口における相談件数	所管課	県民生活環境部 食品安全・消費生活課
----	-----------------------------	-----	-----------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		12,200件	12,400件	12,600件	12,800件	13,000件	13,000件 (R2年度)
実績値②	11,869件 (H23～H26年度 平均)	11,149件	12,321件	10,706件	10,276件		進捗状況
②/①		91%	99%	84%	80%		遅れ

統計名など：①県市町の相談受付実績②全国消費生活情報ネットワークシステム集計値

進捗状況の 分析	<p>県では国の地方消費者行政強化交付金を活用し、相談体制の整備・強化のための費用の補助、専任の市町支援相談員の設置、研修会の実施等による市町支援を行っている。</p> <p>また、住民により身近な市町の消費生活相談体制を充実強化させることで県民の利便性を高めることを目的に、市町相談員等の研修会等を開催し相談員の資質向上に取り組むとともに、市町を支援して講演会を開催するなど各種啓発活動を通して相談の掘り起こしを行っている。</p> <p>令和元年度の相談実績は10,276件(県：2,300件、市町7,976件)と、前年度比4.0%の減となり、目標値を下回ったが、これまで実施してきた広報啓発の結果、消費者トラブルに関する県民の理解が広まったことも相談件数減少の理由の一つとして考えられる。</p>
-------------	---

事業群 ⑤ 高齢者等の消費者トラブルの未然防止・拡大防止

指標	ダイレクトな啓発を行う独居高齢者等の人数	所管課	県民生活環境部 食品安全・消費生活課
----	----------------------	-----	-----------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		20,000人	20,000人	20,000人	20,000人	20,000人	20,000人 (毎年度)
実績値②	—	20,000人	20,000人	20,000人	20,000人		進捗状況
②/①		100%	100%	100%	100%		順調

統計名など：ダイレクトな啓発を行う独居高齢者等の実績

進捗状況の 分析	<p>消費者トラブルの未然防止・拡大防止につなげるため、悪質商法や特殊詐欺のターゲットになりやすい高齢者等を対象として、注意喚起を促す啓発チラシを配付し、直接的な啓発を行っている。県内の独居高齢者約60,000人の1/3に相当する20,000人に対し、毎年、啓発を行うことを目標としている。</p> <p>令和元年度は警察と連携して注意の呼びかけと被害者の相談窓口への誘導に取り組んだ。また、独居高齢者等20,000人に対し、高齢者訪問活動や地域での防犯講話等の際に直接注意の呼びかけを行うとともに、注意喚起のはがきの送付を行うことでダイレクトな啓発を行った。</p>
-------------	--

事業群 ⑥ 消費者教育の推進

指標	消費者講座受講者数	所管課	県民生活環境部 食品安全・消費生活課
----	-----------	-----	-----------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		7,500人以上	7,500人以上	7,500人以上	7,500人以上	7,500人以上	7,500人以上 (R2年度)
実績値②	7,486人 (H23～26年度 平均)	7,166人	9,740人	13,828人	18,277人		進捗状況
②/①		95%	100%	100%	100%		順調

統計名など：受講者数の実績

進捗状況の 分析	<p>契約の考え方や最新の消費者トラブル事例と対処法などを学ぶ消費者講座を地域において開催することにより、自立した消費者を育成することができると考えられることから、消費者講座受講者数を目標としている。</p> <p>令和元年度は引き続き学校や地域などへの呼びかけを強化し各種講座を304回開催、受講者数も目標を大きく上回った。</p> <p>併せて、テレビ、新聞、ラジオ、ホームページ、ツイッター、メールなどの広報媒体を活用した啓発・消費者教育にも取り組んだ。</p>
-------------	--

◇施策4 災害に強く、命を守る県土強靱化の推進

成果指標

成果指標	風水害・地震などによる死者数	所管課	危機管理監 危機管理課
------	----------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①	/	0人	0人	0人	0人	0人	0人 (R2年度)
実績値②	0人 (H26年度)	0人	0人	0人	0人		進捗状況
②/①	/	100%	100%	100%	100%		順調

統計名など：長崎県消防防災年報

進捗状況の分析	令和元年8月の前線に伴う大雨(令和元年九州豪雨)により本県においても大雨特別警報が発表されたが、幸いにも人的被害はなく、自然災害での死者数ゼロを達成した。 令和2年度は、7月豪雨により死者が発生したが、今後も引き続き防災の究極の理念である死者数ゼロの実現を目指して、本施策に掲げている主要事業に取り組む。
---------	---

事業群の指標

事業群 ① 総合的な防災、危機管理体制の構築

指標	地域・職場の防災の担い手とする防災推進員の新規養成者数	所管課	危機管理監 危機管理課
----	-----------------------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①	/	120人	120人	120人	120人	120人	120人 (R2年度)
実績値②	111人 (H22～H26年度平均)	182人	121人	178人	173人		進捗状況
②/①	/	151%	100%	148%	144%		順調

統計名など：県が開催する防災推進員養成講座の修了者数

進捗状況の分析	令和元年度は、佐世保市及び五島市、長崎市において長崎県防災推進員養成講座を開催した。平成21年度の養成講座開催以降、佐世保市では5回目、五島市においては2回目の開催。年3回の講座を開催し、内1回は自治体職員、市町・県議会議員、大学生に特化して長崎市で開催し、県議会議員をはじめ約50名の申し込みがあった。 佐世保市では令和元年度中に自主防災組織率が2%増加し、一定の効果が認められた。
---------	---

事業群 ② 各種災害の規模を想定した防災訓練、有事発生時の対応訓練の実施

指標	防災訓練等の実施回数	所管課	危機管理監 危機管理課
----	------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①	/	6回	6回	6回	6回	6回	6回 (R2年度)
実績値②	6回 (H22～26年度平均)	5回	6回	7回	6回		進捗状況
②/①	/	83%	100%	116%	100%		順調

統計名など：危機管理課実績

進捗状況の分析	各種災害発生時には各防災関係機関との連携や、有事即応体制が求められるため、各種災害発生を想定した訓練により、その対応力を向上させる必要がある。令和元年度は、総合防災訓練、原子力防災訓練、国民保護訓練、初動対応訓練、情報伝達訓練など6回の実践的な訓練を実施したことにより、各防災関係機関相互の連携・協力体制を強化し、災害に備えることができた。
---------	--

事業群 ③ 原子力防災対策の推進、広域避難対策の推進

指標	避難対象全住民中、避難先の確保率(一般住民+避難行動要支援者)	所管課	危機管理監 危機管理課
----	---------------------------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		100%	100%	100%	100%	100%	100% (R2年度)
実績値②	94% (H26年度)	100%	100%	100%	100%		進捗状況
②/①		100%	100%	100%	100%		達成

統計名など：関係課から施設への照会

進捗状況の分析	<p>玄海原子力発電所の事故に備えるため、防災計画等の不断の見直しに努めている。平成30年度に内閣府で取りまとめた「玄海地域の緊急時対応」の課題に対する見直しを行い了承された。今後も原子力防災対策、広域避難対策の推進を図っていく。</p>
---------	---

事業群 ④ 消防団を中核とした地域防災力の充実強化

指標	県内の消防団員数	所管課	危機管理監 消防保安室
----	----------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		20,053人以上を維持	20,053人以上を維持	20,053人以上を維持	20,053人以上を維持	20,053人以上を維持	20,053人以上を維持 (R2年度)
実績値②	20,053人 (H27年度)	19,918人	19,861人	19,738人	19,437人		進捗状況
②/①		99%	99%	98%	96%		遅れ

統計名など：消防団組織概要(消防団員数)

進捗状況の分析	<p>消防団員数は、市町における勧誘対策とともに、県においても商工会等の事業所との連携推進や市町と連携した機能別団員制度の導入促進、女性消防団員の加入促進等の対策を講じたものの、ほとんどの市町において、人口減少、過疎化、高齢化の進行、産業・就業構造やライフスタイルの変化、消防団活動への理解不足などの要因により、減少し、目標を達成するには至らなかった。</p>
---------	--

事業群 ④ 消防団を中核とした地域防災力の充実強化

指標	自主防災組織率	所管課	危機管理監 危機管理課
----	---------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		62%	64%	66%	68%	70%	70% (R2年度)
実績値②	58.7% (H27年度)	66.0%	68.0%	70.0%	71.2%		進捗状況
②/①		106%	106%	106%	104%		達成

統計名など：消防白書の基礎調査

進捗状況の分析	<p>令和元年度は、佐世保市及び五島市、長崎市において長崎県防災推進員養成講座を開催した。平成21年度の養成講座開催以降、佐世保市では5回目、五島市においては2回目の開催。年3回の講座を開催し、内1回は自治体職員、市町・県議会議員、大学生に特化して長崎市で開催し、県議会議員をはじめ約50名の申し込みがあった。佐世保市では令和元年度中に自主防災組織率が2%増加し、一定の効果が認められた。</p>
---------	--

事業群 ⑤ 地震、大雨、台風、高潮などの自然災害に備えた施設整備など防災対策の推進

指標	土砂災害警戒区域内での死者数	所管課	土木部 砂防課
----	----------------	-----	------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①	/	0人	0人	0人	0人	0人	0人 (R2年度)
実績値②	0人 (H26年度)	0人	0人	0人	0人		進捗状況
②/①	/	100%	100%	100%	100%		順調

統計名など：実績による

進捗状況の 分析	災害発生時に県民の生命や財産を守るための防災情報を適切に住民へ提供し、水害・土砂災害での死者数を0にすることができた。また、防災情報の収集・伝達体制の確保により、地域住民の安全に寄与した。
-------------	--

事業群 ⑥ 住宅、建築物の耐震化の推進

指標	耐震診断を義務付けられた多数の者が利用する大規模建築物のうち耐震性を有するものの割合	所管課	土木部 住宅課
----	--	-----	------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①	/	62%	68%	74%	79%	85%	85% (R2年度)
実績値②	53% (H26年度)	64%	70%	75%	79%		進捗状況
②/①	/	103%	102%	101%	100%		順調

統計名など：建築課作成の対象建築物台帳

進捗状況の 分析	民間対象建築物において、耐震改修を累計11件、耐震改修計画作成を累計18件終えることができた。成果指標達成率は100%で、順調に進捗している。
-------------	---

事業群 ⑦ 県庁舎の整備

指標	新庁舎の整備スケジュールに基づく整備・移転	所管課	総務部 管財課
----	-----------------------	-----	------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①	/	-	新庁舎の 完成・移転	/	/	/	新庁舎の 完成・移転 (H29年度)
実績値②	-	-	新庁舎の 完成・移転	/	/	/	進捗状況
②/①	/	-	-	/	/	/	達成

統計名など：建築課作成の対象建築物台帳

◇施策5 良好で快適な環境づくりの推進

成果指標

成果指標	水質汚濁に係る環境基準(海域COD)の達成率	所管課	県民生活環境部 地域環境課
------	------------------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		78%	80%	82%	84%	85%	85% (R2年度)
実績値②	76% (H26年度)	85.5%	86.8%	84.2%	92.1%		進捗状況
②/①		109%	108%	102%	109%		順調

統計名など：公共用水域及び地下水の水質測定結果

進捗状況の分析	生活排水等の処理率向上や水質汚濁防止法・未来環境条例に基づく工場・事業場に対する指導の徹底等により、県内76地点中70地点で環境基準を達成したが、外海との海水交換が少ない閉鎖性水域である大村湾や有明海の一部で環境基準を超過した。今後も引き続き、汚水処理施設の整備を促進するとともに、特に閉鎖性水域については、各種計画に基づき、市町等関係機関と連携して水質改善対策に取り組み、進捗を管理していく。
---------	---

成果指標	大気環境基準の達成率	所管課	県民生活環境部 地域環境課
------	------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		80%	81%	82%	83%	85%	85% (R2年度)
実績値②	78% (H26年度)	85.5%	86.7%	87.8%	88.1%		進捗状況
②/①		106%	107%	107%	106%		順調

統計名など：大気環境調査結果

進捗状況の分析	6物質中3物質(二酸化硫黄、二酸化窒素、一酸化炭素)については5年以上連続して達成し、微小粒子状物質(PM2.5)についてはH30年度に引き続き、全測定局で環境基準を達成するなど大幅に改善していることから目標を達成した。しかしながら、光化学オキシダントについては、全測定局で環境基準未達成の状況が続いている。
---------	--

事業群の指標

事業群 ① 汚水処理施設の普及拡大と高度処理の推進

指標	汚水処理人口普及率	所管課	県民生活環境部 水環境対策課
----	-----------	-----	-------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		80.5%	81.6%	82.7%	83.8%	85%	85% (R2年度)
実績値②	77.2% (H25年度)	79.5%	80.2%	80.9%	81.7%		進捗状況
②/①		98%	98%	97%	97%		やや遅れ

統計名など：県・市町の汚水処理施設の整備状況等からの集計

進捗状況の分析	下水道、浄化槽等の整備に対する支援を実施した結果、令和元年度の汚水処理人口普及率は、昨年度より0.8%改善されたものの、目標値の97%にとどまっている。今後は、未普及対策に必要な国予算を確保し、下水道整備とともに浄化槽整備を促進することで目標達成を目指す。
---------	--

事業群 ② 大村湾・諫早湾干拓調整池の水質改善

指標	大村湾の水質(COD 75%値平均)	所管課	県民生活環境部 地域環境課
----	--------------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		2.0mg/L	2.0mg/L	2.0mg/L	2.0mg/L	2.0mg/L	2.0mg/L (R2年度)
実績値②	2.5mg/L (H26年度)	2.1mg/L	2.0mg/L	2.1mg/L	2.0mg/L		進捗状況
②/①		80%	100%	80%	100%		順調

統計名など：公共用水域及び地下水の水質測定結果

進捗状況の 分析	大村湾の水質対策については、地域住民や市町と連携して、生活排水対策や下水道の整備、工場排水対策等、流域から流入する汚濁物質抑制対策を進めている。令和元年度は、大村湾の水質は、COD75%値平均としては目標達成できたが、湾奥部を中心に基準超過地点がみられる。
-------------	--

事業群 ② 大村湾・諫早湾干拓調整池の水質改善

指標	諫早湾干拓調整池の水質(COD 75%値平均)	所管課	県民生活環境部 地域環境課
----	-------------------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		—	—	—	—	5.0mg/L	5.0mg/L (R2年度)
実績値②	7.9mg/L (H26年度)	7.4mg/L	7.4mg/L	8.4mg/L	8.6mg/L		進捗状況
②/①		—	—	—	—		—

統計名など：公共用水域及び地下水の水質測定結果

進捗状況の 分析	諫早湾干拓調整池の水質対策については、地域住民や市町と連携して、生活排水対策や下水道の整備、工場排水対策等、流域から流入する汚濁物質抑制対策を進めているが、諫早湾干拓調整池の水質は未達成であり、流域からの汚濁負荷や調整池からの巻き上げ、水温の上昇による植物プランクトンの増大などさまざまな要因が考えられる。
-------------	---

事業群 ③ PM2.5等大気汚染物質や漂着ごみ対策等の推進

指標	海洋ごみ等の発生抑制対策事業に係るボランティア参加者数	所管課	県民生活環境部 資源循環推進課
----	-----------------------------	-----	--------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		25,000人	26,000人	27,000人	28,000人	29,000人	29,000人 (R2年度)
実績値②	24,313人 (H26年度)	23,704人	24,182人	24,746人	23,255人		進捗状況
②/①		94%	93%	91%	83%		遅れ

統計名など：長崎県海岸漂着物対策推進協議会資料

進捗状況の 分析	海岸漂着ごみ対策においては、漂着ごみ削減のための発生抑制対策が重要なことから、釜山広域市との交流事業、環境教育や啓発活動など市町・民間団体等と連携した発生抑制対策事業を通じて、景観や生活衛生の向上と海岸環境保全に取り組んでいる。令和元年度の実績は23,255人で、目標の83%となった。発生抑制対策事業の実施事業数については、計画していた74事業に対し92事業が実施され、取り組みの範囲が広がった。
-------------	---

◇施策6 低炭素・循環型社会づくりの推進

成果指標

成果指標	県内におけるエネルギー消費量	所管課	県民生活環境部 地域環境課
------	----------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①	/	110千TJ	106千TJ	103千TJ	100千TJ	97千TJ	97千TJ (R2年)
実績値②	122千TJ (H24年)	141千TJ	144千TJ	算定中	算定中		進捗状況
②/①	/	—	—	—	—		—

統計名など：—

進捗状況の 分析	<p>平成30年度及び令和元年度のエネルギー消費量については、調査中。なお、入手可能な統計資料の数値等が変更となった関係から、次のとおり基準年の数値が変わっている。平成29年度実績値(144千TJ)は、目標値(106千TJ)を上回っており、前年度エネルギー使用量(141千TJ)よりも増加しているが、これは平成29年度が寒冬に伴い暖房需要が増大したほか、生産活動が拡大したことによるものと考えられる。</p> <p>しかし、長期的には平成19年度をピークに減少傾向にあり、全体として省エネ取組が進んでいる。</p> <p>・基準年(H24)実績値 122千TJ → 154千TJ</p>
-------------	---

事業群の指標

事業群 ① 節電や省エネルギー等の取組推進

指標	家庭部門における電気使用量	所管課	県民生活環境部 地域環境課
----	---------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①	/	18.8億kW	18.3億kW	17.8億kW	17.3億kW	16.8億kW	16.8億kwh (R2年)
実績値②	20.7億kWh (H24年)	28.7億kWh	32.2億kWh	算定中	算定中		進捗状況
②/①	/	—	—	—	—		—

統計名など：—

進捗状況の 分析	<p>平成30年度及び令和元年度の電気使用量については、調査中。なお、入手可能な統計資料が変更となった関係から、次のとおり基準年の数値が変わっている。平成29年度実績値(32.2億kWh)は、目標値(18.3億kWh)を上回っており、前年度の電気使用量(28.7億kWh)よりも増加しているが、これは平成29年度が寒冬の影響で暖房・給湯需要が増大したことによるものと考えられる。</p> <p>しかし、基準年の平成24年度をピークに減少傾向にあり、家庭における節電等の取組が進んでいる。</p> <p>・基準年(H24)実績値 20.7億kWh → 35.1億kWh</p>
-------------	---

事業群 ② 地域における再生可能エネルギーの導入促進

指標	J-クレジットの認証量(累計)	所管課	県民生活環境部 地域環境課
----	-----------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①	/	3,533t	5,533t	5,533t	7,533t	8,533t	8,533t (R2年度)
実績値②	3,533t (H26年度)	6,716t	8,145t	9,634t	11,000t		進捗状況
②/①	/	190%	147%	174%	146%		達成

統計名など：実績認証量

進捗状況の 分析	<p>ながさき太陽光倶楽部会員の協力を得て、R元年度までに累計で11,000t-CO2のJ-クレジットの認証を受けることができ、順調に進捗している。</p>
-------------	--

事業群 ③ 気候変動への適応策の検討及び推進

指標	気候変動による影響への適応策の策定	所管課	県民生活環境部 地域環境課
----	-------------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①	/	—	策定	—	—	—	策定 (H29年度)
実績値②	—	—	策定	/	/	/	進捗状況
②/①	/	—	—	/	/	/	達成

統計名など：策定件数

進捗状況の 分析	<p>本県における地球温暖化影響分析の結果を踏まえ策定した「長崎県地球温暖化(気候変動)適応策(※)」を基本としつつ、関係機関に対し、適宜、気候変動適応に関する最新情報を提供し、県適応策の着実な推進を働きかけた。 ※平成29年11月公表、平成31年3月に法に基づく地域気候変動適応計画に位置づけ。</p>
-------------	--

事業群 ④ 廃棄物の4Rと適正処理の推進

指標	一般廃棄物のリサイクル率	所管課	県民生活環境部 資源循環推進課
----	--------------	-----	--------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①	/	16.5%	17.6%	18.8%	19.9%	21.0%	21.0% (R2年度)
実績値②	16.0% (H25年度)	15.6%	15.0%	14.9%	集計中		進捗状況
②/①	/	94%	85%	79%	—		—

統計名など：一般廃棄物処理実態調査(環境省)

進捗状況の 分析	<p>県民・事業者・行政等から構成される「ながさき環境県民会議」を中心に、各主体による廃棄物の減量化とリサイクルを促進するための取組を実施しているが、平成30年度における一般廃棄物のリサイクル率は14.9%と全国の19.9%より依然として低い状況にある。特に紙類のリサイクル率が、全国の8.0%に比べて県が5.1%と格差が大きい。現在、県廃棄物対策連絡協議会において、各市町毎の課題等を抽出・分析し向上に向けた取組を行っている。課題としては、子供の数の減少・高齢化等による集団回収を行う構成団体の減少、分別不徹底な直接持ち込み量の増加等がある。</p> <p>なお、令和元年度実績はまだ算定(令和2年3月～4月に環境省が公表する値を採用)していないため、平成30年度実績で分析。</p>
-------------	---

◇施策7 人と自然が共生する地域づくり

成果指標

成果指標	生物多様性保全事業によって守られた希少野生動植物の種数	所管課	県民生活環境部 自然環境課
------	-----------------------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		20種	25種	30種	35種	40種	40種 (R2年度)
実績値②	10種 (H26年度)	20種	25種	30種	35種		進捗状況
②/①		100%	100%	100%	100%		順調

統計名など：－

進捗状況の 分析	希少野生動植物が生息・生育する原生沼の保全対策工事及び「長崎県未来環境条例」に基づく捕獲・採取・殺傷・損傷を禁止する希少野生動植物種・地域の指定等の実施により、目標を達成した。
-------------	--

事業群の指標

事業群 ① 多様な主体による長崎の生物多様性の保全

指標	生物多様性保全に資する野生動植物の保全のための事業実施数 (累計)	所管課	県民生活環境部 自然環境課
----	--------------------------------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		43件	46件	49件	52件	55件	55件 (R2年度)
実績値②	27件 (H26年度)	43件	46件	48件	52件		進捗状況
②/①		100%	100%	97%	100%		順調

統計名など：－

進捗状況の 分析	民間団体等の取組への支援及び県事業による自然環境保全対策工事等の実施により、目標を達成した。
-------------	--

事業群 ② 野生鳥獣と共存した地域づくりの推進

指標	対馬地域におけるシカの捕獲頭数	所管課	県民生活環境部 自然環境課
----	-----------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		7,000頭	7,000頭	7,000頭	7,000頭	7,000頭	7,000頭 (R2年度)
実績値②	5,154頭 (H26年度)	4,903頭	5,493頭	6,338頭	7,982頭		進捗状況
②/①		70%	78%	90%	114%		順調

統計名など：対馬市での毎年度捕獲数

進捗状況の 分析	令和元年度は有害鳥獣捕獲、狩猟及び指定管理鳥獣捕獲等事業により効率的な捕獲を進めた結果、捕獲数は過去最多となり、目標値を上回る成果が上がった。引き続き国定公園等保護地域等において捕獲圧をかけることにより、目標値の達成を目指す。
-------------	---

事業群 ③ 豊かな自然とふれあえる、人にやさしい公園施設づくり

指標	自然公園利用者数	所管課	県民生活環境部 自然環境課
----	----------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		14,512千人	14,608千人	14,704千人	14,800千人	14,896千人	14,896千人 (R2年)
実績値②	14,320千人 (H26年)	13,695千人	13,912千人	14,537千人	14,069千人		進捗状況
②/①		94%	95%	98%	95%		遅れ

統計名など：自然公園等利用者数

進捗状況の 分析	平成28年度の熊本地震(平成28年4月)の影響により利用者数は大きく減少したが、利用施設の再整備やインバウンド対策等地域の自然資源の活用を促進した結果、平成30年度は熊本地震発生前のレベルまで回復した。しかしながら、令和元年度は日韓の政治的関係悪化の影響で対馬市(壱岐対馬国定公園)の利用者が大きく減少したため、全体的に達成率を押し下げる結果となった。
-------------	--

事業群 ④ 大村湾周辺地域の里海づくり

指標	大村湾沿岸に再生砂で造成する浅場に生息が見込まれる二枚貝の 個体数	所管課	県民生活環境部 地域環境課
----	--------------------------------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		0個体	80万個体	80万個体	160万個体	160万個体	160万個体 (R2年度)
実績値②	0個体 (H26年度)	—	185万個体	22万個体	1,559万個体		進捗状況
②/①		—	231%	27%	974%		順調

統計名など：事業実施箇所数

進捗状況の 分析	平成28年度に大村市森園公園地先、平成30年度に時津町崎野自然公園地先に造成した再生砂による浅場は、前年度より多くの二枚貝の生息が確認された。また、二枚貝を含む底生生物全般においても造成前と比較して多くの種類が確認されるなど、生物の生息の場となりつつある。
-------------	--

戦略10 にぎわいと暮らしを支える社会基盤を整備する

◇施策1 九州新幹線西九州ルートなどの人流・物流を支える交通ネットワークの確立

成果指標

成果指標	九州新幹線西九州ルート開業	所管課	地域振興部 新幹線対策課
------	---------------	-----	-----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		—	—	—	—	—	開業 (R4年度から可能な限り前倒し)
実績値②	—	—	—	—	—		進捗状況
②/①		—	—	—	—		—

統計名など：—

進捗状況の分析	<p>武雄温泉・長崎間については、対面乗換方式による令和4年度の開業に向けて、着実に工事が進んでいる。</p> <p>一方、新鳥栖・武雄温泉間については、与党PT検討委員会において、整備方針の検討が行われており、ヒアリング等において、フル規格による整備の早期決定に向けて要望等を実施した。</p> <p>そのような中、昨年8月に与党PT検討委員会からフル規格による整備が適当であるとの基本方針が示され、本年6月から国土交通省と佐賀県との間で整備のあり方についての協議が開始された。</p>
---------	--

成果指標	高規格幹線道路等インターチェンジまで30分で到達可能な本土面積の割合	所管課	土木部 道路建設課
------	------------------------------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		65.5%	67.8%	67.8%	67.8%	72.2%	72.2% (R2年度)
実績値②	65.5% (H26年度)	65.5%	65.5%	65.5%	66.8%		進捗状況
②/①		100%	96%	96%	98%		やや遅れ

統計名など：国土交通省HP等

進捗状況の分析	<p>令和元年度は島原道路の諫早インター工区のうち小船越IC～諫早ICが開通したが、島原道路の一部の工区で追加工事が発生し遅れが生じたため、令和元年度の目標値からやや遅れている。</p> <p>今後も現在整備中の工区の事業促進を図るとともに、高規格幹線道路等と一体となった国県道の整備を推進する。</p>
---------	--

事業群の指標

事業群 ① 九州新幹線西九州ルートの整備促進

指標	土木工事・軌道工事の整備促進	所管課	地域振興部 新幹線対策課 土木部 新幹線事業対策室
----	----------------	-----	------------------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		—	—	—	—	概成	概成 (R2年度まで)
実績値②	—	—	—	—	—		進捗状況
②/①		—	—	—	—		—

統計名など：—

進捗状況の分析	<p>武雄温泉～長崎間については、対面乗換方式による令和4年度の開業に向けて、着実に工事が進んでいる。</p>
---------	---

事業群 ② 高規格幹線道路・地域高規格道路の整備による高速交通ネットワークの構築

指標	高規格幹線道路・地域高規格道路の供用率	所管課	土木部 道路建設課
----	---------------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		53.4%	57.0%	59.2%	59.2%	60.6%	60.6% (R2年度)
実績値②	53.4% (H26年度)	53.4%	56.4%	57.3%	58.0%		進捗状況
②/①		100%	98%	96%	98%		やや遅れ

統計名など：国土交通省HP等

進捗状況の分析	令和元年度は島原道路の諫早インター工区のうち小船越IC～諫早ICが開通したが、島原道路の一部の工区で追加工事が発生し遅れが生じたため、令和元年度の目標値からやや遅れている。 今後も現在整備中の工区において整備に必要な予算確保に努めて整備推進を図っていく。
---------	--

事業群 ③ 生活に密着した道路の整備による道路ネットワークの拡充

指標	国道道の供用延長(累計)	所管課	土木部 道路建設課
----	--------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		6.1km	9.2km	15.7km	29.5km	37.3km	37.3km (H28～R2年度)
実績値②	—	7.1km	12.8km	16.4km	24km		進捗状況
②/①		116%	139%	104%	81%		やや遅れ

統計名など：—

進捗状況の分析	公共事業、単独事業ともに早期に事業の効果を発現できるように部分的な供用開始に努めているが、一部工区において、当初想定していた地質と相違があり、対策工事に時間を要し工事進捗が遅れたため、令和元年度までの供用延長は目標値を下回る結果となっている。
---------	---

事業群 ④ 24時間化の実現などによる長崎空港とその周辺の活性化

指標	長崎空港利用者数	所管課	地域振興部 交通政策課
----	----------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		304万人	314万人	321万人	329万人	334万人	334万人 (R2年度)
実績値②	300万人 (H26年度)	300万人	316万人	327万人	316万人		進捗状況
②/①		98%	100%	101%	96%		やや遅れ

統計名など：長崎空港利用者数

進捗状況の分析	令和元年度の長崎空港利用者数は316万人で開港以来最高となった前年度と比較して96.6%に留まった。新型コロナウイルスの影響が出始める前の2月までは昨年度を上回る順調な伸びであったが、3月の利用者数が前年比43.3%と急激に落ち込んだことが要因である。 国内線は、3月からピーチアビエーションが長崎＝成田線に新規就航した。 国際線については、上海線・香港線ともに好調に推移していたものの、香港線については民主化デモの影響を夏頃から受けたほか、年度後半は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、両路線ともに運休となり、上海線は13,939人(対前年度比82.2%)、平成31年1月に新規就航した香港線は37,193人(令和元年度目標に対して91.6%)に留まった。またソウル線は、法定整備による機材繰り等のため、平成31年3月末から運休している。 一方で、上海線の増便決定や台湾線の新規就航等による利用者数増に向けた動きがあり、今後、定期路線の早期の運行再開を図るとともに、新たな路線誘致に取り組む。
---------	--

事業群 ⑤ 交流・物流の拠点となる港湾の整備

指標	クルーズ客船と外航定期航路のための施設整備(累計)	所管課	土木部 港湾課
----	---------------------------	-----	------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		1港	1港	1港	3港	3港	3港 (R2年度)
実績値②	0港 (H26年度)	1港	1港	2港	3港		進捗状況
②/①		100%	100%	200%	100%		達成

統計名など：整備実績

進捗状況の分析	H27年度までに比田勝港において国際ターミナル等が完了し外航定期航路受入施設が完了し、H30年度までに長崎港において既存岸壁の延伸が完了し、大型クルーズ客船がより安全に係留できる施設が完了した。 なお、厳原港においては、R1dまでに岸壁整備が完了し外航定期航路船舶の暫定利用が可能となり、目標を達成することができた。
---------	---

◇施策2 離島・半島等の暮らしと交流を支える地域公共交通の確保

成果指標

成果指標	公共交通機関(鉄道・バス・航路・航空路)の維持路線数	所管課	地域振興部 交通政策課
------	----------------------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		100路線	100路線	100路線	100路線	100路線	100路線 (R2年度)
実績値②	98路線 (H26年度)	96路線	94路線	92路線	80路線		進捗状況
②/①		96%	94%	92%	80%		遅れ

統計名など：補助実績

進捗状況の分析	各交通モードにおいて、路線自体は存続されているが、本指標においては、補助対象の路線をカウントすることとしており、バス路線において、国・県の補助要件を満たさず補助対象から外れたこと、航路において、船舶建造に対する補助制度が終了したことにより、目標値を下回る結果となっている。航空路と鉄道については、どちらも維持されている。 人口減少社会の中、乗合バスの輸送人員は減少傾向となっていることから、各地域では、住民のニーズに対応した地域公共交通の形成に取り組まれているところであり、県としても各市町の取組に対する支援を行っていく。
---------	--

事業群の指標

事業群 ① 地域活性化につながる地域公共交通の基盤強化

指標	効率化・バリアフリー化への船舶更新数と離島航空路の機体更新数 [件数](累計)	所管課	地域振興部 交通政策課
----	--	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		1件	2件	3件	5件	7件	7件 (R2年度)
実績値②	—	2件	3件	5件	8件		進捗状況
②/①		200%	150%	166%	160%		達成

統計名など：船舶、航空路の更新実績

進捗状況の分析	船舶については、離島地域交流促進基盤強化事業(リプレイス事業)により、離島基幹航路に就航する船舶1隻を更新(R1.4.1就航)するとともに、長崎県離島航路対策協議会地域分科会における検討の結果、補助航路においてバリアフリーに対応した船舶2隻の更新を行った。今後も航路改善計画に基づいた老朽化船舶の更新に係る支援を行っていく予定である。(航空機については、令和2年度に1機更新を予定している。)
---------	--

事業群 ② 地域公共交通の経営安定とまちづくり、観光振興等の地域戦略との連携の促進

指標	公共交通利用者数	所管課	地域振興部 交通政策課
----	----------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		94,934千人	94,573千人	94,212千人	95,192千人	96,153千人	96,153千人 (R2年度)
実績値②	94,993千人 (H26年度)	92,020千人	89,633千人	88,130千人	85,357千人		進捗状況
②/①		96%	94%	93%	90%		遅れ

統計名など：輸送実績調査、長崎県観光統計等

進捗状況の 分析	<p>有人国境離島法による離島住民等の運賃低廉化が徐々に定着したことから、新型コロナウイルス感染症の影響はあったものの、航空路利用者数は増加している。しかしながら、航路においては、離島における人口減少や、新型コロナウイルス感染症の影響等もあり、昨年度実績をわずかに下回った。</p> <p>路線バスは、生活交通路線として必要な路線に対し、赤字分の補助を行うことにより、生活交通路線の維持を図っているが、人口減少や新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数が減少した。</p> <p>松浦鉄道、島原鉄道に対して施設整備計画に基づいた継続的な支援を行うことにより、施設の安全性を確保し、鉄道の安定的な運行に取り組まれているが、沿線自治体の人口減少に加え、新型コロナウイルス感染症の影響により、利用者数は昨年度を下回っている。</p>
-------------	--

◇施策3 インフラの長寿命化の推進

成果指標

成果指標	予防的な補修により安全性が保たれた橋梁の割合	所管課	土木部 道路維持課
------	------------------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		97%	100%	100%	100%	100%	100% (R2年度)
実績値②	89% (H26年度)	97%	98%	98.0%	99.0%		進捗状況
②/①		100%	98%	98%	99%		やや遅れ

統計名など：道路維持課集計資料

進捗状況の 分析	対象橋梁は204橋であるが、残る3橋のうち1橋は河川改修事業による架替を予定しているため、予防的な補修による対象橋梁を203橋(204橋-1橋)とする。残る未対策の2橋については、補修工事に伴う協議を関係機関と実施中であり、R2年度に対策予定である。
-------------	---

事業群の指標

事業群 ① インフラの戦略的な維持管理、更新の推進

指標	橋梁の補修実績数(対策数)	所管課	土木部 道路維持課
----	---------------	-----	--------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		170橋	174橋	188橋	208橋	221橋	221橋 (R2年度)
実績値②	153橋 (H26年度)	170橋	174橋	193橋	208橋		進捗状況
②/①		100%	100%	102%	100%		順調

統計名など：道路維持課集計資料

進捗状況の 分析	橋梁長寿命化修繕計画(第二期:H27~H36)に基づき、橋の修繕を実施している。R1年度は15橋の補修を実施し、累計208橋の目標に対して208橋の補修が完了し、目標を達成できた。
-------------	--

◇施策4 ながさきICT戦略の推進

成果指標

成果指標	「ながさきICT戦略」進捗状況	所管課	企画部 次世代情報化推進室
------	-----------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		20%	40%	60%	80%	100%	100% (R2年度)
実績値②	0% (H27年度)	30.7%	47.9%	65.9%	算定中		進捗状況
②/①		153%	119%	109%	—		順調

統計名など：関連事業の取組実績、独自調査等

進捗状況の分析	令和元年度の実績については、現在、集計中である。 平成30年度の実績については、ながさきICT戦略関連事業の31事業のうち、定性評価の2事業を除く29事業の平均達成率は65.9%であり、計画当初から順調に目標を達成している状況である。
---------	--

事業群の指標

事業群 ① 地域を支える地域情報通信基盤の整備

指標	市町の固定系超高速ブロードバンド要整備地区における整備地区数 (累計)	所管課	企画部 次世代情報化推進室
----	--	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		5地区	6地区	6地区	6地区	11地区	11地区 (R2年度)
実績値②	0地区 (H27年度)	6地区	6地区	7地区	10地区		進捗状況
②/①		120%	100%	116%	166%		順調

統計名など：市町への聞き取り

進捗状況の分析	令和元年度に、西海市(旧西海町地区)及び松浦市(御厨地区、今福地区)の3地区が計画を前倒しし、整備が完了した。 未整備地区の旧崎戸町(崎戸地区)については、令和2年度に整備を進めており、最終目標も達成見込み。
---------	---

事業群 ② 電子自治体の推進

指標	県及び市町におけるオンライン手続利用率 (国の指針21業務を対象)	所管課	企画部 次世代情報化推進室
----	--------------------------------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		52%	54%	56%	58%	60%	60% (R2年度)
実績値②	50.4% (H26年度)	53.2%	56.4%	57.6%	算定中		進捗状況
②/①		102%	104%	102%	—		順調

統計名など：「地方公共団体の行政手続等に係るオンライン利用状況調査(総務省)」

進捗状況の分析	令和元年度の実績については、例年8月に総務省にて実施される「地方公共団体の行政手続等に係るオンライン利用状況調査」結果によるため、実績値は未定となっている。 平成30年度の実績については、県・市町全体が57.6%であり、目標は達成しているものの、各市町における「オンライン手続利用率」に格差があるため、市町に対しても、オンライン手続の一層の導入を促していく。
---------	--

事業群 ② 電子自治体の推進

指標	長崎県自治体クラウドサービス利用団体数	所管課	総務部 情報システム課
----	---------------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		16 自治体	17 自治体	20 自治体	23 自治体	26 自治体	26自治体 (R2年度)
実績値②	15自治体 (H26年度)	16 自治体	17 自治体	19 自治体	21 自治体		進捗状況
②/①		100%	100%	95%	91%		やや遅れ

統計名など：年度終了後の実績

進捗状況の 分析	長崎県自治体クラウドサービス利用団体数は、県内外への広報活動の結果、県外における利用団体が増加している。協議継続中の団体もあるが、令和元年度の目標達成には至っていない。
-------------	--

事業群 ③ クラウドサービス等によるICT利活用の推進

指標	オープンデータ等を活用して開発されたアプリケーション数(累計)	所管課	企画部 次世代情報化推進室
----	---------------------------------	-----	------------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		2 アプリケーション	4 アプリケーション	6 アプリケーション	8 アプリケーション	10 アプリケーション	10アプリケーション (R2年度)
実績値②	0アプリケーション (H27年度)	2 アプリケーション	4 アプリケーション	6 アプリケーション	6 アプリケーション		進捗状況
②/①		100%	100%	100%	75%		やや遅れ

統計名など：年度終了後の実績

進捗状況の 分析	民間等におけるオープンデータを活用したアプリケーションの創出促進を図っているが、令和元年度においては、開発を進めていたアプリケーションに必要なオープンデータの不足などにより、アプリケーションの創出には至らなかった。
-------------	---

事業群 ③ クラウドサービス等によるICT利活用の推進

指標	電子県庁システムライセンスを活用し、市場流通化したシステム数(累計)	所管課	総務部 情報システム課
----	------------------------------------	-----	----------------

◆現在までの進捗状況

	基準年	H28	H29	H30	R1	R2	最終目標
目標値①		1 システム	2 システム	3 システム	4 システム	5 システム	5システム (R2年度)
実績値②	0システム (H27年度)	3 システム	4 システム	4 システム	4 システム		進捗状況
②/①		300%	200%	133%	100%		順調

統計名など：年度終了後の実績

進捗状況の 分析	電子県庁システムライセンスについては、県内企業の協力を受けながら展開しており、市場流通化数は令和元年度末現在、延べ4システムとなっている。県内企業から、営業を行っていたが協議までには進まなかったと情報提供を受けている。令和元年度は、希望があった2システムをサンプル提供環境で参照可能とした。
-------------	---